



User Manua Foxit[®]J-Reader *For Windows*

©2004-2016 Foxit Software Incorporated. All rights reserved

Copyright © 2004-2016 Foxit Software Incorporated. All Rights Reserved.

No part of this document can be reproduced, transferred, distributed or stored in any format without the prior written permission of Foxit.

Anti-Grain Geometry - Version 2.4

Copyright (C) 2002-2004 Maxim Shemanarev (<u>http://www.antigrain.com</u>) Portions of this product Copyright [2001-2016] Solid Documents

Permission to copy, use, modify, sell and distribute this software is granted provided this copyright notice appears in all copies. This software is provided "as is" without express or implied warranty, and with no claim as to its suitability for any purpose.

目次

目次
第一章 - 製品紹介
Foxit J-Reader について5
Foxit J-Reader の Add-on プログラム5
Foxit Plug-In プラットフォーム8
第二章 - はじめに11
Foxit J-Reader のインストール11
Foxit J-Reader のアドオンのアップデート17
Foxit J-Reader のアンインストール18
ツールバー19
タッチモード
ワークエリア23
環境設定とプロパティの表示30
ナビゲーションペインについて44
UI 言語の切り替え45
第三章 – PDF の閲覧47
文書を開く47
文書を保存する
文書を閉じる51
Foxit J-Reader の終了51
文書の閲覧52
テキスト検索68
動画やサウンドの再生71
日本語などアジアの言語を含む PDF の処理71
Windows でのサムネイル表示72
第四章 – PDF ファイルの操作73
選択とコピー73
文字カウント
レイヤーの操作75
オブジェクトの計測76
基本ツールの切り替え82
定規とガイド82
元に戻すとやり直し
文書の共有84
PDF の作成92
PDF の署名
PDF ファイルへのスタンプ112
セキュリティの管理118
第五章 - 注釈
注釈ツール
注釈追加のためのツール選択142

Foxit J-Reader User Manual

	146
描画ツール	
タイプライターツール	150
注釈の管理	156
PDF レビュー	165
第六章 – フォーム	
PDF フォームへの入力	170
フォームに注釈を追加する	173
フォームデータの読み込みと書き出し	173
第七章 - 読み込みと書き出し	
注釈データの読み込みと書き出し	
フォームデータの読み込みと書き出し	
2D バーコードの生成	
XFA フォームの署名の検証	180
第八章 – PDF の編集	
しおりの追加	
リンクの追加	
ファイルの添付	190
画像を配置	195
マルチメディアの追加	201
第九章 – ConnectedPDF	
第十章 – 印刷	
PDF 文書の印刷方法	208
印刷ダイアログ	210
Foxit Reader PDF Printer プロパティの設定	
第十一章 - 付録	216
キーボードショートカット	216
コマンドライン	
お問い合わせ	

第一章 - 製品紹介

Foxit J-Reader について

Foxit J-Reader へようこそ!- PDF 文書の閲覧ソフトウェアにお選びいただき、ありがとうございます。

Foxit J-Readerには、個人ユーザーを対象に EXE 形式で配布しているものと、企業・法 人利用を目的とした MSI 形式で配布しているものの二種類があります。EXE 形式の Foxit J-Reader は、PDF の閲覧や作成が可能な、無償でご利用いただけるソフトウェアです。 MSI 形式のものは、EXE 形式のものをベースに開発されており、機能やパフォーマンス が拡張されています。企業・法人利用を前提として、RMS 保護、GPO による制御、XML による制御など、より高度な機能をサポートしています。

このユーザーマニュアルでは、主に個人ユーザーを対象とした Foxit J-Reader について 紹介しています。企業・法人用途の機能については、別途「Foxit Enterprise Deployment and Configuration」をご参照ください。

個人ユーザー用途の Foxit J-Reader (以下「Foxit J-Reader」といいます) は、無償でご利 用いただける機能豊富な PDF リーダーです。起動速度が速く、導入も簡単です。Zip 形 式のファイルをダウンロードし、セットアップしてすぐに利用することができます。

Foxit J-Reader は PDF 文書を閲覧するための基本機能に加え、注釈の追加、PDF 文書を テキスト形式で保存、テキストビューワーからテキストのコピー、そして電子署名の検証 など、様々な先進的な機能を備えています。

Foxit J-Reader の Add-on プログラム

Foxit J-Reader には個別のアドオンプログラムが提供されており、必要に応じた機能をダ ウンロードすることができます。これらのアドオンはクリティカル・アドオンとアドバン スド・アドオンに分かれており、「更新を確認」機能を使用してダウンロードできます。 また、Foxit の Web サイトからもダウンロード可能です (http://www.foxitsoftware.com/pdf/reader/addons.php)。

クリティカル・アドオン

クリティカル・アドオンは無償のプログラムで、最適な表示と最適な実行に不可欠なコン ポーネントです。例えば、ユーザーが日本語を含む PDF 文書を開いた場合、インストー ルされていなければ Foxit J-Reader は「Eastern Asian Language Support」をダウンロー ドするか確認します。このとき「キャンセル」を選択するとユーザーは該当の PDF 文書 を開くことができますが、一部の文字が正しく表示されません。

名称	機能概要	サイズ	備考
JPEG2000/JBIG Decoder	このアドオンは JPEG2000 および JBIG2 形式のイメージデータ処理に必要です。こ のモジュールがインストールされていな い場合、上記形式のイメージを表示するこ とができません。	169KB	<u>Download</u> 無償
Eastern Asian Language Support	このモジュールは PDF ファイル内の、日 本語を含む東アジアの言語を表示するた めに必要です。このモジュールがない場 合、日本語等の東アジア言語は正しく表示 されません。	2.08MB	<u>Download</u> J-Reader に は既定で含 まれます
JavaScript Support	このアドオンは、多くのインタラクティブ フォームで JavaScript を実行するために 使用します。このアドオンをインストール しない場合、インタラクティブフォームの 入力はできますが、フィールド値の検証と 再計算のような、いくつかの自動化された タスクを実行できません。	1.05MB	<u>Download</u> 無償

Foxit J-Reader のクリティカル・アドオン

ノート: クリティカル・アドオンを手動でインストールする場合は、アドオンプログラム を解凍して Foxit J-Reader のインストールディレクトリに保存するための操作を実行し ます。詳細は、<u>Foxit J-Reader のアップデート</u>を参照してください。

アドバンスド・アドオン

アドバンスド・アドオンには、それぞれ多くの固有機能があります。

名称	機能概要	サイズ	備考
Foxit Toolbar for Browser	このアドオンはIEとFirefox向けの無償の ツールバーです。Foxit に関する最新ニュ ースの配信や、ブラウザーから直接 Foxit 製品をアップグレードする機能を提供し ます。いつでもどこでも Web 検索が可能 で、様々なツール、ガジェットへのアクセ スも提供します。	1.01MB	<u>Download</u> 無償
Firefox Plugin	Firefox Plugin は Web ブラウザー 『Firefox』に Foxit Reader をインストー ルします。この無償アドオンにより、PDF 文書の表示、閲覧操作、編集、印刷をブラ ウザーで実行できるようになります。	1.47MB	<u>Download</u> 無償

Foxit J-Reader のアドバンスド・アドオン

Foxit J-Reader User Manual

Spell Checker	フォームに英語を入力する場合や、タイプ ライター機能で英語テキストを入力する 場合、綴りに間違いがあると、このツール が波線で強調表示して間違いを指摘しま す。スペルミスした単語の上で右クリック すると、正しい単語の候補が表示されま す。ディクショナリをダウンロードするに は <u>こちら</u> をクリックしてください。	1.43MB	<u>Download</u>
RMS Plug-in	RMS Plug-in により Microsoft Windows Server 環境にシームレスに統合して、 PDF 文書を保護およびポリシーテンプレ ートの管理を行います。この Plug-in を使 用して文書へのアクセスを制限し、電子情 報を不正利用から守ります。	2.53MB	既込ま El償き価るす挿す Mののの定ます E でま利こ透入。 SI評問なれ。 版使す用とかさ に価透れい : 用、でをしれ 30期かみい 無で評あ示がま 日限し
			なしで試用 できます。

ヒント:

1. .fzip ファイルのインストールについて

クリティカル・アドオンおよびアドバンスド・アドオンを手動でインストールするには、Foxit J-Reader を起動し、メニューより ヘルプ > 更新の適用 > ダウンロードした.fzip ファイルを参照、選択して「開 く」ボタンをクリックしてください。終了したら「OK」をクリックしてインストールを完了してください。

2. スペルチェッカー用辞書のインストール

辞書をダウンロードして解凍し、生成された「lex」という名前のフォルダーを、Foxit J-Reader のイン ストールフォルダーにコピーしてください。

(32bit 環境の場合、既定のインストール先: C:¥Program Files¥Foxit Software¥Foxit Reader)

Foxit Plug-In プラットフォーム

柔軟かつ便利にプラグインを管理するため、Foxit J-Reader は Plug-in プラットフォーム を提供しています。必要に応じた Plug-in 管理と同時に、いつでも Plug-in の状態やイン ストールされている Plug-in の詳細情報を確認することができます。

Foxit Plug-in プラットフォームを開くには、**ヘルプ** > 製品グループ > Foxit Plug-In **尽**を選択することで下図のように表示されます。

Plug-in	について			
名称		承認	読み込み	
*	PlgPltfm 2.1.1.422 操作を許可されている場合に、Plug-in の有効、無効、インストール、アンイ ンストールの管理を支援する Plug-in プラットフォームです。 詳細	1	s	
	PlgDynLoader 1.1.7.721 すべての Foxit J-Reader/PhantomPDF Plug-in の読み込みを管理 する、Plug-in ダイナミックローダーです。必要なときに必要な Plug-in を 詳細	1	s.	
	Browser 2.0.16.616 このプラグインは Foxit PhantomPDF/Reader アプリケーションに Web ページを表示するために使用されます。 詳細	4	J.	
Ĉ	ConnectedPDF 8.0.2.809 Foxit ConnectedPDF Windows Service の Plug-in です。 詳細	4	J.	
	ConnectedPDF DRM 8.0.2.829 Foxit ConnectedPDF DRM Ø Plug-in です。	¥	J.	
Plug-in	Plug-in についての操作はすべて、プログラムの再起動後に反映されます。 をインストール			ОК

Foxit Plug-in プラットフォーム

Plug-in の状態

- 承認: Plug-in の署名の有効、無効を表示します。
- 読み込み: Plug-in が正しく読み込みされているかどうかを表示します。

Plug-in の情報

Plug-in の状態に加え、インストールされている Plug-in の詳細情報を表示します。名称、 日時、説明、著作権および商標情報が含まれます。

Foxit J-Reader User Manual

Plug-inの詳細情報を表示するには、 通常の Foxit Plug-in プラットフォームで「詳細」を クリックしてください。Plug-in のダイアログボックスが表示され、下図のように確認す ることができます。

詳細	
ファイル名: PlgPltfm.fpi	2016-08-05 11:51:08 am
説明:	
操作を許可されている場合に、Plug-in の有法 管理を支援する Plug-in プラットフォームです	効、無効、インストール、アンインストールの •
著作権および商標:	
Copyright © 2014-2016 Foxit Softwa	are Inc. All Rights Reserved.
	ОК

Plug-in の管理

Foxit Plug-in プラットフォームを使用することで、必要に応じて Plug-in のインストール、 アンインストール、有効 / 無効の設定操作が可能です。

Plug-in のインストール

Plug-in をインストールするには、下記の手順を実行します:

- ヘルプ > 製品グループ > Foxit Plug-In を選択して Foxit Plug-In プラットフォーム を開きます。
- 「Plugin をインストール」ボタンをクリック > Plug-in ファイル(.xml 形式) を選択して「開く」 をクリックします。

上記を実行すると、Foxit J-Reader はインストールする Plug-in の署名が有効であるか検 証を行ないます。有効であれば Foxit J-Reader は直接その Plug-in を読み込みます。有効 でない場合は、下図のようにメッセージを表示してインストールを中断します。

F	oxit J-Rea	ider	×
	3	インストールに失敗: Plug-in の署名が無効であるか、または見つかりません。 Plug-in の提供元にお問い合わせください。	
			ОК

ノート:インストールする Plug-in の.xml ファイルと.fpi ファイルは同じフォルダーに配置してください。同じフォルダーに配置することで、正しくインストールすることができます。

Plug-in を無効にする

Plug-in を無効にするには、下記の手順を実行します:

- ヘルプ > 製品グループ > Foxit Plug-In と選択して、Foxit Plug-in プラットフォームを開きます。
- 無効にする Plug-in を選択し、**無効**ボタン[◎]をクリックして無効にします。

Plug-in を有効にする

Plug-in を有効にするには、下記の手順を実行します:

- ヘルプ > 製品グループ > Foxit Plug-In と選択して、Foxit Plug-in プラットフォームを開きます。
- 有効にする Plug-in を選択し、**有効化する**ボタン[№]をクリックして有効にします。

Plug-in のアンインストール

Plug-in をアンインストールするには、下記の手順を実行します:

- ヘルプ > 製品グループ > Foxit Plug-In と選択して、 Foxit Plug-in プラットフォームを開きます。
- アンインストールする Plug-in を選択し、アンインストールボタン^面をクリックしてアンインストールします。

ノート:

- 1. Plug-in に対する操作はすべて、Foxit J-Reader を再起動後に反映されます。
- Foxit J-Reader の Plug-in には、機能の実現やメンテナンスのために必要不可欠なものが含まれています。通常の操作で確認できますが、このような Plug-in は、無効にしたり、アンインストールしたりすることはできません (例: Foxit Updater Plugin、Foxit Plug-in Platform Plugin など)。

第二章 - はじめに

この章では、インストールや更新、アンインストールや、ワークエリア、ツールバーモー ドなど、Foxit J-Readerの概要について説明します。

Foxit J-Reader のインストール

Windows システム要件

Foxit J-Reader は以下の環境で正常に動作します。もしお使いのコンピューターがこの要件を満たさない場合、Foxit J-Reader を正しく使用することはできません。

オペレーティングシステム、他

- Windows 7 (32-bit & 64-bit)
- Windows 8.1 / 8 (32-bit & 64-bit)
- Windows 10
- Microsoft Office® 2007 以降 (一部の PDF 作成関連機能)
- IE10 以降 (ConnectedPDF 機能)
- Citrix® Readey 認定 (Citrix XenApp® 7.6)

最低動作環境 (推奨値)

- 1.3 GHz 以上のプロセッサ
- 512 MB RAM (1 GB RAM 以上を推奨)
- 1 GB の HDD 空き容量
- 1024x768 以上のスクリーン解像度

インストール方法

FoxitJapan の Web サイト (<u>https://www.foxit.co.jp/downloads/</u>) にアクセスして、Foxit J-Reader の最新のセットアップを入手してください。無償でご利用いただけます。

EXE 形式のセットアップファイルを実行し、以下の操作を行ってください:

 セットアップファイルをダブルクリックすると、セットアップウィザード画面が開き ます。「次へ」ボタンをクリックして先に進んでください。

Foxit J-Reader User Manual



 ソフトウェア使用許諾契約書が表示されます。Foxit J-Reader とそのコンポーネント は著作権により保護されており、ライセンスの同意事項に同意しない場合は、先に進 めません。よく読んで、同意される場合は選択して「次へ」を、そうでない場合は「キ ャンセル」を選ぶことでインストールを終了できます。

c Foxit J-Reader セットアップ
使用許諾契約書の同意 続行する前に以下の重要な情報をお読みください。
以下の使用許諾契約書をお読みください。インストールを続行するにはこの契約書に同意する必要があり ます。
ソフトウェア使用許諾契約書 ^
※本書は契約書です。注意深くお読みください。
本ソフトウェア使用許諾契約書(以下「本契約」といいます)は、株式会 社FoxitJapan(以下「当社」といいます)が米国法人であるFoxit Software Inc.(以下「Foxit Software」といいます)が開発し、権利を有 し、当社に使用許諾の権限を付与した本ソフトウェア(第1.1条に定義さ れる)をご利用されるお客様と当社との間の法的な契約書です。お客様が 本契約に記載された条件に同意する場合に限って、本ソフトウェアを使用 -
 同意する(A)
◎ 同意しない(D)
<u>http://www.foxit.co.jp/</u> < 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

 Foxit J-Reader は通常(32bit 環境で)、 C:¥Program Files¥Foxit Software¥Foxit J-Reader にインストールされます。インストール場所を変更する場合は、「参照」 ボタンをクリックして、パスを変更してください。

G Foxit J-Reader セットアップ
インストール先の指定 Foxit J-Reader のインストール先を指定してください。
Foxit J-Reader をインストールするフォルダーを指定して、「次へ」をクリックしてください。
続けるには「次へ」をクリックしてください。別のフォルダーを選択するには「参照」をクリックしてください。
C:¥Program Files (x86)¥Foxit Software¥Foxit J-Reader 参照(R)
このプログラムは最低 146.2 MB のディスク空き領域を必要とします。
<u>http://www.foxit.co.jp/</u> < 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

標準インストールとカスタムインストールを選択できます。カスタムインストールでは、オプションをチェックして任意のコンポーネントを選択可能です。

Foxit J-Reader セットアップ	
コンボーネントの選択 インストールコンボーネントを選択してください。	<
インストールするコンポーネントを選択してください。インストールする必要のないコン してください。 続行するには「次へ」をクリックしてください。	ポーネントはチェックを外
標準インストール	•
 ✓ PDF リーダーファイル ✓ シェルエクステンション ■ Foxit Reader Creator ✓ PDF 変換のためのシェルエクステンション □ Word アドイン □ PDT アドイン □ Expent アドイン 	50.9 MB
□ ゴラウザー用 PDF 表示プラグイン ▼ Foxit スペルチェッカー辞書	1.7 MB 1.0 MB
http://www.foxit.co.jp/	へ(N) > キャンセル

• Foxit J-Reader をインストールするときに実行する追加タスクを選択できます。

G Foxit J-Reader セットアップ	
追加タスクの選択 実行する追加タスクを選択してください。	PDF
Foxit J-Reader インストール時に実行する追加タスクを選択して、「次へ」をクリックしてください。	
図 スタートメニューにアイコンを追加(I)	
☑ ケイック起動アイコンを作成する(Q)	
▼ Foxit J-Reader を既定の PDF リーダーに設定(V)	
ConnectedPDF 機能を無効にする	
既定のプリンターとしてインストール(P)	
http://www.foxit.co.jp/ < 戻る(B)	キャンセル

インストール時に保護モードを設定する場合は、「保護モードを有効にする」のオプションをチェックしてください。

📅 Foxit J-Reader セットアップ	
保護モードの設定	
保護モードは未承認のアクションや、URL 接続、外部ファイルの起動、 送信を制御します。悪意ある文書からの攻撃の回避に有用です。	JavaScript 関数の実行などのデータ
☑ 保護モードを有効にする	
保護モードの有効 / 無効は J-Reader の環境設定からでも話 ラストマネージャー)。	決定できます (ファイル->環境設定->ト
http://www.foxit.co.jp/ < 戻る(B)	次へ(N) > キャンセル

選択したインストール設定を確認できます。「インストール」をクリックしてインストールを開始します。設定を変更する場合は「戻る」をクリックしてください。

C Foxit J-Reader セットアップ	
インストール準備完了 ご使用のコンピューターへ Foxit J-Reader をインストールする準備が できました。	PDF
インストールを続行するには「インストール」をクリックしてください。設定の確認や変更を行なう場合 る」をクリックしてください。	合は「戻
インストール先: C:¥Program Files (x86)¥Foxit Software¥Foxit J-Reader	^
選択コンポーネント: PDF リーダーファイル シェルエクステンション Foxit Reader Creator PDF 変換のためのシェルエクステンション Word アドイン PPT アドイン Excel アドイン ブラウザー用 PDF 表示プラグイン Foxit 70 H J Turt 一般書	Ш
(+
<u>http://www.foxit.co.jp/</u> <戻る(B) インストール(I)	キャンセル

インストールが完了すると、メッセージが表示されます。「完了」をクリックしてセットアップウィザードを終了します。



コマンドラインによるインストール

Foxit J-Readerのプロパティは以下の通りです:

/COMPONENTS <list of features> /COMPONENTSプロパティの値は、カンマで区切られた機能 リストになっています。 Foxit J-Readerのインストールのと きにローカルディスクに作成され、利用されます。Foxit J-Readerのインストーラーは次の機能を設定します: pdfviewer - Foxit PDF Viewerとそのコンポーネントです。

ffaddin - Mozilla Firefox、 Opera、 Safari、そしてChromeブ ラウザー内でPDFファイルを開くためのプラグインです。この 機能は pdfviewer のインストールが必要です。

ffSpeckllCheck - タイプライターを使用するとき、またはフ オーム入力のときに単語のスペルミスを見つけ、正しいスペル を提示するスペルチェックツールです。この機能はpdfviewer のインストールが必要です。

InstallPrint - システムに仮想プリンターである FoxitReader Creatorをインストールします。印刷可能な文書を便利に、か つ効率的に高品質なPDFに変換することができます。この機能 は pdfviewer のインストールが必要です。

InstallPrint¥WordAddin - ワンクリックで PDF を作成する MS Word ツールバーアドインです。この機能はInstallPrint の インストールが必要です。

InstallPrint¥ExcelAddin - ワンクリックでPDFを作成する MS Excelツールバーのアドインです。この機能はInstallPrint のインストールが必要です。

InstallPrint¥PPTAddin - ワンクリックでPDFを作成するMS PPTツ ー ル バ ー の ア ド イ ン で す 。 こ の 機 能 はInstallPrintのインストールが必要です。

ffse -- Windows ExplorerとWindows Shellのプラグインです。 この拡張によりWindows ExplorerでPDFサムネイルの表示、 およびWindows 7とOffice 2007でPDFファイルのプレビュー の操作が可能です。この機能は pdfviewer のインストールが 必要です。

/DIR	製品をインストールする場所を指定します。
/TASKS <list features="" of=""></list>	/TASKSプロパティの値は、カンマで区切られた機能リスト になっています。Foxit J-Readerのインストールのときにロ ーカルディスクに作成され、利用されます。Foxit J-Reader のインストーラーは次の機能を設定します:
	desktopicon - インストール時に、デスクトップにショート カットアイコンを作成します。

	startmenufolder – インストール時に、スタートメニューに プログラムメニューグループを作成します。
	Quicklaunchicon - クイック起動ツールバーにショートカ ットアイコンを作成します。
	setDefaultReader - Foxit J-Readerを既定のPDF閲覧ソフ トに設定します。
	DisplayInBrowser - Foxit J-Readerの設定により、ブラウザ ーでPDFを表示します。
	setDefaultCreator - インストール時に、Foxit Reader Creatorを既定のプリンターとしてインストールします。
/force	Foxit J-Readerを強制的に上書きインストールします。
/clean	アンインストール時に、J-Readerのすべてのレジストリデ ータと関連ファイルを削除します。

コマンドラインの例:

1. アプリケーションを "C:¥Program Files¥Foxit Software" にサイレントインストール し、合わせてffseコンポーネントをインストール、デスクトップにアイコンを作成する場 合:

"Foxit Reader" /COMPONENTS="ffse" /TASKS=" desktopicon" /DIR=" C:¥Program Files¥Foxit Software" /verysilent

Foxit J-Reader のアドオンのアップデート

Foxit のファイルやアドオンの更新には、何種類かの方法があります。いくつかの更新フ ァイルは、PDF 文書を開くことによりアップデートが開始され、有効になります。例え ば、日本語を含む PDF 文書を開いたときに、Foxit J-Reader はインストールされていな ければ、東アジアの言語サポートのためのコンポーネントをダウンロードするかどうか尋 ねます。また、ヘルプメニューからのみダウンロード可能な更新ファイルや、手動でイン ストールしなければならない更新ファイルもあります。いずれにせよ、すべての更新ファ イルは Foxit の Web サイトから直接ダウンロードすることができます。

ヘルプメニューからのアップデート

- 1. メニューより、ヘルプ > 更新の確認、と操作します。
- 左のカラムから更新モジュールを選択し、「追加」をクリックして右のカラムに移動 します。または、「すべて追加」をクリックして利用可能な更新モジュールをすべて 選択することができます。この画面では使用環境に適した更新モジュールのみ表示さ れます。

3. 「次へ」をクリックして、Foxit J-Reader は自動でダウンロードとインストールを実行します。完了後、「OK」をクリックして Foxit J-Reader のアップデーターを終了します。

Foxit アップデーターの使用について

- 1. ファイル > 環境設定 > アップデーター を選択します。
- 2. 要望に応じた適切なオプションにチェックしてください。
 - 自動的にアップデートをインストールする (パッチのみ): 新しい更新があった場合、自動的に更新ファイルをダウンロードして、インストールフォルダーのファイルを置き換えます。
 - アップデートを自動的にダウンロードするが、インストールするときは指定する(既定):新しい更新があった場合、自動的に更新ファイルをダウンロードして、メッセージを表示します。ユーザーはインストールするかどうかを選択して実行します。デフォルトではこのオプションにチェックされています。
 - アップデートのダウンロードやインストールを自動的に行わない: 自動で更新 ファイルをダウンロードしたりインストールしたりしません。
- 3.「OK」をクリックします。

Foxit の Web サイトからのアップデート

- 1. <u>https://www.foxitsoftware.com/products/addons.php</u> にアクセスします。
- 2. アップデートしたいアドオンプログラムを選択し、ダウンロードしてください。
- 3. アドオンプログラムをインストールすると、Foxit J-Reader のインストールフォルダ 一に保存されます。
- 4. 更新ファイルを有効にするには、Foxit J-Reader を再起動してください。

ノート:新しいバージョンではアップグレード後、カスタマイズ、設定、適用内容を保存 することができます。

Foxit J-Reader のアンインストール

アンインストールの方法

下記のいずれかの方法を実行してください:

- スタート > すべてのプログラム > Foxit J-Reader > アンインストール を選択します。
- スタート > コントロールパネル > プログラムと機能 と操作し、Foxit J-Reader を 選択してアンインストールします。
- Foxit J-Reader のインストールフォルダーにある unins000.exe をダブルクリックします。

ツールバー

Foxit は項目別のリボンインターフェースにツールをまとめ、新しいハンドリングをご用 意しました。それがリボンモードです。Foxit J-Reader の改善点の中でもひときわ目立つ リボンモードは Microsoft Office 2013 (Office 15) スタイルをベースに開発され、ユーザ ーに直感的で慣れ親しまれた操作性を提供します。このモードでは、グループとタスクに よってツールが配置されています。この新しいインターフェースには以下の主な特徴があ ります。



図1 ユーザーインターフェース

A. クイックアクセスツールバー B. タブ C. グループおよびコマンド D. ナビゲーションペイン (しおりパネルを表示) E. ステータスバー F. ドキュメントペイン

上図のように、Foxit J-Reader は通常、クイックアクセスツールバー、タブバー、そして グループ分けされたコマンドバーの3つのツールバーで構成されます。

- クイックアクセスバー:開く、上書き保存、そして印刷といった基本的なツールを表示します。よく使用するツールにすぐアクセスできるよう、ツールの追加、置き換えが可能です。
- タブバー: Foxit J-Reader の主なメニューを表示します。ファイル、ホーム、注釈、 表示、フォーム、保護、共有、ヘルプに分類されます。
- グループおよびコマンド: ツールが機能に応じたグループにカテゴライズされ、配置 されています。

タブバーについて

ファイルタブ (ファイルメニューページ)

ファイルタブより、開く、PDF 作成、上書き保存、名前を付けて保存、閉じる、印刷、 終了など、J-Reader の最も主要なタスクに、すばやくアクセスすることができます。ま た、このメニューから文書のプロパティの表示、環境設定、最近使用したファイルの一覧 を利用することができます。

Foxit J-Reader は、Microsoft® Word® 2013のファイルメニューUI をベースとしたページ 表示でメニューを提供しており、ダイアログをポップアップする代わりに、同一のウィン ドウで主要タスクを表示することができます (下図参照)。この機能により、直感的で親 しみやすい操作性を提供しています。

アイム 注釈 表示 フォーム 保護 共有 Connect ハルブ 回 勝段株 〇 () へ () () () へ () () () () () () () () () () () () () () () ()	6 🕞 🗄 🖶 🖃 🐔 🥠 🔿	≜ + ≠		Foxit	Foxit J-Reader		۰	23	
プロパティ 作成 席ペ 注意な存 名前を付けて保存 時 開いる 現むた 大きの変更 ブイト レーン・シーン・シーン・シーン・シーン・シーン・シーン・シーン・シーン・シーン・シ	ファイル ホーム 注釈 表	示 フォーム 保護	共有	Connect	ヘルプ	🐹 簡易検索	₽ ◎ • ⊲ ▷		• ~
環境設定 タイル Foxit Reader 8.0.2_Manual E スキンの変更 サブタイトル Foxit Reader 8.0.2_Manual E 作成者 Foxit Software Incorporated アブルーション Foxit Reader PDF Printer PDF 変換 Foxit Reader PDF Printer E カスタム 関連情報 更新日 2016-09-05 11:36:37 作成日 2016-07-28 09:36:44	ファイル ホーム 注釈 表 プロパティ 作成 -	示 フォーム 保護 プロパテイ 一 概要 ・ 世キュリティ Am フォント	共有	Connect	へルブ 概要 アテイル PDF /(->ヨン 用紙サイズ ページ	武 簡易検索 C:¥Users¥murakami¥Desktop¥Foxit PDF-1.7 [21.00 * 29.70 cm] 214	P 🕮 - d D	ddf	
	環境設定 スキンの変更				 ページ タイトル サブクイトル 作成者 アブ・ゲーション PDF 変換 キーワード カスタム 関連情報 更新日 作成日 詳細情報の表示 	214 Foxit Reader 8.0.2_Manual Foxit Reader 8.0.2_Manual Foxit Reader PDF Printer Foxit Reader PDF Printer Foxit Reader PDF Printer ਕਿਹ			E

図2 ファイルメニューページ

ホームタブ

ホームタブには、署名ツールなどの他、表示ツール、注釈ツール、PDF 作成ツール、挿 入ツールがあります。

🖸 🍃 🗄 🖶 🖃 🐔 🥎 🤇	> 🖞 + ∓ sa	mple.pdf - Foxit J-Read	der		
ファイル ホーム 注釈	表示 フォーム 保護 共有 Connect /	リ レプ	700 1111 1111 1111111111111111111111111	簡易検索 👂	ه • 🖪 < 🗁 • 📾
 (1) スナップショット (2) スナップショット (2) スナップショット (3) スナップショット (4) スナップショット (5) スナップショット (6) スナップショット (7) スケップショット (7) スケップショップショップショット (7) スケップショット (7) スケップショット (7) スケップショット	○ ページ全体を表示 ○ 117.77% • ④ 100% ○ 幅に合わせる 記 左回転 100% ○ 指面領域の幅に合わせる 陸 右回転	マンフェン サイプ ハイライ ファ ライター ト表示 オ	 記 スキャナーから 2 空白ページ アイル から から シリップボードから 	▲ リンク ● DF サイン	
ツール	表示	注釈	作成	保護リンク	挿入
	図 3	ホームタフ	ブ		

注釈タブ

注釈タブは、主に注釈ツール (テキストマークアップツール、タイプライターツール、描 画ツール、注釈管理ツールを含む)、計測ツール、スタンプツールを提供します。

🖸 🕞 🗄 🖶 🖃 🌯 🔿 (∿ 🕹•	Ŧ	sample.pdf - Fox	kit J-Reader	53 — e X
ファイル ホーム 注釈 表示	フォーム 保護 共有	Connect ヘルプ	📷 簡易検索	۵ • 🗖 🖉 • 🕲 🔍
 ⑦ 手のUS 「重 選択 ・ ○ ズ-ム ・ ブ エ エ ● 添付 ○ ズ-ム ・ ス 下 玉 工 	「「『引出線付きテキスト 「」 引出線付きテキスト 「テキストボックス ライダー	□ ○ 2 × 鉛筆 ○ へ ○ ヽ ○ ヽ	 ● 距離 □ 距離 □ 周囲の長さ □ 商積 □ クレー <l< td=""><td></td></l<>	
ツール テキスト 添付	タイプライター	描画	計測 スタンプ	

図4 注釈タブ

表示タブ

表示タブには、ページナビゲーションツール、文書表示ツール(閲覧モード、逆順に表示、 テキストビューワーを含む)、拡大鏡ツール、読み上げツール、ページ表示ツール、表示 設定ツール、文字カウントツールがあります。

6 🗁 🗎	🖶 🖃 粒 🥠 (ि किर≠					sar	nple.pdf - Foxit J-Rea	ader				6 11 12 21	- 0	23
ファイル	ホーム 注釈	表示	フォーム	保護	共有	Connect	t 🔨	レプ			🙇 簡易検到	r 🔎	⊜ • ⊲		• ~
⑦ 手のひら 「 選択 ▼ ④、ズーム ▼	 ▲ 前の画面 冊 次の画面 	> 	111 閲覧モ 121 逆順に 122 テキスト	ード 表示 ゼューワー	ポートフォリオ・	▲ 「」 表示の 回転 *		 ガイド 定規 線の太さを表示 	自動 スクロール	© ₽ @	 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●	デビゲーション パネル・	ステータスパー・	123 ABC 文字 カウント	
ツール	ページナビゲー	ション	3	文書表示			~	-ジ表示		支援	alle a	表示設	定	レビュー	

図5表示タブ

フォームタブ

フォームタブには、フォームデータ関連のツールがあります。フォームデータの読み込み と書き出し、フォームのリセット、データのメール送信、フォームデータを結合してシー トへ書き出しできます。



図6 フォームタブ

保護タブ

保護タブには、サインツールと署名検証ツールが含まれます。これらのツールを使用して、 文書にサインを追加したり、署名を検証したりすることができます。



図7 保護タブ

共有タブ

共有タブには、文書の Evernote への送信や、電子メールでの送信ツールがあります。他にもこのメニューには、SharePoint 連携ツールやレビューのトラックツールがあります。

0 🕞 🗎	🖸 🗁 🗄 🖶 📰 🏝 🥠 🔿 🛓 ▾									
ファイル	<u> </u>	注釈	表示	フォーム	保護	共有	Connect			
⑦ 手のひら ▲ 選択 ▼		-	Þ	E			<u>.</u>			
	電子 メール	Evernote	チェック イン	チェック アウト	チェックアウト を破棄	文書の プロパティ	トラッ カー			
ツール		送信		Shar	ePoint 統合		レビュー			

図 8 共有タブ

Connect タブ

Connect タブには ConnectedPDF 文書の作成や Connected レビューの参加と中断、文書の属性情報、バージョン履歴、文書のユーザーを参照できる ConnectedPDF のツールが 用意されています。

0 🕞 🗎	<mark>객 🕞 🗄 🖶 🗉 🏝 🥠 🔿 👌 🚦</mark>											
ファイル	<u></u> ₩-Љ	注釈	表示	フォーム	保護	共有	Connect	ヘルプ				
🖑 手のひら	1		B	詳細設定	🗟 アクセ	ス許可の表	示 📃	🖥 中断		@]	7	3
Тॣ 選択 ▼					Ra オフラ·	インコピーの		見 参加者				 ★≢∞
🔍 ズーム 🔹	CPDF に変換	新規ハーンの登録	ション 录				≫/JII		チュート リアル	又音の ホームページ	ハーショノ 履歴	又香の ユーザー
ツール		Connected	JPDF の作	成	Conne	ctedPDF 🖟	R護 Conne	ected レビュー	ガイド	2	て書情報	

図 9 Connect タブ

ヘルプ

ヘルプタブはエラーレポート、ユーザーマニュアル、コマンドラインヘルプを利用できる、 ヘルプツールで構成されています。またこのメニューで、更新の確認、既定の PDF 閲覧 ソフトの設定、FoxitJapan ホームページへのリンク、インストールされているプラグイ ンの確認を行うことができます。



図 10 ヘルプタブ

タッチモード

タッチモードを使用すると、Foxit J-Reader をタッチデバイスで使いやすくすることがで きます。タッチモードでは、リボンとクイックアクセスツールバーの間隔が広く表示され、 指で操作しやすくなります。タッチモードに切り替えるには、クイックアクセスツールバ ーの をクリックして タッチモード を選択してください。タッチモード中に を リックしてマウスモードを選択すると マウスモード に戻すことができます。

ワークエリア

Foxit J-Reader は二つの異なる方法で開くことができます: 一つは単独で開く方法。もう 一つは Web ブラウザー内で開く方法です。関連付けられているワークエリアは、起動方 法により多少異なります。

Foxit J-Readerのワークエリアは PDF 文書を表示するドキュメントペインと、ウィンドウ左側にある文書の閲覧支援のためのナビゲーションペインで構成されます。ウィンドウの上部と下部にあるツールバーは、ツールバー、タブバーそしてステータスバーで、異なる機能を提供します。

単独で開いた場合のワークエリア

- デスクトップにある Foxit J-Reader アイコンをダブルクリックして起動します。
- ファイル > 開く、と操作し、任意の PDF を選択して「開く」ボタンをクリックします。



A. クイックアクセスツールバー B. タブ C. グループおよびコマンド D. ナビゲ ーションペイン(しおりパネルを表示) E. ステータスバー F. ドキュメントペイン

Web ブラウザー内で開いた場合のワークエリア

- Web ブラウザーを起動します。
- インターネット上にある任意の PDF を選び、リンクをクリックします。
- Foxit J-Reader が Web ブラウザーの中に開き、その中に PDF 文書が開きます。



Web 内で PDF を表示

- A. Web ブラウザーのメニューバーとボタン
- B. Foxit J-Reader のツールバー
- C. ナビゲーションペイン (しおりパネルを表示)
- D. ドキュメントペイン

スキンの設定

Foxit J-Reader はソフトウェアの見た目を変更できるよう、5 つのスキンを提供しています。

Foxit J-Reader の外観を設定する場合は、ファイル > UI オプション > スキンの変更、と 操作してください:

> ファイル > スキンの変更 > 使用するスキンをクリックしてください。

🖸 🗁 🗄 🖶 🖃 約 (<u>က မ</u> - ÷	スタート - Foxit J-Reader	B 🖾
ファイル ホーム 注釈	表示 フォーム 保護 共有 Connect	ヘルプ	📷 簡易検索 👂 🔅 🔹 🗘 📔 🔹 🛆
プロパティ 作成	🎝 スキンの変更		
題<	Classic	Black	Blue
上書き保存 名前を付けて保存 印刷 開ける 			C → 日 日 1 0 0 4 · · · 77(h) ホーム 注釈 表示 フォー 77(h) ホーム 注釈 表示 フォー 100% ○ スオップショント 100% ○ スオップショント 100% ○ スオップショント 100% ○ スオップショント 100% ○ スオップ 100% ○ スオップ 10
	Orange	Purple	
24200変更	アイル ホーム 注釈 表示 フォー アイル ホーム 注釈 表示 フォー アケル ホーム 注釈 表示 フォー アケル ホーム 注釈 表示 フォー アケル ア・ル ロ00% 正 日 ア・ル ア・ル 日 日 日 フォート 日 日 日 日	C ← 日 日 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	

(オプション) ヘルプ > UI オプション > スキンの変更 > 使用するスキンをクリックしてください。

ワークエリアのカスタマイズ

Foxit J-Reader に精通していれば、作業環境を使いやすくカスタマイズすることが出来ま す。Foxit J-Reader のポテンシャルについて知れば知るほど、その機能、ツールそしてオ プションを有効に利用することができます。

Foxit J-Reader には、最初に感じられるよりもはるかに多くの機能が用意されています。 Foxit J-Reader は、ツールや環境設定の方法のすべてを表示していませんが、ユーザーが 経験を積むに従って、それぞれのワークエリアを調整して表示し、徐々により多くの機能 を使用できるよう想定しています。 クイックアクセスツールバーのカスタマイズ

クイックアクセスツールバーにはユーザーが設定したツールがすべて表示されます。クイ ックアクセスツールバーにはツールを追加することができるので、コンテンツの閲覧や検 索を簡単に行うことができます。これはすべてのツールを管理、調整するための方法の一 つです。

クイックアクセスツールバーに追加するには、次の手順を実行してください:

▶ クイックアクセスツールバー右端のボタン[▼] をクリックすると下図のように表示 されます。「その他のコマンド…」を選択します。



ツールをカスタマイズ			
クイックアクセスツールバーのユーザー設定 コマンドの選択(O): ファイル コマンド(M): <セパレーター>	+-⊼-F IJボン ▼	をカスタマイズ クイックアクセスツールバー:	
 □ プロパティ ①、作成 ◎ 開く □ 上書き保存 □ 上書き保存 □ 日和 ○ 印刷 ○ 閉じる ○ 環境設定 ○ スキンの変更 	▶ ▶ ▶ 追加(A) ▶ 削除(R)	 □ 上書き保存 □ 印刷 □ 電子メール * 空白ページ ? 元に戻す ? やり直し 	上へ(U) 下へ(D)
		2691(0)	OK(0) キャンセル(C)

クイックアクセスツールバーに表示したいツール、またはセパレータを選択し、ツールバーのリストに追加してください。「上へ」または「下へ」ボタンでツールの順序を調整し、「OK」をクリックします。

ツールバーをデフォルトの設定に戻すには、クイックアクセスツールバーの[▼] をクリッ クして **その他のコマンド** 選択し、ダイアログ上の「リセット」をクリックするか、また は Alt+F8 を押下してください。

ツールバーの操作

- ▶ リボンを最小化/展開するには、右上に表示される ▲ または ♥ をクリックしてください。
- もしリボンを最小化した後でツールを使用したい場合は、メニューのタブをクリック することで、リボンのツールを選択することができます。ツールの使用中は、自動的 に再び最小化されます。

リボンのカスタマイズ

リボンは簡単にツールを見つけて便利に使えるようにデザインされていますが、Foxit J-Reader 7.0 以降、さらにユーザーの使用方法に合わせたリボンのカスタマイズが可能に なりました。既存のリボンのカスタマイズに加え、任意のツールで構成されたタブやグル ープを作成できます。

リボンをカスタマイズするには、リボン上で右クリックしてポップアップメニューから リボンのカスタマイズ を選択してダイアログボックスを表示し、以下の手順を実行しま す。

クイックアクセスツールバーのユーザー設定…
クイックアクセスツールバーをリボンの下に表示
リボンの最小化

ポップアップメニュー

Foxit J-Reader User Manual

コマンドの選択(C): 基本的なコマンド	•	リボンのカスタマイズ(B): すべてのタブ	•
 Q. ズームアウト Q. ズームイン ズームイン ダイプライター IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	 	メインタブ ビ ホーム ビ ア ホーム ビ ア ホーム ビ ア ホーム ビ ア 注釈 ビ ア 表示 ・	▲ ● ● ● ● ● ●

ツールをカスタマイズダイアログ

新しいタブの作成

新しいタブを作成するには、以下のいずれかを実行します:

- ▶ 作成したい位置の前に位置するタブを選択し、「新しいタブ」をクリックします。
- ▶ (別の方法)作成したい位置の前に位置するタブを選択し、右クリックしてメニューより「新しいタブ」を選択します。

タブに新しいグループを追加

タブに新しいグループを追加するには、以下のいずれかを実行します:

- ▶ グループを追加したいタブを選択して「新しいグループ」をクリックします。
- ▷ (別の方法) グループを追加したいタブを選択し、右クリックしてメニューより「新 しいグループ」を選択します。

タブまたはグループの名称変更

- 名称を変更したいタブまたはグループを選択して、「名前の変更」をクリックします。
- (別の方法)名称を変更したいタブまたはグループを選択し、右クリックしてメニューより「名前の変更」を選択します。
- 表示されるダイアログボックスの「表示名」に新しい名称を入力して「OK」を クリックします。

グループにコマンドを追加

- ▶ コマンドを追加したいグループを選択します。
- ▶ コマンドの選択のリストから追加したいコマンドのカテゴリを選択します。
- ▶ 追加したいコマンドを選択して「追加」をクリックしてグループに追加します。

タブ、グループ、コマンドの削除

タブ、グループ、そしてコマンドを削除するには以下のいずれかを実行します:

- ▶ 削除したいタブ、グループ、コマンドを選択して「削除」をクリックします。
- ▶ (別の方法) 削除したいタブ、グループ、コマンドを選択し、右クリックしてメニューより「削除」を選択します。

タブまたはグループの順序の変更

タブまたはグループの順序を変更するには、以下のいずれかを実行します:

- ▶ 順序を変更したいタブまたはグループを選択して、 または をクリック すると矢印の向きに応じて移動させることができます。
- ▶ (別の方法)順序を変更したいタブまたはグループを選択し、右クリックしてメニューより「項目を上へ」または「項目を下へ」を選択すると、それに応じて上下に移動させることができます。

リボンのリセット

ダイアログボックスにある「リセット」をクリックすると、リボンを初期状態にリセットすることができます。

リボンのカスタマイズ設定の読み込み

- 「読み込み」をクリックします。
- 「開く」ダイアログボックスで、リボンのカスタマイズ設定ファイル(.xml file)を選択して「開く」をクリックします。

ノート: リボンのカスタマイズ設定ファイルを読み込みすると、それまでに設定した内容 が失われます。変更前の設定に戻す必要がある場合は、カスタマイズ設定ファイルを読み 込みする前に、現在のリボンのカスタマイズ設定を書き出しして保存することをお薦めし ます。保存した設定を再度読み込むことで変更前に戻すことができます。

リボンのカスタマイズ設定の書き出し

「書き出し」をクリックします。

「名前を付けて保存」ダイアログにて、ファイル名と保存先を指定して「保存」を クリックします。

ノート:

1. リボンをカスタマイズした後は、**リボンをカスタマイズ**タブの「OK」をクリックして 設定を保存し、変更を反映する必要があります。

2. カスタマイズした項目と既存の項目を区別するため、**リボンのカスタマイズ**リストにはカスタムタブおよびカスタムグループの名称の後に「(カスタム)」と表示されますが(表

示例: 🗹 新しいタブ (カスタム))、この「(カスタム)」はリボンでは表示されません。

3. 既定のタブの既定のグループに配置されたコマンドはグレー表示されており、これらは名前の変更、順序の変更、削除することはできません。
 4. Foxit J-Reader の既定のタブを削除することはできません。

ショートカットキーのカスタマイズ

キーボードを使用する習慣は個人により異なります。また、どのキーが使い易いかについても個人によって異なります。Foxit J-Reader は、個人の習慣に従ってショートカットキーをカスタマイズをすることができるようになっており、操作性が向上することが可能です。

ショートカットキーのカスタマイズは、以下の操作で行なって下さい:

- クイックアクセスツールバーのボタン
 をクリック > その他のコマンド、を選択します。「ツールをカスタマイズ」ダイアログで「キーボード」タブを選択します。
- 「カテゴリ」一覧でツールのカテゴリを選び、「コマンド」一覧でコマンドを選択し ます。
- キーボードの入力エリアにカーソルを移動し、キーボードで好みのキーを押下し、次に「割り当て」ボタンをクリックします。変更する場合は置き換えたいキーを入力して設定しなおしてください。リセットする場合は、「すべてリセット」ボタンをクリックして、デフォルトの設定に戻します。

ノート: すでに割り当てられているショートカットキーは、再割り当てすることはできません。入力タブの下のメッセージは、ショートカットキーが別のコマンドによって使用されているかどうかが表示されます。

環境設定とプロパティの表示

環境設定

Foxit J-Reader はカスタマイズが可能ですが、カスタマイズできる機能の中には見つける ことが難しいものもあります。しかしこの説明を読んだ後は、環境設定がいかに有効かつ 簡単に実行できるのかをご理解いただけるでしょう。 Foxit J-Reader の環境設定は、ファイル > 環境設定 を選択して実行します。

ノート:環境設定では矢印キー、または Tab キーで別の設定項目に移動できます。

カラー設定

文書のカラーオプション

- A. 文書の表示カラーを調整: 文書の色を変更する場合は、他のオプションをチェックしてください。
- B. Windows のカラースキームを使用: 文書の色が Windows のカラースキームに応じた 設定で表示されます。
- C. カスタムカラー:ページ背景とテキストの色を設定できます。
- D. 黒または白のコンテンツのみを変更: 白黒のテキストのみが変更されます。カラーの テキストは変更されません。

注釈

- A. 注釈の表示: 注釈ツールのポップアップノートの不透明度を設定します。
- B. 鉛筆の設定: 鉛筆ツールの環境設定です。
- C. 編集: 注釈テキストの文字方向を設定します。「左から右」と「右から左」より選択で きます。

ConnectedPDF

データの収集

ConnectedPDF 機能の利用時に使用状況データを共有します: このオプションが有効な 場合、ConnectedPDF 機能を使用するときに文書の使用状況に関するデータが Foxit のサ ーバーに共有されます。このデータは今後の製品開発とユーザーエクスペリエンスの向上 にのみ利用されます。またここではプライバシーポリシーを参照することもできます。

• ConnectedPDF 形式の利用

PDFファイルをConnectedPDF形式で自動的に保存: このオプションにチェックすると、 PDF ファイルを保存するときに Foxit J-Reader は PDF ファイルを自動的に ConnectedPDF ファイルに変換します。

Office add-in で PDF に変換するとき、Office ファイルを自動的に Connected 文書に変換 する: このオプションにチェックすると、Office アドインで PDF を作成するときに PDF ファイルを Connected PDF 形式に変換します。

• Web ページの表示方法

ConnectedPDF を使用するとき、Foxit J-Reader は Web ページの関連情報 (文書のホームページや、ユーザーのホームページなど)を表示します。この表示をアプリケーション

のタブ内に表示するか、または既定のブラウザーを使用するかを選択できます。

PDF 作成

PDF 作成の設定では、作成される PDF のページサイズを設定できます。

- A. サイズ設定: リストから PDF の用紙サイズと向きを選択して設定します。
- B. カスタム: 作成される PDF のページサイズをカスタマイズします。単位を選択し、希望するページの幅と高さを設定します。
- C. PDF 作成時に確認メッセージを表示: チェックすると、Microsoft Office ファイルから アドインを使用して PDF を作成するときに、メッセージを表示します。

文書

この文書の環境設定により、PDF 文書の閲覧方法を設定できます。

開き方の設定

- 1. 複数インスタンスを許可: PDF ファイルをダブルクリックして開くたびに、新しい ウィンドウで Foxit J-Reader を起動します。
- 文書がフルスクリーンモードを要求時に警告:フルスクリーンモードで開く設定が されている PDF を開こうとすると、操作確認のためメッセージボックスが表示されます。
- 3. ブラウザー表示の既定を閲覧モードに設定: Web ブラウザーで表示する場合、自動 的に閲覧モードで PDF を開きます。
- 4. Foxit J-Reader で PDF を表示するときのモード: Foxit J-Reader で PDF を開くとき、 閲覧モード、フルスクリーンモード、通常表示のどれで開くかを設定します。
- 確認メッセージ
- すべてのタブを閉じる前に確認メッセージを表示: 複数の PDF 文書を開いている 状態で Foxit J-Reader のウィンドウを閉じるとき、本当にすべてのタブを閉じるか 確認のメッセージを開きます。これはユーザーが表示中の文書だけを閉じようとし たとき、誤ってすべてを閉じてしまうことがないようにする機能です。
- メールに添付するときは自動的に文書を保存:電子メールプログラムで変更した文書を送付するときに、自動的に文書の変更を保存します。

単位

ステータスバーや印刷ダイアログに使用する単位を設定します。

PDF/A表示モード

PDF/A表示モードの設定を行います。PDF/A文書のみを選択した場合、文書の変更を 防ぎます。

- 1. 常に実行しない: PDF/A表示モードを使用せず、通常モードで文書を開きます。
- 2. PDF/A文書のみ: PDF/A文書を開いたときに、自動的に読み取り専用の表示モードに切り替えます。

保存の設定

文書を自動保存する時間の間隔を設定できます。

ファイルの関連付け

このオプションにより、既定のPDF閲覧ソフトの設定ができます。

Foxit J-Readerを既定のPDFリーダーに設定

> 詳細設定

- 既定にPDFリーダーの設定にブラウザーを含める: プラグインを使用して、PDFを ブラウザー内で表示します。
- 既定のPDFリーダーの設定にプレビューを含める: プラグインを使用して、PDFの エクスプローラーのプレビュー表示を可能にします。
- 3. 既定のPDFリーダーの設定にサムネイルを含める: プラグインを使用して、PDFフ ァイルをサムネイル表示します。
- Microsoft Officeファイルに埋め込まれたPDFファイルを開くときFoxit J-Readerを 使用する: Officeファイルに埋め込まれたPDFファイルがAcrobatやPhantomPDFの ファイルとして設定されていても、代わりにFoxit J-Readerで開きます。
- 既定のPDFリーダーに設定: Foxit J-Readerを既定のPDFリーダーに設定します。また設定を実行するときに、前述の「詳細設定」でチェックしたオプションを含めて実行します。例えば、詳細設定で「既定の閲覧リーダーの設定にブラウザーを含める」のオプションをチェックすると、「既定のPDFリーダーに設定」を実行したときに、ブラウザーについての設定も合わせて反映します。
- ファイルの関連付けを復元:以前に既定のPDF閲覧ソフトとして関連付けられていたアプリケーションを、既定に再設定します。
- Foxit J-Reader 起動したときは常に確認する: 既定のPDF閲覧ソフトがFoxit J-Readerでない場合、Foxit J-Readerを起動するたび、既定のPDFリーダーの設定を 促すメッセージボックスを表示します。

フォーム

フォームの設定では、インタラクティブフォームの表示に関する設定を行います。

- 文書メッセージバーを常に非表示:インタラクティブフォームを開いた際、ツールバー下に表示される「文書メッセージバー」について表示する/しないを設定します。
- すべてのフィールドをハイライト表示: このオプションをチェックして、PDF文書内のすべてのフォームフィールドをハイライト表示することができます。カラーパレットをクリックして必須フィールドと通常のフィールドのハイライトの色を変更できます。
- オートコンプリートを有効にする:オートコンプリート機能を有効にした場合、イン タラクティブフォームへの入力内容を保存します。そしてインタラクティブ PDF フ ォームに入力するときに、入力候補として表示します。
- 電子メール:フォームデータを電子メールで送信する際の、既定の件名と内容を編集 できます。

フルスクリーン

- フルスクリーンモードのナビゲーション
 - A. フルスクリーンモード時の、スクロールバー、ステータスバー、タブバー、ナビ ゲーションパネル、メニューバーの表示/非表示を設定できます。
 - B. 終了ボタンを表示 フルスクリーンモードでの終了ボタンの表示/ 非表示を設 定します。
 - C. 一度に1ページずつ表示 フルスクリーンモードにおいて、一度に1ページだけ を表示します。
 - D. 左クリックで次のページ、右クリックで前のページを表示 マウスのクリック によるページの移動を可能にします。同時にスペースキー、Shift+スペースキー によるページの移動、および矢印キーによる移動も可能になります。
- フルスクリーンモードの表示

背景色 – パネルをクリックしてフルスクリーンモードの際の背景色を設定します。

フルスクリーンモードの効果

Foxit J-Readerは、フルスクリーンモードでのページ効果をサポートしています。ス プリット、ブラインド、ボックス、ワイプ、ディゾルブ、グリッタ、フライ、プッシ ュ、カバー、アンカバー、フェード11種類のページ切り替え時の効果があります。 また、効果の方向を設定できます。

- A. すべての効果を無視: チェックをつけた場合、フルスクリーンモードでのページ
 効果を表示しません。
- B. 既定の効果 ページ切り替え時の効果を選択します。
- C. 方向 ページ効果の方向を設定します。

ー般の設定では、ツールバー、スナップショット、テキストリンク、そしてタブバーについて設定します。

• 基本ツール

- A. スナップショット画像に固定解像度を使用 ースナップショットツールでイメージをキャプチャした際の解像度を設定します。初期値は72ピクセルに設定されています。
- B. URLからリンクを作成 PDFドキュメント内のテキストリンクを検出し、クリックできない状態をクリックできる状態に変換します。
- C. システムトレイに最小化 -Foxit J-Readerのアイコンをシステムトレイに格納 することにより、タスクバーのスペースを節約できます。このオプションを選択 すると、Foxit J-Readerを最小化したとき、Foxit J-Readerのアイコンをシステム トレイに格納します。
- D. スクリーンワードキャプチャリング ーこのオプションを選択すると、マウスを 使用してPDFドキュメント内の単語をキャプチャできるようになります。辞書ソ フトを使用している場合は、そのまま翻訳することが出来ます。
- E. テキスト上でカーソルを変える ーこのオプションを選択すると、テキスト選択 可能なコンテンツ上にカーソルを移動したとき、手のひらツールがテキスト選択 ツールに変化します。
- タブバー
 - A. 最大タブサイズ タブの最大サイズを指定できます。
 - B. ダブルクリックでタブを閉じる: このオプションを有効にすると、タブをダブル クリックで閉じることができます。
- ステータスバー
 - A. ステータスバーを自動的に隠す PDFを開いたとき、ステータスバーを自動で
 隠します。カーソルがページ下部にあるときのみ、ステータスバーがフローティング表示されます。
 - B. スクロールロックボタンを表示して利用可能にする ステータスバーにスク ロールロックボタンを表示して、縦/横方向のスクロールを制限できるようにし ます。
- アプリケーションの起動
 - A. スタートページを表示: チェックするとFoxit J-Reader起動時にスタートページ を表示します。
 - B. インフォメーションの表示: チェックするとインフォメーションバーを表示します。

一般

履歴

● 履歴

- A. アプリケーションを起動したときに前回のセッションを復元: 最後に使用したセ クションを自動的にオープンするか設定します。
- B. 文書を再び開くときに前回のビュー設定を復元: 文書を開く際に、自動的に最後 に開いていたビューの設定を使用するか設定します。
- C. 履歴にリストする最大数:表示したことがある文書として記憶する文書の最大数 を設定します。初期値は50です。
- D. 最近使用したファイルにリストする最大数:「最近使用したファイル」には直近 で閲覧したファイルが表示されます。この最大数を設定します。初期値は10です。
- E. 固定したものを除く最近使用したフォルダーの表示数: 固定表示したものを除き、
 ファイル > 開く > コンピューターまたはSharePoint/ OneDrive/ Google
 Drive/ Dropbox の最近使用したフォルダーの表示数を設定します。初期値は10
 です。

ノート: Foxit J-Readerは「履歴にリストする最大数」や「最近使用したファイルにリストにする最大数」「固定したものを除く最近使用したフォルダーの表示数」を0に設定することも可能です。

ユーザー情報

アプリケーションに表示するユーザー情報を設定します。ログイン名、名前、役職、組織 名、部署、メールアドレスです。このユーザー情報はPDFレビューの際に使用され、他の レビュー担当者が、該当の注釈を誰が設定したものか簡単に判別できるよう支援します。 ログイン名は既定の名前が設定され (オペレーティングシステムの現在のユーザー名が 使用されます)、変更はできません。この設定では、ログイン名以外の項目について変更 することができます。

言語環境

Foxit J-Reader は日本語版として提供されており、その UI は日本語で表示されます。しかし、必要に応じて UI の表示言語を変更することも可能です。公式にサポートしているのは、日本語および英語です。

インストール後に言語環境を変更するには、以下の手順を選択してください:

- ファイル > 環境設定 > 言語環境 を選択します。
- カスタムの言語を選択 を選択します。
- 公式の表示言語から選択するか、または非公式の言語ファイルを読み込んで表示することを選択できます。
- Enterprise 向けの J-Reader で言語ファイルを特別に利用している場合であれば、「非
公式の言語ファイルを選択」を使用します

 環境設定ダイアログの「OK」をクリックし、その後に表示されるダイアログにて「今 すぐ再起動」をクリックして、設定を反映します。

参照: <u>UI 言語の切り替え</u>

ページ表示

ページ表示の設定には以下のような機能があります:

- 既定のレイアウトとズーム
 - A. ナビゲーションタブ: 文書を開いたときに表示するパネルを指定します。
 a) 初期表示を使用: 文書に指定された既定の開き方で表示します。
 - b) ページのみ: パネルをたたむことでページの領域を大きく表示できます。
 - c) しおりパネルとページ: 文書を開いたときにしおりパネルを表示します。
 - d) ページパネルとページ: 文書を開いたときにページサムネイルパネルを表示 します。
 - e) 添付ファイルパネルとページ: 文書を開いたときに添付ファイルパネルを表示します。
 - f) レイヤーパネルとページ: 文書を開いたときにレイヤーパネルを表示します。
 - B. 既定のページレイアウト: 以下のレイアウトでPDFを表示できます:
 - a) 単一ページ表示 一度に1ページ表示します。他のページの一部が表示されることはありません。
 - b) スクロールを有効にする 1ページ分の幅で、ページを縦に連続して表示 します。
 - c) 見開きページ表示 2ページずつ横に並べて表示します。それ以外のページの一部が表示されることはありません。
 - d) 見開きページでスクロール 横に2ページ並べた状態で縦に連続表示しま す。

参照:ページ表示の変更

- C. ズーム: PDF 文書を最初に開いたときの表示倍率を設定します。PDF 文書に指定 された設定が既定値として使用され、この値を変更すると、文書の設定も変更さ れます。
- D. カスタム見開きページ:見開き表示の際に表示するページ数の既定値は2ページ ですが、任意でページ数を設定することができます。
- E. カスタム余白:見開きページ、あるいは見開きページでスクロール表示のときの 余白を設定します。余白の既定値は8ピクセルです。
- レンダリング

テキストのスムージング:使用する画面に応じた調整オプションです。

• ページコンテンツ

- A. 透明グリッドを表示:透明のオブジェクトの背景にグリッドを表示します。
- B. 論理ページ番号を使用: 論理ページ番号でPDFファイルを開きます。
- C. 「指定の場所へ移動」アクションを実行するとき、現在のズームが変更されることを禁止(これらのアクションはしおりから起動されます): チェックすることで、「指定の場所へ移動」でのズーム変更を禁止します。

参照: 文書の表示倍率の変更

PDFサイン

PDFサインを白黒に変換:オプションをチェックするとPDFサインの色を白黒にします。

印刷

• プリンター

テキストを図形として印刷 (フォントの埋め込みを無視) – フォント情報に問題があ り正しく出力できない場合に、フォントを図形として印刷することで問題を解決でき ることがあります。フォントが埋め込み設定されている場合、自動的に変更して印刷 します。

- 印刷時の処理
 - A. 文書を印刷する前に印刷ダイアログを表示: チェックすると、文書の印刷を実行 する前に印刷ダイアログを表示します。
 - B. 複数の文書を印刷するときは確認を表示: チェックすると、バッチ処理で印刷を 実行する前に確認メッセージを表示します。

読み上げ

ページあるいは文書

この設定は、スクリーンリーダーに対して一度に送る文書の量を決定します。PDF にタグが設定されていないとき、Foxit J-Readerは文書を解析し、構成を読み込もう としますが、大きいサイズの文書の場合、大変時間がかかります。一回の文書解析を 小規模で済ませるため、Foxit J-Readerを現在表示されているページだけ読むように 設定する必要があるかもしれません。この設定は、文書のサイズと複雑さ、スクリー ンリーダの機能に大きく依存するためのものです。

A. 現在表示されているページのみを読み上げる – このオプションは画面を拡大 して閲覧する場合に適しています。文書を表示していない部分にはリソースを割 かないため、パフォーマンスが向上します。Foxit J-Readerは現在表示している PDFのページだけをメモリバッファに送るので、支援機能も現在表示しているペ

Foxit J-Reader User Manual

ージに対してのみ行います。次のページが表示され、Foxit J-Readerがそのページ情報をメモリバッファに送るまでは、他のページに対して支援機能を利用する ことはできません。そのため、このオプションを選択するとFoxit J-Readerのナ ビゲーション機能を使用する必要がある場合でも、文書内のページからページへ のナビゲーション支援を利用できません。また、現在表示されているページだけ を読み上げする場合、環境設定で既定のページレイアウトを単一ページに設定す る必要があります。

- B. 文書全体を読み上げる このオプションは、スクリーンリーダーに独自のナビ ゲーションや検索機能がある場合や、Foxit J-Readerのツールより使いやすいと 思われるスクリーンリーダーを使用する場合などに適しています。
- C. 大きな文書の場合、現在表示されているページのみを読み上げる 初期設定ではこのオプションが選択されており、長文や複雑な構成のPDF文書にスクリーンリーダーを使用する場合に適しています。全体のサイズが小さな文書に対してはすべてメモリバッファに送ることを許可し、サイズの大きな文書に対してはページごとに送る設定に戻します。
- 大きな文書の最低ページ数

「大きな文書の場合、現在表示されているページのみを読み上げる」オプションを選択 した場合、この値を設定することができます。

レビュー

新しい注釈を自動確認

共有レビュー中に、新しい注釈の自動で確認する間隔を設定します。初期設定では共有レビュー中、Foxit J-Readerは5分ごとに注釈を確認します。

- 共有レビューオプション
- A. ファイルを開いたときにダイアログを表示: チェックすると、共有レビューファイル を開いたときにダイアログを表示します。ダイアログでは、依頼者、期限、サーバー 情報など一般情報を表示します。
- B. ファイルを開いたときにサーバー接続の警告を表示: チェックすると、共有レビュー レビューファイルを開いたときに、サーバー接続をするという内容の警告メッセージ を表示します。
- C. レビュー期限の前に通知する: チェックすると、共有レビューの期限が過ぎる前に、 確認メッセージを表示します。
- レビューオプション
- A. 共有レビューのために確認メッセージを表示:他のレビュー参加者が閲覧できるよう
 未公開の注釈を公開するときに、確認メッセージをを表示するかどうかを設定します。
 ユーザー自身の設定した注釈に対して有効です。

39

B. 電子メールレビューのために確認メッセージを表示: チェックすると、電子メールレビューの際に確認メッセージを表示します。

送信メッセージ

A. 「宛先」や「Cc」の入力時にオートコンプリートのリストを使用して候補を表示: このオプションをチェックしてオートコンプリート機能を有効にします。以前の電子メール レビューで返信時に入力したメールアドレスに基づき、入力文字から入力内容を予想して 提示します。

B. オートコンプリートのリストを消去する: このオプションをチェックしてオートコン プリートのリストに記録されたすべてのメールアドレスを消去します。.

セキュリティ

セキュリティ特権の場所を指定して、信頼するコンテンツを保護モードの制限から除外することができます。詳細は、保護モードでのセキュリティ制限の除外 を参照してください。

電子署名

- 文書を開いたときに署名を検証: 有効にすると、文書を開いたときに署名を検証し、 電子署名パネルに検証結果を表示します。
- 配置してすぐに文書に署名を適用:有効にすると、文書に署名を配置するとすぐにその署名を文書に適用します。無効な場合は、署名を配置した後に、別途署名を適用する必要があります。適用前であれば、配置後であっても文書を編集することができます。
- 署名したファイルを「ファイル名_署名済み.pdf」の名称で保存:有効にすると、電子 署名の実行後、ファイルの名称を「(ファイル名)_署名済み.pdf」として保存します。
- 表示方法:署名の表示方法のテンプレートを管理します。

読み上げ設定

- ボリューム: 音声読み上げの音量を設定します。
- 既定の音声を使用:チェックすると、コンテンツをデフォルトの言語、またはコンボボックスから選択できる希望の言語で読み上げます。
- 既定のスピーチ属性を使用:チェックするとデフォルトの、またはコンボボックスで 設定できるピッチと速度で読み上げます。
- 注釈を読み上げる:チェックすると、音声読み上げ実行時にアプリケーションで注釈
 も読み上げることができます。

スペルチェック

- **スペルチェックを有効にする:** チェックすると、スペルミスを避けるよう支援します。
- **スペルチェック辞書:** スペルチェックに使用する辞書の追加、削除、優先順位の変更 を行います。

タブレット

 筆圧感知を有効にする: チェックすると、サポートしているタッチスクリーンデバイ スからのフリーハンドの注釈を有効にします。

タイムスタンプサーバー

 既定のタイムスタンプサーバーを設定して、署名を実行するときにタイムスタンプを 付与します。

トラストマネージャー

参照: トラストマネージャー

アップデーター

- 自動で更新を適用する:新しい更新があれば自動的にダウンロードし、インストール フォルダー内のファイルを新規更新分と置き換えます。
- 更新を自動的にダウンロードするが、インストールするときは指定する(推奨):新しい更新があればダウンロードを行い、インストールするかどうか確認のメッセージが表示されます。初期設定ではこのオプションがチェックされています。
- 更新のダウンロードと適用を自動で行わない:自動では更新のダウンロードもイン ストールも行いません。

文書のプロパティの表示

プロパティウィンドウは、ファイルの保存場所、タイトル、サブタイトル、作成者、使用 されているフォント、セキュリティ等、文書に関する情報を提供します。また、このウィ ンドウは別のアプリケーションによって設定された属性も表示します。

PDF のプロパティを確認するには、ファイル > プロパティ を選択します。関連する情報を、以下のように取得することができます:

Foxit J-Reader User Manual

			sample-PDF.pdf	- Foxit J-Reader	
ファイル ホーム 注釈	表示 フォーム 保護	共有 Connect	ヘルプ	商 簡易検索	a • 🖪 4 D • 🕾 🍳
プロパティ 作成	プロパティ				
開く 上書き保存	一 概要		📑 概要		
名前を付けて保存 印刷 間じる 現境設定 スキンの変更	ि एमंग्रेजन बिंग ७४२१		概要 アナイル PDF バージョン 用紙サイズ ページ タイトル サブタイトル 作成者 アプリケーション DDF かわ	C:¥sample-PDF.pdf PDF-1.7 [21.00 * 29.70 cm] 3 なし なし なし なし をし をし をし をし をし をし をし をつ をつ をつ をつ をつ をつ をつ をつ をつ をつ をつ をつ をつ	
			PDF 変換 キーワード カスタム 関連情報 更新日 作成日 詳細情報の表示	Poxte PhantomPDF Printer Version 7.0.5.1107 정난 2016-09-03 22:34:03 2014-12-22 17:17:55	

プロパティウィンドウの「概要」

概要

「概要」では、PDF 文書に関する基本的な情報がいくつか表示されます。タイトル、作者、サブタイトル、およびキーワードは、オリジナルのアプリケーションで文書を作成した作者により設定されることが多いです。

• 一般

- ▶ ファイル 文書の保存場所
- ▶ PDF バージョン 文書の規格バージョン
- ▶ PDF サイズ 文書のファイルサイズ
- ▶ ページ数 文書の総ページ数
- ▶ タイトル 文書の表題
- ▶ サブタイトル 文書ドキュメントの主要な考え方やポイント、主題
- > 作成者 文書の作者
- ▶ アプリケーション オリジナルの文書を作成に使用したアプリケーション
- PDF 変換 オリジナルの文書を PDF に変換したアプリケーション、もしくはド ライバーの名称
- ▶ キーワード 作者の判断で設定した、内部の内容を明らかにする単語

• カスタム

PDF ファイルのカスタムプロパティを表示します。カスタムプロパティにはメタデ ータ、企業情報、その他の文書のプロパティ情報が含まれる場合があります。

• 関連日時

- ▶ 作成日 文書が作成された日付と時刻
- ▶ 更新日 文書が最後に作成された日付と時刻

詳細情報を表示

このオプションは、ファイルの全般に関する情報や、セキュリティ情報、Windows バッ クアップからの復元ファイルに関する情報など文書のプロパティについての詳細を表示 します。

セキュリティ

「セキュリティ」には、該当 PDF に対して変更できる内容や使用できる機能が表示され ています。また、パスワードで保護されている場合や、証明書、セキュリティポリシーが 付加されている場合は、その情報が表示されます。Foxit J-Reader でセキュリティの設定 を変更する事はできません。

o 0 🗁 🗄 🖶 🖃 🐮 🔿 (÷ &+≠		sample-PDF.pdf - Foxit J-Reader			55 O	۰	83
ファイル ホーム 注釈	表示 フォーム 保護 共有	Connect	ヘルプ		🐹 簡易検索	₽ ⊗ • ⊲ ▷	11 -	۵
プロパティ								Â
作成	プロパティ							
開<	-		🔒 セキュリティ					
上書き保存			ヤキッリティ方法					
名前を付けて保存			2127717772					
印刷			セキュリティなし					
閉じる	Aa フォント		文書に関する制限の概要	¥न्त				
			*************************************	জন				
環境設定			大容の変更、	87 FU				
スキンの変更			又書アセンフリ	8 4 PJ				
			内容のコピー:	許可				
			アクセシビリティのための内容の抽出:	許可				
			ページの抽出:	許可				
			注釈:	許可				
			フォームフィールドの入力:	許可				U
			署名:	許可				

プロパティウィンドウの「セキュリティ」

フォント

「フォント」にはオリジナルの文書に使用されているフォントとフォントタイプが表示されます。また、フォントを表示するためのエンコーディングも表示されます。

	sample-PDF.pdf - Foxit J-Reader		22 D D 22
アイル ホーム 注釈 表示 フォーム 保護 共有	Connect ヘルプ	👸 簡易検索	a • 🔲 < D • 🕲 🍳
 プロパティ 存成 プロパティ 陽(上書き保存 名前を付けて保存 印引 間じる 構設定 スキンの変更 	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	オセット) プセット) ナプセット) ト) +サプセット) みサプセット)	E

プロパティウィンドウの「フォント」

ナビゲーションペインについて

ドキュメントペインの左にあるナビゲーションペインには、いくつかの異なるナビゲーションパネルが表示されます。レイヤー、添付ファイル、ページサムネイル、注釈、しおり 等のパネルがあります。PDF ファイルを開いていない時には、これらのパネルは有効に はなりません。

ナビゲーションペインの左側にあるボタンを使用すると、しおり

■、レイヤー ジャング など、様々なパネルへ簡単にアクセスできます。

- ナビゲーションペインを表示するには、表示 > 表示設定 > ナビゲーションパネル
 ナビゲーションパネルを表示、と操作するか、または F4 を押下します。
- ナビゲーションパネルを開くには、ナビゲーションペインの左にある各パネルのボタ をクリックするか、または表示 > 表示設定 > ナビゲーションパネル > 「ナビゲー ションパネル名」と操作します。
- ナビゲーションペインを閉じるには、表示 > 表示設定 > ナビゲーションパネル > ナビゲーションパネルを非表示、と操作するか、F4 を押下、またはパネルを右クリックして「ナビゲーションパネルを非表示」を選択します。

Foxit J-Reader

ヒント: ナビゲーションパネルの右上のボタン **く** をクリックすることにより、ナビゲーションパネルの表示と非表示の切り替えができます。

ナビゲーションペインの再配置

ナビゲーションパネルは、ナビゲーションペインに固定することや、フローティングウィンドウとして自由に配置することができます。不要であれば、パネルを隠したり、閉じたりすることもできます。また、ナビゲーションパネルの幅の調整も容易にできます。

1. ナビゲーションペインでのパネルの表示

初期既定では、すべてのパネルはそれぞれのボタンと一緒に、ナビゲーションペインの左に固定されています。

以下のいずれかの操作を行なって下さい:

- ナビゲーションペイン左側の、表示するパネルに対応したボタンを選択します。
- 表示 > ナビゲーションパネル >「パネル名」を選択します。
- 2. ナビゲーションペインの表示エリアの変更
- ナビゲーションペインの表示エリアを変更するには、右の境界線をドラッグして幅を 調整します。
- ナビゲーションペインを最小化するには、ナビゲーションペインの右上のボタン
 をクリックします。
- ナビゲーションペインを最大化するには、ナビゲーションペインの右上のボタン
 をクリックします。アプリケーション幅全体にナビゲーションペイン幅を拡大します。
- 3. ナビゲーションパネルの固定とフローティング表示
- ナビゲーションパネルをフローティングウィンドウにするには、それぞれのパネルボ タンをドラッグして、ドキュメントペインに移動してください。
- フローティングウィンドウのパネルを移動するには、パネルボタンをドラッグして、 お好みの位置に移動してください。
- フローティングパネルを固定するには、タイトルバーをダブルクリックしてください。
- 2つのフローティングパネルをグループ化するには、ひとつのタイトルバーをもう一 方のタイトルバーにドラッグします。

UI 言語の切り替え

Foxit J-Reader の UI の表示言語を変更するには、ファイル > 環境設定 > 言語環境 を選択します。

マキュリティ タイムスタンプサーバー		言語環境(変更後、アプリケーシ・ ○システムロケールの言語を使用 ○カスタムの言語を選択(C)	ョンの再起動を推奨) 用(S)	
トラストマネージャー			(=)	
ファイルの関連付け		公式の言語	言語ファイル	
フォーム			lang_ja-JP.xml	
フルスクリーンモード		◎ ◆ 央語	lang_en-US.xml	
ページ表示				
ユーザー情報				
レビュー				
一般				
印刷	=			
言語環境				
注釈				
電子署名				
読み上げ				
文書				
履歴	-			

- システムロケールの言語を使用 UI 言語にシステムロケールの言語を設定します。
- カスタムの言語を選択 表示されたリストから UI 言語を選択します。
- 非公式の言語ファイルを選択 次の URL を参照ください: <u>Foxit multi-language</u> <u>translation system</u>

UI 言語を切り替えるときは、環境に応じて以下の手順を実行してください:

- 使用する UI の言語ファイルがコンピューターに既に存在している場合、その言語を 選択すると、UI の表示言語が切り替わります。
- 使用する UI の言語ファイルがコンピューターにない場合、利用可能な言語ファイル が Foxit サーバーにあれば、ダウンロードするかどうか確認のメッセージが表示され ます。
- 使用する UI の言語ファイルが Foxit サーバーにない場合は、その言語ファイルが存在しないという内容のメッセージが表示されます。

第三章 – PDF の閲覧

Foxit J-Reader をインストールすると、簡単に PDF 文書を開いて閲覧することができま す。PDF 文書を開いた後、文書の表示状態の調整、文書内のテキスト検索、Email に添付 して送付等の操作が可能です。

文書を開く

Foxit J-Reader は、デスクトップから単独で起動して PDF 文書を閲覧することも出来ま すし、Web ブラウザー内で動作することも出来ます。

Foxit J-Reader で PDF ファイルを開く

Foxit J-Readerウィンドウのスタートページから起動

Foxit J-Readerを開いたとき、初期設定ではスタートページが表示されて起動し、製品の 紹介等が表示されます。

スタートページを表示しない場合は、ファイル > 環境設定 > 一般 > アプリケーション の起動 にて、スタートページを表示のチェックを外してください。

Foxit J-ReaderでPDF文書を開く

以下のいずれかを実行します:

- PDFファイルをドラッグして、Foxit J-Readerのウィンドウにドロップします。
- クイックアクセスツールバーの開くボタン をクリックすると、開くダイアログが表示されます。ファイルを選択して「開く」をクリックしてください。PDF文書は 通常、拡張子「.pdf」で示されます。
- ファイル > 開くを選択して、最近使用したファイル/ コンピューターをクリックすると、最近使用したファイル、またはローカルドライブに保存された文書を開きます。 SharePoint、OneDrive、Google Drive、またはDropbox内にある文書を開くには、場所の追加を選択してアカウントにサインインし、PDFファイルを選択します。接続したサービスのアカウントは、開くコマンドに保存され、PDFファイルは最近使用したファイルのリストに表示されるので、次回はすばやくファイルを開くことができます。 アカウント情報を削除するには、アカウント名の上にマウスオーバーしたときに表示される削除アイコン¹⁰を選択してください。

ノート:

- Foxit J-Readerは、一度に複数のPDF文書を開くことができます。一度に複数のファ イルを開いた場合、各ファイルに対応するタブをクリックすると、閲覧するPDF文書 を切り替えることができます。PDFを一つだけ表示しているときは、タブは表示され ません。
- 頻繁に開くファイルを最近使用したファイルの上段に固定したいときは、文書のファ イル名の上にマウスオーバーした際に表示されるピンアイコン***をクリックして ください。固定を解除する場合は、同様にして解除アイコン***をクリックしてくだ さい。また、ローカルドライブやOneDrive、Google Drive、SharePoint、Dropboxの フォルダーを自由に固定または固定を解除して最近使用したフォルダーに表示する こともできます。
- 最近使用したファイルやフォルダーの表示数を変更する場合は、ファイル > 環境設定 > 履歴 より設定してください。

PDF文書をデスクトップ、もしくは他のアプリケーションから開く

Foxit J-ReaderをPDFファイルの既定の閲覧ソフトに設定している場合、以下のアプリケーションでPDFドキュメントを開くことができます:

- Emailアプリケーション: ほとんどのメールソフトで、メールに添付されているPDF 文書をダブルクリックして開くことができます。
- Webアプリケーション:Webブラウザー内でPDFファイルへのリンクをクリックすることにより、PDF文書を開くことが出来ます。
- ファイルシステム:ファイルシステムの中でPDFファイルをダブルクリックすると 開くことができます。

ノート: Foxit J-Readerのウィンドウの右下に、開いている文書のページサイズが表示されます。例えば^{145.27%}のようなイメージです。ページサイズの単位を変更する場合は、
 単位を参照してください。

セキュリティで保護されたPDF文書を開く

セキュリティ機能で保護されたPDFを受け取った時、その文書を開くためにパスワードが 必要になる場合があります。また、保護された文書の中には、印刷、編集、コピー等が行 えないように制限が加えられたものもあります。

- パスワードで保護されたPDF文書を開く場合、パスワードを入力するように要求され ます。
- 指定の操作が許可されていないPDFに対してコピーや編集を試みた場合、該当機能や ツールは無効となっており、グレーアウトしていることで確認できます。

PDF/Aファイルを開く

PDF/Aは特に電子文書の保存を目的とした、特別なPDF形式です。コンテンツを長期保存 するために作成された、このようなPDF/Aファイルを受け取って参照する場合、変更を加 えないように閲覧するため、Foxit J-Readerは新たな機能として、PDF/Aファイルを認識 して ファイル編集を無効にする機能をサポートしました。

 PDF/A ファイルを開いたとき、Foxit J-ReaderはPDF/A表示モードで開くように初期 状態では設定されています。またその際にメッセージが表示されます (下図参照)。 このモードでは、ユーザーはファイルを表示するだけで変更を行うことはできません。



- 何らかの理由によりPDF/Aファイルに編集を加える必要がある場合は、以下のいずれ かの方法を実行します:
 - メッセージバーの右側に表示された「編集を可能にする」ボタンをクリックします。確認ダイアログが表示されますので、「はい」をクリックしてください。



▶ (別の方法) ファイル > 環境設定 > 文書 を選択し、PDF/A表示モードで「適 用しない」を選択して「OK」をクリックし、Foxit J-Readerを再起動してくだ さい。

Foxit J-Reader User Manual

スペルチェック セキュリティ タイムスタンプサーバー	開き方の設定 復数ウィンドウの起動を許可(A) ② 文書がフルスクリーンモードを要求時に警告(F) 	
タブレット トラストマネージャー	ブラウザー表示の既定を閲覧モードに設定(W)	
ファイルの関連付け フォーム	Foxit J-Reader で PDF を表示するときのモード(R): 通常 ▼	
フルスクリーンモード	確認メッセージ	
ページ表示	▼ すべてのタブを閉じる前に確認メッセージを表示(S)	
ユーザー情報	▼メールに添付するときは自動的に文書を保存(E)	
レビュー		
一般	単位	
印刷	◎ インチ(I)	
言語環境	◎ ポイント(P) ◎ パイカ(C)	
注釈		
電子署名	PDF/A 祝示モート PDF/A モードで文書を表示: 適用しない ▼	
読み上げ		
文書	保存の設定	
履歷	⑦ 次の間隔でファイルを自動保存する(T): 5 ↓ 分	

Foxit J-Readerで最近開いた文書を参照する

ファイルページを開いて、最近開いた文書のリストを簡単に参照する事が出来ます。Foxit J-Readerは、最近開いたPDF文書のリストを表示します。リストから選択して、最近開いた文書を参照できます。

	0 <u></u> =	スタート - Foxit J-Reader		
ファイル ホーム 注釈	表示 フォーム 保護 共有 Connect	ヘルプ	商 制 簡易 検索	a • 🔲 4 D • 🕾 🍳
プロバティ 作成	開く			
開く 上書さ保存	し 最近使用したファイル	□ 最近使用したファイル □=カル.		
名前を付けて保存	-א-ב'שעב	sample-PDF.pdf C:		
Ellan: 閉じる 	場所の追加	sample.pdf c: Dropbox		
環境設定		Google Drive		
スキンの変更		OneDrive-Personal		

ノート:最近使用したファイルのリストの数を変更するには、環境設定の<u>履歴</u>を参照してください。

文書を保存する

Foxit J-ReaderはPDF文書を保存する際に、強力な機能を提供しています。PDF文書を保

存するために、追加ライセンス等は必要ありません。ファイルのセキュリティ設定で許可 されていれば、PDF文書に追加したコメントやフォームフィールドを保存することができ、 また、PDF文書をテキスト形式で保存することも可能です。

PDFのコピーを保存

- ファイル > 名前を付けて保存 > コンピューター を選択します。
- 保存場所を選択するか、または「参照」ボタンをクリックします。
- 名前を付けて保存ダイアログでファイル名を入力して「保存」をクリックします。

PDFをテキストファイルとして保存

- ファイル > 名前を付けて保存 > コンピューター を選択します。
- 保存場所を選択するか、または「参照」ボタンをクリックします。
- 名前を付けて保存ダイアログで、ファイルの種類を「TXT ファイル」を選択します。
- 「設定」をクリックして、保存する範囲を選択します:
 - A. すべてのページ 文書全体をテキストファイルで保存します。
 - B. 現在のページ 現在表示しているページだけをテキストファイルで保存します。
 - C. 範囲内のページを保存 テキストファイルとして保存する範囲を指定できます。
- ファイル名を入力して「保存」をクリックします。

SharePoint、OneDrive、Google Drive、DropboxにPDFファイルを保存

ファイル > 名前を付けて保存 > 場所の追加 > SharePoint/ OneDrive/ Google Drive/ Dropbox を選択してサインインし、保存するフォルダーを選択します。接続したサービ スのアカウントは、名前を付けて保存コマンドの履歴に保存されリストに表示されるので、 次回はすばやく選択することができます。アカウント情報を削除するには、アカウント名 の上にマウスオーバーしたときに表示される削除アイコン を選択してください。

文書を閉じる

PDF 文書を閉じるには以下のいずれかを実行します:

- ファイル > 閉じる を選択します、
- ショートカットキーCtrl+Wを押下します。

Foxit J-Reader の終了

Foxit J-Reader を終了するには、以下のいずれかを実行します:

- アプリケーションウィンドウの閉じるボタン × をクリックします。
- ショートカットキーCtrl + Q を押下します。

文書の閲覧

複数タブ表示とシングル/ マルチインターフェースモード

Foxit J-Reader は PDF 文書を参照する方法として、以下について説明します: 複数タブ 表示の操作、そしてシングルドキュメントモードとマルチインターフェースモードについ てです。

複数タブ表示

複数タブ表示では、一つの Foxit J-Readerの中で複数の PDF 文書を開くことが出来ます。 すでに PDF 文書を開いている状態で、別の PDF ファイルをダブルクリックした時、その ファイルは同じウィンドウ内に開きます。

新しいタブを開く

新しいタブを開くには、PDF ファイルをダブルクリックするか、ファイル > 開く と操 作する、またはクイックアクセスツールバーで「開く」ボタン^{) を}クリックします。

タブを閉じる

現在表示しているタブを閉じるには、以下のいずれかの操作を行ってください:

- タブの右端にある「閉じる」ボタン×をクリックします。
- ファイル > 環境設定 > 一般 > タブバーにある「ダブルクリックでタブを閉じる」 が有効な場合は、タブをダブルクリックします。
- タブ上でマウスの中央のボタンをクリックします。
- タブを右クリックし、ポップアップメニューより、タブを閉じる、他のタブをすべて閉じる、左のタブを閉じる、右のタブを閉じる、のいずれかを選択します。
- ファイル > 閉じる と操作します。

すべてのタブを同時に閉じるには、Foxit J-Readerのウィンドウの右上にある「閉じる」

ボタン^{SSE}をクリックする、またはタブバーの上で右クリックし「**すべてのタブを閉じる」** を選択します。

シングルドキュメントモード

シングルドキュメントモードでは、Foxit J-Readerが複数起動されます。ユーザーが新し いPDF文書を開くためにPDFファイルをダブルクリックすると、都度Foxit J-Readerは新 しいウィンドウを開きます。このモードは、異なる文書を横に並べて参照する際に有効で す。

- シングルドキュメントモードにするには、ファイル > 環境設定 > 文書 を選択し、 次に「開き方の設定」の「複数のインスタンスを許可」オプションをチェックします。
- シングルドキュメントモードを無効にするには、ファイル > 環境設定 > 文書 を選択し、次に「開き方の設定」配下の「複数のインスタンスを許可」オプションのチェックを解除します。

マルチインターフェースモード

ーつのウィンドウで一つの文書を開くシングルインターフェースモードとは対照的に、一 つの親ウィンドウ内に複数の文書をタブで開くモードです。複数タブ表示 ださい。

- マルチドキュメントモードにするには、ファイル > 環境設定 > 文書 を選択し、次に「開き方の設定」の「複数のインスタンスを許可」オプションのチェックを解除します。
- マルチドキュメントモードを無効にするには、ファイル > 環境設定 > 文書 を選択し、次に「開き方の設定」配下の「複数のインスタンスを許可」オプションをチェックします。

テキストビューワーと閲覧モード

テキストビューワー

Foxit J-Reader のテキストビューワーを使用すると、あらゆる PDF 文書をテキストのみ で表示することが出来ます。テキストビューワーで表示することにより、イメージや表の 間に分散しているテキストが再利用しやすくなります。テキストビューワーの動作はメモ 帳に似ていますが、ユーザーのニーズに応じて設定の調整も可能です。

テキストビューワーモードに変更

以下のいずれかを実行します:

- 表示 > 文書表示 > テキストビューワー^は を選択します。
- ショートカットキーCtrl+6を押下します。

テキストビューワーのカスタマイズ

テキストビューワーを起動すると、テキストビューワーに関連するツール以外は使用できません。また、右クリックで設定メニューが表示されるようになります。このテキストビューワーの設定メニューは、通常の状態では表示されません。テキストビューワーを起動

した状態で、選択できるようになります。

- 1. テキストビューワーモードのフォントを変更
- テキストエリアで右クリックしてポップアップメニューより、フォント設定 > フォ ント... と操作します。
- フォントダイアログで、フォント名、スタイル、サイズ、文字飾り、色、および文字 セット、を設定します。

フォント		×
フォント名(F): Meiryo UI Meiryo UI MS Outlook MS Pゴシック MS P明朝	スタイル(Y): サイ 標準 14 標準 14 創体 18 太字 20 太字 斜体 24 人方子 斜体 24	<u>ズ(S):</u> OK キャンセル E
文字飾り 回取り消し線(K) 回下線(U) 色(C):	サンブル Aaあぁアァ亜宇	
▼	文字セット(R): 日本語	•

ノート:フォントダイアログを使用すると、テキストビューワーで使用できるフォントの 属性を全て変更することが出来ます。また、テキストエリアのポップアップメニューで、 色の変更、および通常、ボールド、イタリックのスタイルの切り替えが出来ます。

2. 通常とボールドのスタイルの切り替え

テキスト上で右クリックして、ポップアップメニューより、フォント設定 > 太字、と操作します。

3. 通常とイタリックのスタイルの切り替え

テキスト上で右クリックして、ポップアップメニューより、フォント設定 > 斜体、と操作します。

4. テキストビューワーの環境設定

- テキスト領域で右クリックして、メニューより「設定」を選択します。
- テキストビューワーの設定ダイアログが開きます。

テキストビューワーの設定		×
現在のページの幅		
幅の最小値:	78	☑ 自動で幅を調整
☑ カラムを保持		☑ 自動回転
現在の文書の幅		
幅の最小値:	78	☑ 自動で幅を調整
▼ カラムを保持		☑ 自動回転
システムの既定の幅		
幅の最小値:	78	☑ 自動で幅を調整
▼ カラムを保持		☑ 自動回転
	[OK キャンセル

- 以下のテキストビューワーの設定を実行できます:
 - A. ページの幅を3つの異なるレベルで設定:現在のページの幅、現在の文書の幅、 システムの既定の幅
 - B. 最小の幅 このフィールドの有効値は0-1024で、既定値は78です。
 - C. カラムを保持 PDFテーブルやテキストカラムについて「列を保持」を選択 すると、テキストビューワーモードで列を適切に維持できます。既定では選択 されています。
 - D. 自動で幅を合わせる -PDFテーブルやテキストカラムについて、「自動で幅 を合わせる」を選択すると、テキスト間の幅が適切な値に自動設定されます。 既定では選択されています。
 - E. 自動回転-「自動回転」にチェックすると、プリンターの方向と矛盾の無いよ うページを回転します。既定では選択されています。

テキストビューワーモードのナビゲーション

1. 次のページ、または前のページに移動

以下のいずれかを実行します:

- 表示タブのアイコン または< をクリックします。
- ステータスバーの「前のページ」アイコン[▲]または「次のページ」アイコン[▶]を クリックします。
- ドキュメントペインにカーソルを移動し、左の矢印キーを押下すると前のページに 戻り、右の矢印キーを押下すると次のページに進みます。
- スペースキー、または Shift + スペースキーで、次のページ、または前のページに 移動します。

2. 先頭のページ、または最後のページに移動

以下のいずれかを実行します:

- 表示タブのアイコン[◀] または▶ をクリックします。
- ステータスバーの「最初のページ」アイコン[●] または「最後のページ」アイコン
 ン▶ をクリックします。
- Homeキーを押下すると先頭のページに移動し、Endキーを押下すると最後のページに移動します。
- 3. 特定のページに移動

以下のいずれかを実行します:

- 表示 > ページ移動アイコン ◀ ◀ < ▶ ▶ に指定のページを入力 > Enterを押下します。
- ステータスバーの「現在のページ番号」ボックス 5/180 ・
 レ移動先のページ番号を入力し、Enterを押下します。

ノート: 開いているPDF文書が論理的なページ番号を含んでいる場合、Foxit J-Reader は「現在のページ番号」ボックスに論理的なページ番号を表示できます。

: (1 / 252)	-	
(1/ 352) 		
II (2 / 352)		
iii (3 / 352)		
iv (4 / 352)		
v (5 / 352)		
1 (6 / 352)		-
i (1 / 352)	- +	- ₽

文書の表示倍率の変更

表示 > ツール > ズーム > ズームイン/ズームアウト と操作するか、または 表示 > ズ ーム配下のメニューより表示倍率を選択します。

テキストビューワーモードでのテキストの検索

テキスト検索は以下の操作で行います:

- ショートカットキー Ctrl + F を押下します。
- 検索ボックスにテキストを入力します。
- 検索に条件を付けるためオプションを選択します:
 - A. 完全に一致する語のみ 単語単位で全体が一致するものを検索します。例えば、 「Read」を検索する場合、「Reader」はヒットしません。
 - B. 大文字と小文字を区別 大文字と小文字を別の文字として検索します。例えば、 「text」を検索している時、「TEXT」や「Text」はヒットしません。
 - C. しおりを含める 検索対象にしおりを含めます。
 - D. 注釈を含める 検索対象に注釈内容を含めます。
 - E. フォームデータを含める 検索対象にフォームデータを含めます。
 - F. プロパティ 検索結果のハイライト表示の色と不透明度を選択します。
- Enter を押下すると、Foxit J-Reader は最初にヒットした検索語句のページにジャン プします。検索語句はハイライト表示されます。
- さらに Enter を繰り返し押下すると、続けて次の検索結果を表示します。

閲覧モード

閲覧モードとは、ナビゲーションペイン、ツールバー、ステータスバーなどのインターフ ェースを隠して PDF を表示させることで、文書の表示領域を最大化する機能です。ドキ ュメントペインを拡大し、閲覧に必要ないタブバーを表示しないことで、閲覧スペースの 無駄を省きます。

閲覧モードで文書を表示するには、以下より一つを選んで実行してください:

- 表示 > 閲覧モードアイコン ^{□□ 閲覧モード} をクリックする。
- ショートカットキー「Ctrl+H」を押下する。
- ドキュメントペインを右クリックして閲覧モードを選択する。

閲覧モードでは、ページ下部に簡易ツールバーがフロート表示されます。上書き保存、印 刷、拡大/縮小など、基本的な機能で構成されたツールバーです。ページ下部にマウスカ ーソルを移動するとフロート表示され、利用することができます。

複数の PDF ファイルを開いている場合は、キーボードの 「Ctrl + Tab」を押下することで、閲覧モードであっても他の文書の表示に切り替えることができます。

音声読み上げ

音声読み上げは、テキストを音声に変換する (Text-to-Speech: TTS) ツールです。注釈テ キストや、画像の代替テキスト、入力フォームを含む PDF 内のテキストを、声に出して 読み上げます。この機能を使えばページを読まずに情報を得ることができるので、眼精疲 労を効果的に緩和したり、該当コンテンツを聞きながら、他の事に目を向けたりすること が可能です。 音声読み上げを使用するには、以下の操作を実行してください:

表示 > 支援 > 読み上げ -> このページのみ読み上げ、または 文書の最後まで読み 上げ と操作します。

読み上げの設定

ファイル > 環境設定 > 読み上げ を選択します。

ページあるいは文書:

- 1. 現在表示されているページのみを読み上げる アプリケーションウィンドウに表示 されているページを読み上げます。
- 2. 文書全体を読み上げる 文書をページ順に読み上げます。
- 大きな文書の場合、現在表示されているページのみを読み上げる 大きな PDF を開いたときは、アプリケーションウィンドウに表示されているページのみ読み上げます。
- 4. 大きな文書の最低ページ数 最低ページ数を設定します。ページ数が設定数を超え ている場合、その文書は「大きな文書」として扱われます。

音声読み上げの動作

読み上げでは、文書の最後まで読み上げ、このページのみ読み上げ、一時停止、停止、速 度アップ、速度ダウン、ボリュームアップ、ボリュームダウンを含む、簡単な読み上げの コントロールが用意されています。

文書を読み上げるには、以下の手順を実行してください:

- 表示 > 支援 > 読み上げ ※ > 現在のページのみ読み上げ、または文書の最後 まで読み上げ を選択します。
- ▶ ボリュームツール のスライダーで、読み上げの音量を調整します。
- ▶ 速度ツール → のスライダーで、読み上げ速度を調整します。
- ▶ 一時停止ツール[▲] で、読み上げを一時停止します。
- ▶ ドロップダウンより停止を選択して、読み上げを停止します。

音声読み上げでは、ご利用のシステムにインストールされている利用可能な合成音声を使用します。SAPI5対応のテキスト読み上げ (TTS) ツールや言語のアプリケーションがインストールされていれば、それらを選択して PDF ファイルを読み上げすることが可能です。

ノート: 読み上げ機能はスクリーンリーダーとは別種のものです。また OS によっては対応できない場合があります。

文書の分割表示

分割表示機能により、ドキュメントペイン上で PDF 文書を 2 つのペイン (縦/ 横分割)、 または 4 つのペイン (スプレッドシート分割) に分割して閲覧することができます。

 分割表示を使用すると、スクロール動作、ズームレベルの変更、そして他のペインの 表示と無関係に別のページへ移動することが可能です。

分割表示を使用するには、表示 > ページ表示 > 分割ツール¹¹³ > 縦分割または横分割、 と操作してください。



横分割

 スプレッドシート分割を使用すれば、縦または横の見出しを表示させたまま、大きな スプレッドシートや表をスクロールさせることができます。この表示モードでは、一 つのペインでズームレベルを変更すると、同時に他のペインのズームレベルも同様に 変更されます。また、画面のスクロールも他のペイン間で調整されます。

ノート:下段のペイン上で、同一ページ内で縦方向へスクロールした場合、上段の2 ペインはスクロールしません。しかし次のページへスクロールすると、上段のペイン は次ページの同じ表示箇所へスキップします。横方向へスクロールした場合は、同列 のペインが同様にスクロールします。隣の列はスクロールしません。

スプレッドシート分割を使用するには、表示 > ページ表示 > 分割ツール 日 > スプレ ッドシート分割、と操作してください。

Foxit J-Reader User Manual



線の太さを表示

「線の太さを表示」を有効にすると、PDF ファイルに設定されている太さで図形の線を 表示します。無効にした場合は、表示倍率と無関係に図形の線を1 pixel で表示します。 線の太さを表示した場合と無効にした場合については、以下の図を参照して比較してくだ さい。



線の太さの表示を有効にした場合

線の太さの表示を無効にした場合

- 線の太さの表示を有効にするには、表示 > ページ表示 > 線の太さを表示 にチェックしてください。
- 無効にする場合は、上記のチェックをはずしてください。

フルスクリーンモードとウィンドウサイズへの調整

フルスクリーンモード

フルスクリーンモードにすると、Foxit J-Readerのドキュメントペインが画面全体に表示 され、メニューバー、ツールバー、ステータスバー、およびナビゲーションペインは非表 示となります。マウスポインタはリンクのクリックが出来るよう、操作可能な状態を保ち ます。

- フルスクリーンモードに関する設定は、フルスクリーンモードの設定 を参照してく ださい。
- 2. フルスクリーンモードにするには、以下のいずれかの操作を行ってください:
- ツールバーの右側にあるフルスクリーンボタン²³をクリックします。
- ショートカットキーF11を押下します。
- ドキュメントペインで右クリックして、フルスクリーンモードを選択します。

3. フルスクリーンモードでの表示状態を調整するには、文書を右クリックし、表示されるポップアップメニューを使用します。

ノート:この機能は、環境設定ダイアログで、「左クリックで次のページ、右クリックで前のページを表示」オプションを選択していない場合に有効です。

- 4. フルスクリーンモードを終了する場合:
- Esc キー、またはショートカットキーF11 を押下します。

ウィンドウサイズへの調整

以下の4つの方法から選択することができます:

- ドキュメントペインに完全に収まるようにページをリサイズするには、表示 > ツー ル > ズーム > ページ全体を表示、と操作するか、またはドキュメントペインで右 クリックし、ポップアップメニューの「ページ全体を表示」を選択します。
- ウィンドウの幅に合わせるようにリサイズするには、表示 > ツール > ズーム > 幅
 に合わせる、と操作するか、もしくはドキュメントペインで右クリックし、ポップアップメニューの「幅に合わせる」を選択します。この操作を行うと、ページの一部が
 画面内に入りきらない場合もあります。
- 文書の実際のサイズに合わせるには、表示 > ツール > ズーム > 100%表示、と操作するか、もしくはドキュメントペインで右クリックし、ポップアップメニューの「100%表示」を選択します。
- 文書を描画領域の幅に合わせるには、表示 > ツール > ズーム > 描画領域の幅に 合わせる、と操作します。

閲覧する文書の調整

Foxit J-Reader は PDF 文書の表示状態を調整するツールを、複数提供しています。例え ば、ズームイン、ズームアウトのようなシンプルなものから、ページレイアウトの設定や ページの向きを変更するような、もう少し高度なツールまであります。他のセッティング に関しては、環境設定 を参照してください。

文書の向きの変更

回転ツールを使用することにより、文書の向きを簡単に縦向き/横向きに変更することが 出来ます。

• 表示 > ページ表示 > 表示の回転 > 左回転、または右回転 を選択します。

ノート: 画面表示は90°単位で変更することが出来ますが、画面表示上の変更であり実際の文書の向きは変更されません。また、変更結果を保存する事もできません。

文書の表示倍率の変更

以下のいずれかの操作を行います:

- 1. 表示 > ツール > ズーム > ズームイン/ ズームアウト、と操作します。
- 3. 表示 > ツール > ズーム > ドロップダウンメニューより表示倍率を選択します。
- 4. ドキュメントペインで右クリック > **ズームイン**/ ズームアウトを選択します。

5. マーキーズームを使用

マーキーズームツールを使用して一部の領域を拡大し、はっきりと表示させることができます。マーキーズームツールを使用するには以下の手順を実行します:

- 表示 > 支援 > マーキーズーム^{Qマーキーズーム}を選択します。
- カーソルが (へい) に変化するので、ドラッグしてページに四角形を描いてその領域を拡大するか、またはページ上をクリックしてその場所を中心に一段階表示を拡大します。
- マーキーズームを選択してCtrlキーをクリックするとカーソルが^Q に変化します。
 このとき四角形を描いてその領域を表示したり、ページ上をクリックしたりすると
 倍率を縮小して表示することができます。

6. ルーペツールを使用:

ルーペツールを使用すれば、より簡単にPDFファイルの表示倍率を変更できます。倍 率を例えば100%に固定するなどしてPDFファイルを閲覧するのに適したツールです。 しかし、一定の領域しか表示できません。ルーペツールを使用するには以下の手順を 実行します:

- 表示 > 支援 > ルーペツール Ct ルーペツール を選択します。
- 文書内の参照したい部分にルーペツールを移動すると、拡大/縮小したオブジェクトが、ルーペツールダイアログ内に表示されます。
- (オプション) ルーペツールダイアログ内の「ロック」オプションにチェックし、文書内の参照する部分や周辺をクリックすると、赤い色の四角形が文書内に表示され、ルーペツールに表示されているエリアを示します。この四角形をドラッグするか、リサイズすることにより、ルーペツールの表示範囲や表示倍率を変更できます。
- ルーペツールの倍率を変換する方法として、ズームテキストボックスに直接値を入力するか、またはルーペツールダイアログボックス内のスライダーをドラッグして表示倍率を選ぶことができます。
- 7. 拡大鏡を使用:

Foxit J-Readerを使用すると、PDF文書の任意のエリアを、簡単に拡大して表示することが出来ます。この機能は視力に障害のある方に特に有効です。



- 表示 > 支援 > 拡大鏡 [№] ^{拡大鏡} を選択します。
- 参照したい位置に拡大鏡を移動します。
- 拡大鏡と魚眼レンズを切り替えるには、マウスの左ボタンをクリックします。
- 拡大鏡のサイズを変更するには、マウスの右ボタンをクリックします。
- 拡大鏡を終了するには、他のツールを選択するか、ESCキーを押下する、もしくは その状態から直接手のひらツールを選択します。

ページ表示の変更

ページ表示の変更は、文書のレイアウトを確認するためにズームアウトした場合などに特に有効です。Foxit J-Readerは以下のようなページレイアウトを提供しています:

- 単一ページ表示 ドキュメントペインの中に、一度に1ページずつ表示します。
- スクロールを有効にする ドキュメントペインの中で、縦方向に連続してページを 表示します。
- 見開きページ表示 ドキュメントペインの中に横に並べて2ページずつ表示します。
- 見開きページでスクロール 2ページを横に並べ、縦に連続して表示します。
- 見開きページ表示で表紙を表示 見開きページ表示で、表紙ページを単独表示します。

文書が2ページ以上あり、見開きページ、または見開きページでスクロールでの表示のと きに、表示 > ページ表示 > 見開きページ表示で表紙を表示ボタン をクリックするこ とで、.先頭ページをドキュメントペインの右側に単独で表示することができます。

ページ表示の設定は以下のいずれかの操作をおこなってください:

- **表示**タブにて、任意のページ表示モードを選択します。
- ステータスバーにて、単一ページボタン
 スクロールを有効にするボタン
 、見

開きページボタン^国、見開きページでスクロールボタン^非をクリックします。

文書内のナビゲーション

Foxit J-ReaderはPDF文書内をナビゲーションするために、ユーザーの使いやすさを考え たコントロールを提供しています。ユーザーはページ送りやナビゲーションツールを使用 して、PDF文書内を参照できます。

文書のスクロール

1. 文書内をナビゲーションする

以下のいずれかを実行します:

- マウスまたはキーボードによる操作
 - 垂直方向に文書を参照するにはマウスホイールをスクロールするか、またはキー ボードの矢印キーの上下を押下します。
 - ▶ 水平方向に文書を参照する場合は、Shiftキーを押しながらマウスホイールをスク

ロールします。

文書をスクロールして表示を移動するときに、表示したい箇所から外れてしまわない よう、スクロール方向をロックすることができます。拡大表示時や、タブレット操作 のときに便利な機能です。以下の手順で実行します:

- ファイル > 環境設定 > 一般 を選択して スクロールロックボタンを表示して 利用可能にする オプションを有効にします。有効にすると、ステータスバーに スクロールロックアイコンが表示されます。
- ステータスバー上の 尽 をクリックすると、水平方向の画面スクロールがロッ クされます。
- ステータスバー上の をクリックすると、垂直方向の画面スクロールがロックされます。
- スタータスバー上の と の両方をクリックした場合は、画面がスクロー ルしなくなり、文書の表示を固定することができます。
- 自動スクロール

自動スクロールは、ユーザーがマウス操作やキーボード操作を行わず文書を閲覧できるようにする機能です。スクロールのスピードを簡単に変えることができます。

- A. 表示 > ページ表示 > 自動スクロール ^{……} をクリックします。
- B. 以下のいずれかの操作を行います:
- 自動スクロールのスピードを変えるには、上下の矢印キーを使用します。上方 向にスクロールしている場合、遅くするには上向きの矢印キー、早くするには 下向きの矢印キーを押下します。下方向にスクロールしている場合は、それぞ れ逆の操作を行います。
- ▶ 自動スクロールの方向を変えるには、マイナスキー(-)を押下します。
- 次のページ、あるいは前のページにジャンプするには、左右の矢印キーを使用します。
- ▶ 自動スクロールを終了するには、再度自動スクロール[™] をクリックします。
- ▶ 自動スクロールを一時停止するには、スペースキーを押下します。

ヒント1: 自動スクロールを行うには、手のひらツール¹²⁰をクリックし、マウスのセンターボタン、もしくはホイールマウスボタンを押下して、マウスをスクロールする方向に移動します。再度ホイールボタンをクリックして操作を終了します。

ヒント2: 手のひらツール¹/20 モードに戻るには、スペースキーを押下します。

2. 前後のページに移動する

以下のいずれかを実行します:

表示タブにて、前のページアイコン
 、または次のページアイコン
 をクリック、

もしくはステータスバーの ◀、または ▶ をクリックします。

- カーソルをドキュメントペインに置き、キーボードのPage Upキー、あるいはPage Downキーを押下します。
- カーソルをドキュメントペインに置き、左右の矢印キーを押下します。
- スペースキーを押下すると次のページに移動し、Shift + Spaceキーの押下で前のペ ージに移動します。
- 3. 先頭のページまたは最後のページに移動する

以下のいずれかを実行します:

表示タブにて、最初のページアイコン⁴、または最後のページアイコン[▶]をク

リック、もしくはステータスバーの 🔍 、または 恥 をクリックします。

- Homeキー、あるいはEndキーを押下します。
- 4. 指定のページに移動する

以下のいずれかを実行します:

- 表示タブにて、現在のページ番号ボックス
 ・ ・ ・ に移動先のページ番号を入力し、Enterキーを押下します。
- ステータスバーの現在のページ番号ボックス ^{14/180} ・ にて、移動先の番号を入力、または選択して、Enterキーを押下します。

ノート:開いている文書に論理的なページ番号がふられている場合、Foxit J-Reader は、 現在のページ番号ボックスにそのページを表示します。

- 5. 閲覧したページのトレース
 - 直前に参照したページに移動するには、表示タブまたはステータスバーの前の画面
 ボタン
 、直後に参照したページに移動するには、次の画面ボタン
 をクリッ

クします。

 (別の方法)表示タブのページナビゲーションより、前の画面または次の画面、と 操作します。

しおりによるナビゲーション

しおりのパネルは、文書内にあるしおりのリストを表示します。一般的に、文書内の章を 代表するコンテンツ、見出し、その他の構成要素などを示す一覧になります。

1. しおりの表示/非表示は、以下のいずれかの操作で設定します:

- 表示 > 表示設定 > ナビゲーションパネル > しおり、と操作します。
- ナビゲーションペインにあるしおりボタン¹ をクリックします。
- ナビゲーションペインの右上にあるボタン
 をクリックすると、ナビゲーション ペインを開いたりたたんだりできます。
- 各トピックにジャンプするには、しおりをクリックするか、またはしおりを右クリックしポップアップメニューの「指定の場所へ移動」を選択します。プラスマーク(+)もしくはマイナスマーク(-)をクリックすると、当該しおりの下にあるしおり一覧を開閉することができます。

ヒント: PDF文書をナビゲーションしている時、ドキュメントペインに表示しているページに対応して、しおりがハイライト表示されます。

3. 現在のしおりを展開する

PDF 文書のページに設定されたしおりを選択するには、しおりのペイン上部にある「し おりの展開」ボタン 隆 をクリックします。

上位のしおりが閉じて対象のしおりが隠れている場合は、上位のしおりが展開され、現在のページに最も近いしおりがハイライト表示されますので、ユーザーはカレントページに対応するしおりを確認することができます。

サムネイルによるナビゲーション

ページサムネイルは、PDFページの縮小版です。サムネイルは文書の各ページを縮小した プレビューを提供し、閲覧とページの識別を容易にします。サムネイル内の赤い四角形は、 ページ内でドキュメントペインに表示されている部分を表しています。

A. サムネイルの表示と非表示を切り替えるには、以下のいずれかの操作を行ってください:

- 表示 > 表示設定 > ナビゲーションパネル > ページサムネイル、と操作します。
- ナビゲーションペインにある、サムネイルボタン¹をクリックします。
- ナビゲーションペインの右上にあるボタン
 をクリックすると、ナビゲーション ペインを開いたりたたんだりできます。
- B. サムネイルを使用してナビゲーションする場合は、以下のいずれかの操作を行います:
 - サムネイルをクリックすると、そのページにジャンプします。
 - サムネイル内の赤い四角形をドラッグすると、そのページ内で表示している場所を 変えることができます。
 - 現在表示しているページの表示エリアを拡張(あるいは縮小)するには、赤い四角 形の右下をドラッグします。
 - サムネイル上で右クリックし、ポップアップメニューの「サムネイル画像を拡大」、 または「サムネイル画像を縮小」をクリックすると、サムネイルのサイズを変更す ることができます。またはページサムネイルペイン上部の協、および協 をクリ ックして、サムネイルの拡大/縮小が可能です。
- C. 単一ページ表示では、ページのスクロールバーをドラッグするとページサムネイルが 表示されます。

ヒント:

- サムネイルのアクションを追加するには、しおりにアクションを追加 ださい。
- Ctrl+クリック、またはShift+クリックにより、複数のページサムネイルを選択することができます。すべてのページサムネイルを選択する場合は、サムネイルをひとつ選択してからCtrl + Aを押下してください。

リンクによるナビゲーション

リンクは、閲覧中の文書の指定の場所や、別の文書、そして Web サイトへの移動ができ る機能です。PDF 文書内でリンクをクリックするのも、別のアプリケーションの中でリ ンクをクリックするのと同様です。以下の手順でリンク先に移動することが出来ます:

- 手のひらツール⁵⁰ を選択します。
- マウスポインタをリンクの上に移動すると、ポインタの形がポインティングフィンガ
 一¹ に変わるので、その後リンクをクリックします。

テキスト検索

Foxit J-Reader は、テキスト検索のための使いやすいツールを提供しています。PDF フ ァイル内は勿論、フォルダーやディスクを対象として検索することも出来ます。また、検 索時のオプション設定により、検索に条件を設けることも出来ます。

開いている PDF のテキスト検索

テキスト検索をするには、以下の操作を行ってください:

- 画面右上の検索ボックス^{商易検索} ♪ に、検索する文字を入力します。
- 前を検索、または次を検索ツール
 ▷ をクリックして、該当箇所に移動します。
- (検索オプション)検索ボックスの右側にあるフィルタのドロップダウンメニューより、検索時のオプションを選択して、検索に制限を設定します:
 - A. 完全に一致する語のみ -- 検索しているテキストと完全一致するものだけを対象 とします。例えば、「Read」というテキストを検索した場合、「Reader」はヒットしません。
 - B. 大文字と小文字を区別 -- 大文字と小文字を区別します。例えば、「text」という テキストを検索した場合、「TEXT」や「Text」はヒットしません。
 - C. しおりを含める -- テキスト検索の範囲にしおりを含めます。
 - D. 注釈を含める -- テキスト検索の範囲に注釈を含めます。
 - E. フォームデータを含める テキスト検索の範囲にフォームデータを含めます。
 - F. プロパティ -- 検索結果のハイライト表示の色と不透明度を選択します。

ノート: C と D のオプションは、現在開いている PDF 文書の検索、および高度な検索 を実行する場合に、有効になります。

- Foxit J-Reader は最初にヒットしたテキストの位置までジャンプし、対象をハイライト表示します。
- Enter キーを繰り返し押下するか、またはショートカットキーの F3 を押下すると、 検索を続けます。

高度な検索

選択したオプションに応じて、文字列やパターンを検索することができます。1 つの PDF ファイルだけでなく、指定されたフォルダー内の複数の PDF ファイルを対象として検索 することが可能です。検索が終了すると、該当したものがすべてツリービューに表示され ます。ユーザーはリストを確認して、検索結果から特定の位置にジャンプすることができ ます。

1. テキストとパターンの検索

テキストを検索するには、以下の操作を行います:

- 検索ボックス横の検索ツール^{[™]へ}をクリックします。
- ドキュメントペインの右側に検索ボックスが表示されます。検索したいテキストを入 力してください。

- 「検索する場所を指定してください」の下にある以下にチェックをして、検索場所を 限定することができます。
 - A. 表示中の文書内を検索する場合、「現在の文書」を選択します。文書を開いていない場合は表示されません。
 - B. 特定のフォルダー内のすべての PDF、またはディスク内すべてを検索する場合は、 「以下の場所にあるすべての PDF 文書」を選択し、任意のパスを指定します。
 - C. PDF ポートフォリオ内の選択文書を検索する場合は、「PDF ポートフォリオ内の選択した文書」を選択します。
 - D. PDF ポートフォリオ全体を検索する場合は、「PDF ポートフォリオ全体」を検索します。
 - E. 特定のパターンに一致する文字列を検索するには、「パターン」オプションを選択してください。下にあるパターンと地域をドロップダウンリストから選択します。

a) パターン: Foxit J-Reader は地域毎に5つのパターンをサポートしています。 伝番号、日付、社会保証番号、メールアドレス、そしてクレジットカード番号で す。一度の検索につき、1つのパターンを指定して検索できます。

b) 地域: 電話番号や社会保障番号などの形式は地域によって異なります。正確な 検索結果を得られるよう、検索するパターンの地域を選択できます。

検索するテキストの場所のほか、検索オプション²²³の設定が可能です。

- a) 検索するテキストと完全に一致したものだけにヒットするよう、検索に制限をかけるには、「完全に一致する語のみ」オプションを選択します。この場合、例えば「Read」を検索する場合、「Reader」はヒットしません。
- b) 大文字と小文字を区別して検索するには、「大文字と小文字を区別」オプション を選択します。この場合例えば、「text」を検索すると、「TEXT」や「Text」は ヒットしません。
- c) 検索対象に注釈を含める場合は、「注釈を含める」を選択します。
- d) 検索対象にしおりを含める場合は、「しおりを含める」を選択します。
- e) 検索対象にフォームデータを含める場合は、「フォームデータを含める」を選択します。
- f) 検索結果のハイライトの色と不透明度を変更するには、「プロパティ」をクリックして表示される画面で色と不透明度を選択します。
- 「検索」ボタンをクリックします。
- 検索結果はページ順に表れます。それぞれの項目は、検索結果と前後関係のわかる数 語から出来ており、アイコンは検索結果のタイプを表しています。プラスサイン(+) をクリックすると、検索結果のリストが展開されます。検索結果を選択して PDF 文 書のコンテンツを参照します。
- (オプション)検索の実行後、新たに検索を行うには、「新規検索」ボタンをクリック

してください。

2. 検索ボックスの移動とリサイズ

検索ボックスはフロート化することも出来ますし、ウィンドウ内で固定して使用すること も出来ます。また、リサイズも簡単に行えます。

- 検索ボックスをフロートにするには、タイトルバーをダブルクリックするか、タイト ルバーをドラッグして移動します。
- フロート化した検索ボックスを移動するには、タイトルバーを任意の位置までドラッグします。
- 検索ボックスをリサイズするには、検索パネルの枠やコーナーをドラッグします。
- フロート化している検索ボックスをウィンドウ内に固定するには、タイトルバーをダ ブルクリックするか、タイトルバーをドラッグして元の位置に戻します。

動画やサウンドの再生

PDF フォーマットは双方向マルチメディアをサポートし、再生できるように拡張されて きました。サウンド、音楽、ビデオクリップなどのマルチメディアが配置された PDF フ ァイルもあります。各ムービーやサウンドファイルはプレイエリアをもっており、そこか らメディアが実行されます。プレイエリアは、イメージまたは空白の四角形として PDF 上に設定されており、非表示にして見えなくする事も出来ます。また、メディアファイル を再生するには、コンピューターにメディアプレイヤーがインストールされている必要が ありますのでご注意ください。

動画やサウンドを再生するには、以下の操作を行ってください:

Sm

 手のひらツール きを選択し、ムービーあるいはサンドファイルのプレイエリアを クリックします。マウスポインタがプレイエリアの上にくると、プレイモードのア イコンに変わります。

ノート: コンピューターをウイルスから保護するために、Foxit J-Reader はマルチメディ アファイルの再生の前にダイアログを開き、実行するかしないかを確認します。

詳細は、<u>ビデオとサウンドの追加</u>を参照してください。

日本語などアジアの言語を含む PDF の処理

対応する言語フォントがインストールされていないPDF文書を開いた場合、必要なフォントセットをダウンロードしてインストールするように、メッセージが自動的に開きます。 例えば、東アジア言語のフォントセットのインストールが完了すると、日本語、中国語、 および韓国語のPDF文書の表示、検索、印刷等が可能になります。

Foxit J-Reader User Manual

ノート:特定の言語で作成されたPDF文書を開くには、対応する言語のフォントセットを Foxit J-Readerのアプリケーションファイル(Foxit Reader.exe)と同じディレクトリに インストールする必要があります。なお、Foxit J-Readerには初期設定でEastern Asian Language Support (東アジア言語のフォントセット)が既にインストールされています。

Windowsでのサムネイル表示

Foxit J-Reader を既定の PDF リーダーとして設定すると、フォルダーを開いたときに Windows エクスプローラーで、PDF ファイルのサムネイルが表示されます。プレビュー ペインの下部に Foxit J-Reader のステータスバーが表示され、ページ移動ツール、ズー ムツール、回転ツールなど便利に表示するための基本的な閲覧ツールを使用できます。



ノート:現在この機能は 32bit 版の Windows OS、および Windows 7 64bit 版のみサポートしています。
第四章 – PDF ファイルの操作

Foxit J-Reader を使用して、テキストや画像をコピーして他のアプリケーションで使用したり、PDF にスタンプを追加したりできます。この章では上記を含むファイル操作について説明します。

選択とコピー

Foxit J-Reader 7.0 以降からテキストのコピーと貼り付けを実行するときに、フォントの 種類、サイズ、スタイル、色などのフォント情報も保持できるようになりました。

テキストのコピー

テキスト選択ツールは、PDF 文書内のテキストを、水平方向にも垂直方向にも選択可能 です。テキストをコピーするためには、ホームタブのツールグループより、テキスト選択 ツール を選択し、以下の操作を行います:

テキストの選択

- テキストを1行選択する:選択したい行に沿ってマウスカーソル⊕を移動します。
- カラム単位でテキストを選択:カーソルを行の間に置き、カラムに沿って四角形を描くようにカーソルを移動します。
- 単語の選択: 選択したい単語の上でダブルクリックします。
- ページを越えて複数の段落を選択:選択を開始する場所でマウスをクリックし、マウ スボタンを押したまま選択を終了する場所までスクロールします。
- すべてのテキストを選択: Ctrl + A を押下するか、または任意のテキストを選択し右 クリックしてポップアップメニューの「すべてを選択」を選択します。
- テキストの選択解除: 選択したテキストの以外の領域をクリックします。

テキストのコピー

テキストを選択した後、以下のいずれかの操作を行います:

- 選択したテキストの上で右クリックし、ポップアップメニューの「コピー」を選択します。
- ショートカットキーの Ctrl + C を押下します。

テキストの貼り付け

クリップボードにコピーしたテキストを別のアプリケーションで張り付けるには、そのア プリケーションの貼り付けコマンドに従ってください。

画像のコピー

個別の画像を PDF からクリップボードにコピーし、別のファイルに貼り付けたり、他の アプリケーションで使用したりすることが出来ます。

画像のスナップショットを取得

画像をコピーする場合、 スナップショットツール 💿 を使用します。

- ホーム > ツール > スナップショットツール ①、と操作するとポインタが十字⁺⁺
 に変わります。
- スナップショットを取得する画像の周囲を四角形で囲むよう、マウスをドラッグします。
- 選択した領域をクリップボードにコピーする旨、メッセージが表示されます。
- (オプション)選択したエリア内で右クリックし、ポップアップメニューの「選択した 領域をコピー」を選択します。
- 他のアプリケーションで、コピーした画像を貼り付けます。

ページのスナップショットを取得

ページ全体をコピーする際にも、スナップショットツール
の

を使用します。この場合、

画像とテキストがともに画像としてコピーされます。

- ホーム > ツール > スナップショットツール 回 を選択します。
- ドラッグしてコンテンツを選択するか、ページ内の任意の位置で右クリックし、ポップアップメニューの「すべてを選択」を選択します。

選択を解除するには、ページ内の任意の位置をクリックします。

- 選択した領域をクリップボードにコピーしますというメッセージが開きますので、 「OK」ボタンをクリックします。
- (オプション)選択したエリア内で右クリックし、ポップアップメニューの「選択した 領域をコピー」を選択します。
- 他のアプリケーションの画面で、コピーした画像を貼り付けます。

ノート:選択されたエリアは青色でハイライト表示されます。

テキストと画像の組み合わせを画像としてコピー

スナップショットツールは選択したコンテンツ (テキスト、画像、または両方) のすべて を、クリップボードや他のアプリケーションにコピーする場合にも使用できます。この場 合、テキストも画像もすべて1つの画像としてコピーされます。 テキストと画像の組み合わせを画像としてコピーするには以下の操作を行ってください:

- ホーム > ツール > スナップショットツール¹
 を選択します。
- コピーの対象となる画像とテキストの周りをドラッグして四角形で囲みます。
- 選択した領域をクリップボードにコピーしますというメッセージが開きますので、 「OK」をクリックします。
- (オプション)選択したエリアで右クリックし、ポップアップメニューの「選択した領域をコピー」を選択します。
- 選択した画像を別のアプリケーションで貼り付けます。

文字カウント

Foxit J-Reader は Microsoft Word のように、文書内のすべて、または一部分の単語数、文 字数、ページ数、行数など情報をカウントできます。テキストを選択しない状態で、表示 > レビュー > 文字カウント を選択すると、文字カウントダイアログボックスが表示さ れ、文書全体の情報を表示します。文書内の一部についてカウントするには、対象のテキ ストを選択してから、表示 > レビュー > 文字カウントを実行してください。または対 象テキストを選択して右クリックメニューで「文字カウント」を選択して実行することも できます。

レイヤーの操作

PDF のレイヤーについて

Optional Content Groups (OCG)と言った方がよく知られていますが、レイヤーは PDF ビューワーのユーザーが、ダイナミックに表示と非表示を設定できる、グラフィックの集合を意味する名前です。PDF ファイルでは、各レイヤーには文書のオブジェクトの構成部品が配置されており、レイヤーの表示/非表示とオブジェクトの表示/非表示を組み合わせた設定が可能です。

Foxit J-Reader では、レイヤーパネルを使用して PDF レイヤーの表示をコントロールす ることができます。例えば、背景のイメージを、メインのコンテンツエリア、トップレベ ルとの中間にある広告用のエリアに分割するということが可能です。そして、他の人に見 せたくないレイヤーは、簡単に非表示にすることができます。

PDF のレイヤーの表示/非表示

PDF ファイルでは、任意の情報を異なるレイヤーに配置することができます。ワークエ リアの左端にあるレイヤーパネルを参照するだけで、異なるレイヤーに配置されている関 連するコンテンツの表示/非表示を設定することができます。残念ながら Foxit J-Reader にはレイヤーの作成や編集のための機能はありません。しかし PDF ファイルのレイヤー を参照して、そのレイヤーに配置されているコンテンツの表示と非表示を設定する事は可 能です。



A. チェックマークは表示状態のレイヤー B. 非表示のレイヤー

- 1. レイヤーパネルを開き、以下のいずれかの操作を行います:
 - レイヤー名の左にあるチェックボックスのチェックをはずすと非表示になります。
 - チェックボックスにチェックマークをつけるとレイヤーが表示されます。
- レイヤーパネル右上のオプション^図から、下記のいずれかを選択します:
 - 表示ページのレイヤー一覧 現在表示されているページのレイヤーを表示します。
 - 可視レイヤーのみ表示 ページに表示されているレイヤーのみ表示します。
 - 初期表示にリセット レイヤーの状態を既定の設定に戻します。
 - すべて展開 レイヤーの階層をすべて表示します。
 - すべて閉じる レイヤーの階層をすべて折りたたんだ状態にします。

オブジェクトの計測

計測ツールは、PDF ドキュメント内のオブジェクトの大きさや距離を測る機能です。計 測ツールは、フォームや CAD によるデザインに含まれるオブジェクトのサイズや距離、 エリアの面積等を知る必要がある場合、また印刷前に実際の面積を知りたい場合などに非 常に有用です。計測ツールが Foxit J-Reader のユーザーに有効になるのは、PDF の作成 者が計測ツールを許可している場合です。

計測ツールを使用するとそのツールのダイアログが開き、線を描くたびに線の長さ等を表示します。

オブジェクトの計測

- 注釈 > 計測グループのツールを選択します。
- 2 点の長さを測るには、距離ツール 🚟 を選択します。最初の点をクリックし、2 番

目の点にポインタを移動して再度クリックすると、2 点間の長さが表示されます。

- 複数のポイント間の距離の合計を測るには、周囲の長さツール を選択します。最初の点をクリックし、続いて各ポイントをクリックして、最後のポイントでダブルクリックします。
- 線で囲った範囲の面積を測るには、面積ツール == を選択します。最初の点をクリックし、続いて各ポイントをクリックします。二つ以上のポイントをクリックした後、 最初の点をクリックするか、または最後の点でダブルクリックします。

ノート:計測の操作中に右クリックし、ポップアップメニューの「計測を完了」を選択すると、その時点で操作が完了します。また、ポップアップメニューの「計測をキャンセル」を選択すると、そこまでの操作をキャンセルすることができます。

計測中は、**注釈フォーマット**タブが表示されます。このタブにて、計測に関連する設定を 行うことができます。

6 🗁 🗄		* ?	○ ¹ / ₂	· Ŧ					距離
ファイル	<u>т-7</u>	注釈	表示	フォーム	保護	共有	Connect	ヘルプ	注釈フォーマット
スケール比: 1 c	m •=	1	cm	 ✓ 情報 ✓ 計消 ▼ ご 定利 	報を表示 則マークアップ 現	5/5/16:	•	• ••	
	スケー	ル比			22	定	7	くナップ	

- スケール比(1:2 など)を変更するには、スケール比ツールに適切な数値を入力し ます。必要であれば、隣にある単位も変更します。
- 初期設定では「情報を表示」、「計測マークアップ」、「定規」オプションが選択されています。これらを非表示にするには、設定グループの該当オプションのチェックを外してください。
 - ▶ 情報を表示: 計測情報 (現在計測中の距離、角度、スケール比など) を示す小さなパネルを表示します。
 - ▶計測マークアップ:計測のために引いた線を注釈として残します。注釈として配置 された計測結果を手のひらツールでマウスオーバーすると、計測情報がポップアッ プ表示されます。このチェックが無効な場合は、別の計測を開始したり、他の機能 を選択したりすると、計測結果は消去されます。
 - ▶ 定規:ページに定規を表示します。
- ラベル:初期状態では、Foxit J-Readerはノート注釈に計測ツール名を表示します。
 これを変更する場合は、任意のテキストをラベルボックスに入力してください。
- スナップ:オブジェクトの計測中、正確に計測を行えるようオブジェクトに沿った特定の位置に調整するためのオプションを選択できます。

▶終点にスナップ :線の終点に計測ツールを調整します。

▶中点にスナップ[™]:線の中間点に計測ツールを調整します。

▶パスにスナップ : 最寄のパスに接するよう計測ツールを調整します。

▶交点にスナップ^{*}:2つのパスの交点に接するよう計測ツールを調整します。

計測マークアップの操作

計測が終了した後、描いた線に対して、移動、リサイズ、反転、およびノート注釈の追加 などの操作を行うことができます。

計測マークアップの移動

- 手のひらツール ⁵/₂、または 注釈選択ツール ³/₃を選択し、移動するマークアップ をクリックします。
- カーソルを計測マークアップの上に移動し、ポインタが▶ に変わった後、マウスを クリックし、マークアップを目的の場所までドラッグします。

線の長さと方向の変更

手のひらツール
 、または 注釈選択ツール
 上に移動すると、マウスポインタを任意のリサイズコーナー

 \mathcal{L}

インタが 🕂 に変わります。

• マウスをクリックしてドラッグし、線の長さや向きを変更します。

計測結果と注釈の反転

計測結果と注釈を反転することができます。



以下の操作で計測結果と注釈の反転を行います:

- 手のひらツール ¹ 、または 注釈選択ツール ^識 を選択します。
- 対象の計測マークアップを右クリックして、ポップアップメニューの「反転」を選択します。

5

計測マークアップをコメントとして操作

計測マークアップは、コメントとして使用することができます。 他の注釈と同様に、ポ ップアップメニューから「ステータスを設定」、「ポップアップノートを開く」、「削除」、 「返信」や、「プロパティ…」、「現在のプロパティを既定として使用」等のコマンドを実 行することが出来ます。

ノート:計測マークアップ上に計測結果を表示する場合は、計測マークアップを右クリックし、ポップアップメニューより、プロパティ > 表示方法 > 「テキストを表示」オプションをチェックしてください。

計測マークアップをコメントとして操作する方法については、<u>第五章 – 注釈</u> を参照し てください。

計測マークアップの表示方法の変更

Foxit J-Reader は計測マークアップの表示の変更のため、二つの方法を提供しています。 **注釈フォーマット**タブでの設定と**プロパティ**ダイアログの設定です。

注釈フォーマットタブでの表示方法の変更

- 手のひらツール ったは注釈選択ツール ぶを選択します。
- 表示を変更する計測マークアップをクリックして、注釈フォーマットタブを表示します。

6 🗁	-	* う	0 b-	Ŧ					距離	
ファイル	ホーム	注釈	表示	フォーム	保護	共有	Connect	ヘルプ	注釈フォーマット	配置
_	_ -		-		À A €	<mark>不透</mark> 明度▼	 ▲ ■ ■	•		
				ロプスタイル						

- 必要に応じて、以下を実行します:
 - ▶ 線の色を変更: ボックスから、色を一つ選択するか、または 色ツールをクリックしてカラーパレットより任意の色を選択します。
 - ▶ 不透明度を変更: 不透明度ツールをクリックして、スライダーをドラッグして、不 透明度を設定します。
 - ▶塗りつぶしの色を設定:塗りつぶしの色ツール⁴をクリックし、カラーパレット

から任意の色を選択します。

- ▶ 線の太さを選択:線の太さツール 差をクリックして、値を選択します。
- ▶ 破線の形状を選択:破線の形状ツール= をクリックして、種類を選択します。
- ▶ 始点/終点を変更:始点、または終点をクリックして任意の形状を選択します。

プロパティダイアログでの表示設定の変更

- 手のひらツール ^認 または注釈選択ツール ^羅 を選択します。
- 表示を変更する計測マークアップを右クリックして、メニューより「プロパティ」を 選択します。

線 プロパティ	×
表示方法 一般 レビュー履歴	
太さ(T): 🙎 💌	
線のスタイル(Y):	
色(R): 📕 塗りつぶしの色(F): 🌈	
始点(S): なし ▼ 終点(E): なし	•
不透明度(O): 100 % ■ テキストを表示(W)	
û	
□ □ック(L) □ 現在の設定を既定として使用(E)	閉じる(C)

• 以降の操作は、図形の表示方法の変更を参照してください。

計測マークアップの再配置

計測マークアップの再配置には、二つの方法があります。 配置タブによる操作と、右クリックメニューによる操作です。

配置タブを使用した計測オブジェクトの再配置

- 手のひらツール ^認 または注釈選択ツール ^繊 を選択します。
- 再配置する計測マークアップをクリックして、配置タブを表示します。

🖸 🗁	∎ 🖶 🗉) 🐮 🄈) (? 🕹 -	Ŧ					距離	
ファイル	<u>₩</u> −₽	注釈	表示	フォーム	保護	共有	Connect	ヘルプ	注釈フォーマット	配置
重重直	🚊 垂直	⊒右	🗄 垂直							
┝▋┤水平	⊪ 水平	■ 上	⁰№水平							
📄 両方	<u> 重</u> 左	∎ 下								
中央揃え	整列	U	分布							

• 計測マークアップのセンタリングは以下を実行します:

▶ 対象の計測マークアップを選択します。

> (必要な場合) Ctrl キー (または Shift キー)を押下しながらクリックして、複数の計

測マークアップを選択します。

- ▶ 中央揃え > 垂直/ 水平/ 両方をクリックして、マークアップをページの垂直方向、 水平方向の中央、またはページの中心に配置します。
- 計測マークアップの整列は以下を実行します:

▶ 整列する計測マークアップを二つ以上選択します。

▶ 整列 > 左/右/垂直 をクリックして垂直方向にマークアップを整列します。

▶ 整列 > 上/下/水平 をクリックして水平方向にマークアップを整列します。

ノート: 複数の計測マークアップを選択するとき、最後に選択したマークアップのハンド ルは実線で表示されます。これはアンカーとなるマークアップを示しています。選択され たマークアップは、アンカーの末端に合わせて整列します。

- 計測マークアップの均等配置は以下を実行します:
 - ▶ 均等配置するマークアップを三つ以上選択します。
 ▶ 分布 > 垂直、または 水平 を選択します。

右クリックメニューを使用した計測マークアップの再配置

● 手のひらツール ^殻 または注釈選択ツール ^遯 を選択します。

- 再配置する計測マークアップを右クリックして、以下のいずれかの手順を実行します。:
 - 整列 > 左揃え/右揃え/垂直 を選択して、垂直方向にマークアップを整列します。 または 整列 > 上/下/水平 を選択して、水平方向にマークアップを整列します。二 つ以上のマークアップを選択した場合に整列コマンドは有効になります。
 - ▶ 中央 > 垂直/水平/両方 を選択して、計測マークアップをページに対してセンタリングします。
 - ▶ 分布 > 垂直/水平 を選択して均等配置します。この機能は三つ以上のマークアップ を選択した場合に有効になります。

ノート:複数の計測マークアップを選択するとき、最後に選択したマークアップのハンド ルは実線で表示されます。これはアンカーのマークアップを示しています。選択されたマ ークアップは、アンカーの末端に合わせて整列します。

詳細は 複数の画像に対する操作 を参照してください。

基本ツールの切り替え

Foxit J-Reader の基本的なツールバー構成には、検索ツール、手のひらツール、テキス ト選択ツール、スナップショットツール、タイプライターツール、その他編集ツールが含 まれます。ユーザーはタブに配置されたツールを選択し、各ツールの選択を切り替えなが ら使用することになります。一度に選択できるツールは一つで、複数同時に使用すること はできません。

定規とガイド

Foxit J-Reader は、ページ中のテキスト、図形、その他のオブジェクトの整列や配置を支援するため、水平方向と垂直方向の定規とガイドを提供しています。定規とガイドは、ページ内でのサイズや余白の確認にも使用できます。



定規とガイド

A. 定規 B. ガイド

定規を表示する

表示 > ページ表示 > 定規にチェック、と操作します。

定規を非表示にする

表示 > ページ表示 > 定規のチェックを外す、もしくは垂直または水平方向の定規の上 で、右クリックメニューより「定規を非表示」を選択します。

ガイドの作成

以下のいずれかを実行します:

- 水平方向のガイドを作成するには、水平の定規から下にドラッグして任意の位置で ドロップします。垂直方向のガイドを作成するには、垂直の定規から右にドラッグ して任意の位置でドロップします。
- 水平の定規上の任意の位置でダブルクリックすると、垂直方向のガイドが作成できます。垂直の定規上の任意の位置でダブルクリックすると、水平方向のガイドが作成できます。

ガイドの移動

表示されているガイドをクリックして任意の位置までドラッグします。

単位の変更

水平または垂直の定規、いずれかの上で右クリックし、ポップアップメニューの中で任意 の単位を選択します。

ガイドの削除

- 削除対象のガイドをクリックして選択し、Delete キーを押下します。
- 特定のページ内のガイドをすべて削除するには、そのページを表示し、定規の中で 右クリックして、ポップアップメニューの「ページ上のガイドをクリア」を選択し ます。
- すべてのガイドを削除するには、定規の中で右クリックし、ポップアップメニューの「すべてのガイドをクリア」を選択します。

元に戻すとやり直し

Foxit J-Reader は実行した操作について「元に戻す」と「やり直し」を実行できます。元 に戻す機能は、直前に行った操作をキャンセルすることにより、誤った操作を容易に正し い操作に変更できるものです。注釈の編集や高度編集、文書の変更操作を含む PDF 上の 編集操作に対して「元に戻す」と「やり直し」を実行できます。

ノート:しおりの編集については「元に戻す」と「やり直し」を実行できません。

「元に戻す」を実行する場合は、以下のいずれかの操作を行ってください:

- ツールバーの「元に戻す」ボタンを選択します。
- ショートカットキー Ctrl + Z を押下します。

「やり直し」を実行する場合は、以下のいずれかの操作を行ってください:

- ツールバーの「やり直し」ボタン²を選択します。
- ショートカットキー Ctrl + Y を押下します。

文書の共有

文書を電子メールで送信

文書を電子メールで送付して共有することは、ビジネスを進めるうえでよくあることです。 Foxit J-Readerを使用すれば同僚や友人に対して、パワフルな注釈機能を使用したPDF文 書のコラボレーションや、共有が可能です。保存した文書をアプリケーションから直接メ ールで送信することもできます。PDFファイルをメールで送信するには、以下の操作を実 行します:

- 共有 > 送信 > 電子メール、と選択します。
- システムの既定のメールプログラムが起動します。
- 開いているPDFファイルが自動的に電子メールに添付されます。
- タイトルと送付先のアドレスを入力して、送信してください。

初期設定では、PDF ファイルを電子メールに添付して送信する際に、Foxit J-Reader は 自動で PDF ファイルの変更を保存して送信します。この保存の設定は変更可能です。

電子メールでの送信時の設定を変更するには、ファイル > 環境設定 > 文書 を選択し、 確認メッセージの項にある「メールに添付するときは自動的に文書を保存」のオプショ ンを変更してください。

Outlook でのプレビュー

Foxit J-Reader は、電子メールに添付された PDF ファイルを Outlook のペイン上で参照 することができます。ペイン下部には Foxit J-Reader のステータスバーが表示され、ペ ージ移動ツール、ズームツール、回転ツールなど簡易に閲覧するための基本的な表示ツー ルが提供されています。回転ツールはプレビューしているページの回転表示を支援します。

	FoxitReader6.2_Manual - Message (HTML)	? 🖭	-	⊐ ×
ファイル メッセージ Foxit PDF 添付ファイル				
■ 「= F' ■」 □ □				
印刷 保存 を保存 の削除	選択 の表示			
アクション	選択 Xvセージ			^
ファイル名: FoxitReader6.2_Manual.pdf				
最終変更日時: 2015年/月31日金曜日				
The study 20 Country of 2 Manual Street				
IN XYビーン IN FoxitReader6.2_Manual.pdf (8 MB)				
				<u>^</u>
Contents				
Chapter 1 – I	ntroduction 1			
Foxit Reader	Overview 1			
Foxit Reader	Add-ons 1			
Foxit Reader	Distform 2			
Foxit Plug-In	Piduorm			
Chapter 2 – G	ietting Started			
Installing Fox	kit Reader7			
Updating Fox	it Reader11			
Uninstalling I	Foxit Reader12			
Toolbar Mode	s13			
Work Area				
Setting Prefe	rences & Viewing Properties 23			
About Naviga	tion Pane 24			
About Naviga	uon ranc			-
	S (A) 3/180 - S (S) (B) 129.89% - C (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (-		i.

文書を Evernote に送信

開いている PDF 文書を、直接 Evernote に添付ファイルとして送付できます。

- 事前に Evernote のアカウントを作成する必要があります: <u>https://www.evernote.com/Registration.action</u>
- Evernote のソフトウェアをダウンロードし、インストールしてください: http://evernote.com/evernote/?file=Win&btn=grey
- PDF ファイルを開きます。
- 共有> 送信 > Evernote

 共有> 送信 > Evernote



• Evernote で、現在の PDF 文書を添付ファイルとして確認できます。

SharePoint 統合

Foxit J-Reader は Microsoft SharePoint と連携し、PDF ファイルの管理と共有を支援します。以下の方法で SharePoint リポジトリに保存された PDF ファイルにアクセスできます:

- Foxit J-Reader の開くダイアログから、SharePoint にある PDF ファイルを指定 して開くことができます。チェックアウトして編集し、SharePoint ネットワー クドライブにチェックインして保存することもできます。
- Foxit J-Reader は、オンプレミスの SharePoint リポジトリおよび SharePoint オ ンラインのリポジトリにある PDF ファイルに対しても、開くおよび名前を付け て保存ダイアログを使用して操作することが可能です。詳細は、<u>Foxit J-Reader</u> で PDF を開く、名前を付けて保存する を参照してください。
- SharePoint リポジトリまたはオンプレミスの SharePoint にある PDF ファイル を、Web ブラウザーを使用して SharePoint Web インターフェースで直接チェッ クイン、チェックアウトすることができます。なお、J-Reader で SharePoint 統 合機能を利用する前に、サーバーの設定が必要です。詳細は、<u>ブラウザーで PDF</u> を開く、名前を付けて保存する</u>を参照してください。

Foxit J-Reader で PDF を開く、名前を付けて保存する

SharePoint リポジトリの PDF ファイルを開く

SharePoint リポジトリの PDF ファイルを開くには、以下を実行してください (この例では、SharePoint Online のリポジトリに保存された PDF を開くことを説明します):

Foxit J-Reader を起動して、**ファイル** > **開く** > **場所の追加** > **SharePoint** 達 を選択 します。追加ダイアログで SharePoint の URL を入力し、「OK」をクリックして次へ進み ます。

追加	x
サービスを追加	
サインインする URL を入力してください。	
ОК	

• 表示されるダイアログでメールアドレスとパスワードを入力し、サインインします。

https://login.microsoftonline.com/login.srf?wa=wsignin1%2E0&rpsnv=4&ct=1459739	x
Office 365	*
職場、学校または個人用 Microsoft アカワント	
電子メールアドレスまたは電話番号	
パスワード	
サインインしたままにする	_
サインイン	
アカウントにアクセスできない場合	
職場や学校からアカウントを割り当てられていませんか?	
Microsoft アカウントでサインインする	
© Microsoft 2016 Microsoft	-

 ダイアログが表示されますので、共有ドキュメントのフォルダーを選択して「開く」 ボタンをクリックします。

称	更新日 サイズ
demo	2014/07/22 9:36:59
images	2014/04/12 1:42:28
Lists	2014/04/12 1:42:33
m	2014/04/12 1:42:54
ProjectPolicyItemList	2014/04/12 1:42:48
Shared Documents	2015/11/19 10:01:56
SiteAssets	2014/04/12 1:42:55
SitePages	2014/04/12 1:42:55
Style Library	2014/04/12 1:42:44
default.aspx	2014/04/12 1:43:07 4 KB
GettingStarted.aspx	2014/04/12 1:42:55 3 KB
newsfeed.aspx	2014/04/12 1:43:08 5 KB

• 対象の PDF ファイルを選択して「開く」ボタンをクリックします。

1		
pass_protect.pdf	2016/03/07 15:24:05 1 KB 2014/11/09 12:07:30 2 KB	

Foxit J-Reader ダイアログが表示されます。「チェックアウトして開く」を選択すると、他のユーザーは同時に該当の PDF を編集することができなくなります。「開く」を選択した場合は、編集中に他のユーザーも該当の PDF を操作することが可能です。

Foxit J-Rea	ider 🗾 🗾
?	次を開きます: ファイル名: sample.pdf
とき	ソース:
(チェックアウトして開く 開く キャンセル

- (オプション) チェックアウトしている状態を取り消す場合は、共有 > SharePoint 統
 合 > チェックアウトを破棄 を選択します。
- 必要に応じて PDF を編集します。
- 文書のプロパティを設定するには、以下の手順を実行します:
 - 1. 共有 > SharePoint 統合 > 文書のプロパティ 🛂 を選択します。
 - ダイアログが表示されますので、カラムより項目をダブルクリックして、編集ボックスで値を編集します。例えば、Titleをダブルクリックすると、編集ボックスが表示されますので、設定する情報を入力して「OK」をクリックし、編集を完了します。

列名	値
971716	
	OK ++7>721

• SharePoint 統合 > チェックイン を選択します。

チェックインダイアログで、バージョンを設定し、対応するコメントを入力します。 他のユーザーの文書の変更を許可しない場合は、「このバージョンをチェックインし た後も、文書をチェックアウトしたままにする」にチェックしてください。

OK

キャンセル

• 「OK」をクリックすると、編集した PDF がサーバーに自動的にロードされます。

ニックイン	
バージョンのタイプ	
どのバージョンをチェックインしますか?	
◉ 0.6 マイナーバージョン (下書き)	
💿 1.0 メジャーバージョン (発行)	
◎ 0.5 現在のマイナーバージョンに上書き	
バージョンに関するコメント	
ドラフトを更新	^
4	4
■このバージョンをチェックインした後も、文書を	をチェックアウトしたままにする(<u>K</u>)
	OK キャンセル

SharePoint リポジトリに PDF を保存する

PDF ファイルを SharePoint リポジトリに保存するには、以下を実行します (この例では、 SharePoint Online のリポジトリに PDF を保存することを説明します):

ファイル > 名前を付けて保存 > 場所を追加 → > SharePoint [□] を選択します。
 追加ダイアログで SharePoint の URL を入力し、「OK」をクリックして次へ進みます。

追加 📃 🔨	
サービスを追加	
サインインする URL を入力してください。	
OK	

表示されるダイアログでメールアドレスとパスワードを入力し、サインインします。

	Foxit J-Reader User Manual
Office 365	
職場または学校アカウント でサインイン する	
someone@example.com	E
ロサインインしたままにする	
サインイン	
3 3 5 5 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	

ダイアログが表示されますので、共有ドキュメントフォルダーを選択して保存してください。

demo images Lists	2014/07/22 9:36:59 2014/04/12 1:42:28	
images Lists	2014/04/12 1:42:28	
Lists		
	2014/04/12 1:42:33	
m	2014/04/12 1:42:54	
ProjectPolicyItemList	2014/04/12 1:42:48	
Shared Documents	2015/11/19 10:01:56	
SiteAssets	2014/04/12 1:42:55	
SitePages	2014/04/12 1:42:55	
Style Library	2014/04/12 1:42:44	
] default.aspx	2014/04/12 1:43:07	4 KB
] GettingStarted.aspx	2014/04/12 1:42:55	3 KB
] newsfeed.aspx	2014/04/12 1:43:08	5 KB

ブラウザーで PDF を開く、名前を付けて保存する

Web ブラウザーを使用して、オンプレミスの SharePoint リポジトリに保存された PDF ファイルを操作するのに必要なことは、SharePoint Web ポータルにサインインして、PDF を参照しチェックインの操作を実行することだけです。対象の PDF を選択すると、チェ ックアウトするか、開くのみかを確認するダイアログが表示されます。チェックアウトし て開く 場合の操作を参考にしてください。チェックアウトしたファイルの変更を保存し て、SharePoint リポジトリにチェックインすることが可能です。

ヒント: 編集後の PDF をローカルに保存する場合は、ファイル > 名前を付けて保存 >

コンピューター を選択して、任意のローカルのフォルダーを選択してください。

PDF の作成

Foxit J-Reader を使用して、容易に PDF を作成することができます。また、プラグイン を使用して Microsoft[®] Word[®]、PowerPoint[®]、Excel[®]からワンクリックで簡単に素早く PDF を作成したり、既存の PDF ファイルをテキストに書き出したりすることが可能です。以 下の手順を実行するだけで、この新機能を簡単に、最大限活用することができます。

Foxit J-Reader での PDF ファイルの作成

ファイルから作成

- ホーム > 作成 > ファイルから[☆] を選択します。
- 作成元ファイルを参照、選択して開きます。
- 名前を付けて保存のダイアログを表示し、ファイルの名称と保存場所を決定します。
- (別の方法) Foxit J-Reader に対象のファイルをドラッグする、または対象のファイル を右クリックして「Foxit J-Reader で PDF に変換」を選択します。

スキャナーから作成

- ホーム > 作成 > スキャナーから、またはファイル > 作成 > スキャナーから を選 択します。
- スキャンダイアログで、スキャナーと関連オプションを選択します。コンピューターには、スキャナー製造元が作成したスキャナーソフトウェアがインストールされていなければなりません。

スキャナー(N):	スキャナーを選択してください	◆ スキャナーオプション([
スキャナー設定 ⊘		
🗌 スキャナーのイン	ワーフェイスを使用して設定	
ソース(0):		*
カラーモード(M):		*
用紙サイズ(P):		*
	*	

- スキャナーオプション: クリックしてスキャナーオプションダイアログを開き ます(スキャナー選択後に利用可能です。
 - ◆ 転送方法:ネイティブモードではスキャナーの既定の設定値を使用します。 バッファメモリモードは 600 DPI を超える解像度でスキャンを実行します。

スキャナーオプション	x
転送方法(T): ネイティブモード ネイティブモード パッファメモリモード	

- ▶ スキャナー設定:
- ◆ ソース:使用するスキャナーのサポートする読み取り面を選択します
- ◆ 用紙サイズ: 用紙のサイズを選択します。
- ◆ 解像度:スキャナーのサポートする解像度を選択します。
- 「スキャン」をクリックすると、同時に Foxit J-Reader は選択したスキャナーの直近の設定を保存します。後で同じスキャナーで PDF を作成する際に、大変便利です。
- 操作が完了すると、スキャナーから作成された PDF は Foxit J-Reader で自動的に開

かれます。

- スキャンを継続するには、メッセージバーの「スキャンを継続」をクリックします。
- スキャナーから作成した PDF を保存するには、クイックアクセスツールバーの保存ボタン
 存ボタン
 をクリックするか、またはファイル > 上書き保存 を選択します。
 名前を付けて保存ダイアログが開かれるので、ファイル名と保存場所を指定して「保存」をクリックします。

空白ページの作成

- ホーム > 作成 > 空白ページ ¹ 空白ページ</sup> をクリックして空白の PDF ページを作成し、 PDF コンテンツの作成が可能です。
- ホーム > 注釈 > タイプライター を選択します。
- 空白ページの任意の箇所をダブルクリックして、任意のテキストを追加することができます。
- また、必要に応じて他のツールやオプションを選択し、PDF に適用します。
- ファイル > 名前を付けて保存 を選択し、ファイル名と保存場所を指定します。

クリップボードから作成

クリップボードから直接 PDF を作成できます。

ホーム > 作成 > クリップボードから^{10 クリップボードから}をクリックすると、クリップボードに保存されたコンテンツから PDF を作成します。

他のアプリケーションからの PDF ファイルの作成

Foxit J-Reader は Microsoft Office (Word、Excel、PowerPoint、Outlook) のような対応す るアプリケーションからワンクリックで PDF を作成できます。また、元のファイルに設 定されたしおり、ページ内リンク、Web リンク、アウトライン情報を保持して PDF を作 成します。

Microsoft Office (Word, Excel, PowerPoint, Outlook)

Microsoft Office 2007/2010/2013 では、Foxit J-Reader のアドインがリボンに表示されます。設定の変更や、設定に応じた PDF 作成を簡単に実行できます。

🛯 🖶 5	- U =								
ファイル ホ	ーム 挿入	デザイン	ページ レイアウト	参考資料	差し	込み文書	校閲	表示	FOXIT READER PDF
PDF 作成し 作成 てメール	 ✓ 作成した PI ✓ ファイル名を ✓ 文書のプロ/ 	DF を開く 確認 パティ情報を保	 □ PDF/A-1b [#] □ しおりを作成 3持 	見格をサポート	RMS 保護	で 文書の ムペー	▶ ホー -ジ		
PDF 作成			一般設定			Connecte	ed 情報		

Microsoft Word に表示される Foxit Reader PDF アドイン

Microsoft Word、Excel、PowerPoint での PDF 作成は、以下の手順でおこないます:

Microsoft Word や PowerPoint でファイルを開き、「Foxit READER PDF」タブを選択し て次のいずれかを実行します:

- 現在の設定で PDF を作成するには、PDF 作成 ボタン をクリックします。そしてファイル名と保存場所を指定して「保存」をクリックします。
- 現在の設定でPDFを作成してメールで送信するには、作成してメールボタン ² を クリックします。そしてファイル名と保存場所を指定して「保存」をクリックします。 メールで送信できるよう、作成された PDF が自動でメールに添付されます。
- PDF を作成する前に、リボンの一般設定グループにあるオプションを設定することができます。
 - ◇ 作成した PDF を開く: PDF 作成の実行時、作成した PDF を J-Reader で自動的 に開きます。
 - ◇ 作成するファイル名を確認: 作成前にダイアログを表示して、作成するファイルの名称と保存場所を指定します。チェックしない場合、作成元ファイルと同じ場所に、作成元ファイルと同じ名称の PDF ファイルとして保存します。

 - ◇ PDF/A-1b 規格をサポート: PDF/A-1b 規格に準拠した PDF を作成します。
 - ◇ しおりを作成:作成元ファイルのブックマークを保持して、作成する PDF に適用します。このオプションは Word ファイルのみ有効です。
- Foxit J-Reader の「PDF ファイルを ConnectedPDF 形式で自動的に保存」が有効な 場合、変換後にファイルは ConnectedPDF ファイルとして保存されます。文書のホ ームページをクリックして、ConnectedPDF について参照できます。

ヒント:

- Microsoft Word の Foxit プラグインで Word ファイルを ConnectedPDF 文書に 変換すると、Word ファイルに固有の cDocID が付与されます。
- Microsoft Word の Foxit プラグインで ConnectedPDF 文書に変換する前に、Foxit J-Reader の ファイル > 環境設定 > ConnectedPDF > PDF ファイルを ConnectedPDF 形式で自動的に保存 にチェックし、Foxit アカウントにサイン インしてください。そうすることで作成される ConnectedPDF 文書の所有者と なります。PDF ファイルを ConnectedPDF 形式で自動的に保存 オプションに チェックしていない場合は、通常の PDF 文書が作成され、文書のホームページ ボタンはグレーアウトしたまま利用できません。

Windows のメモ帳

• .txt 形式のファイルを開き、ファイル > 印刷 を選択します。

- 印刷ダイアログでプリンターのリストから Foxit Reader PDF Printer を選択します。
 必要に応じてプリンターのプロパティを設定し、「印刷」ボタンをクリックします。
- ダイアログが表示されますので、ファイル名と保存場所を指定して「保存」をクリックします。

Internet Explorer

- Windows の Web ブラウザーを起動し、対象の Web サイトあるいは Web ページを開きます。
- ツール^{② >} 印刷メニュー > 印刷 を選択します。
- プリンターの選択で、Foxit Reader Printer を選びます。
- 必要に応じて作成環境を設定します。設定は 詳細設定 ボタン等からプロパティ画面 を開き、行います (参照: Foxit Reader Printer のプロパティ設定)
- 「印刷」をクリックします。
- ダイアログが表示されます。生成する PDF ファイルの名前と保存場所を選択し、「保存」ボタンをクリックします。

Outlook Express

- メールクライアントを起動し、任意のタイトルをクリックしてメールを開きます。
- メニューより、ファイル > 印刷、と操作します。
- プリンターの選択で、Foxit PhantomPDF Printer を選びます。
- 必要に応じて作成環境を設定します。設定は 印刷オプション ボタン等からプロパティ ィ画面を開き、行います (参照: Foxit Reader Printer のプロパティ設定)。
- 「印刷」をクリックします。
- ダイアログが表示されます。生成する PDF ファイルの名前と保存場所を選択し、「保存」ボタンをクリックします。

保護された PDF ファイルの作成 (エンタープライズ用 MSI 形式)

Foxit J-Reader (MSI 形式) は Office ファイル (Word、Excel、PowerPoint) から Foxit Reader add-in を使用して RMS 保護された PDF を作成することができます。

🛯 🖯 5-	- (J =							文書 1 - W
ファイル ホー	ム 挿入	デザイン	ページ レイアウト	参考資料	差し込み文書	校閲	表示	FOXIT READER PDF
 PDF 作成し 作成 てメール 	 ✓ 作成した P ✓ 作成するフォ ✓ 文書のプロ, 	DF を開く ァイル名を確認 パティ情報を保護	 PDF/A-1b 規 しおりを作成 時 	見格をサポート	CTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTT			
PDF 作成			一般設定					

Microsoft Word、Excel、PowerPoint で RMS 保護された PDF を作成するには、以下の手順を実行します:

• Microsoft Word、Excel、PowerPoint でファイルを開きます。

 Foxit READER PDF > RMS 保護 を選択します。下図のように Foxit J-Reader Add-in のダイアログが表示されます。

Foxit J-Reader Add-in		×
セキュリティ		
セキュリティを設定しない セキュリティを設定しない RMS (유設 発行者リスト: 林式会社FoxtDapan	Tンプレートリスト: JADRM Test Policy IsvTenant006 - All Permissions For Employ IsvTenant006 - Confidential new	更新 iees
	OK E	キャンセル

- ドロップダウンリストから「RMS 保護」を選択します。
- リストから適用するテンプレートを選択します。
- 「OK」をクリックします。
- Foxit READER PDF > PDF 作成 をクリックして PDF ファイルを作成します。
- 「作成するファイル名を確認」オプションにチェックしていた場合は、表示されるダイアログで、ファイル名と保存場所を指定して「保存」をクリックします。

PDF の署名

Foxit J-Reader は堅牢で安全性が高く、すばやく利用できる署名機能をサポートしています。DocuSign 連携、PDF サイン、そして電子署名を利用できます。

DocuSign[®]での PDF の署名

Foxit J-Reader は DocuSign と連携することができます。DocuSign は、容易に PDF 文書の送信、署名が可能で、文書とフォームを保存することができる、業界で最も幅広く利用されている電子署名ソリューションです。

PDF ファイルの署名

DocuSign で PDF に署名するには、以下の手順を実行します:

- 保護 > 保護 > DocuSign^{∞∞} を選択します。
- 「DocuSign にログイン」を選択します。DocuSign アカウントの電子メールアドレスとパスワードを入力して、ログインします。アカウントをお持ちでない場合は、最初にアカウントを作成してください。
- DocuSign ボタン²⁰⁰⁵ をクリックして、「DocuSign で署名」を選択します。アプリケーションは PDF を DocuSign にアップロードし、DocuSign のユーザーインターフェースを表示します。

	Docu Sign. Select a tag from the add menu. Click Finish when you are ready.		
	More Options 🛛 📇 📴 🕞 + + 📭 + + + + + + + - + - + - + - + - + - +		
	Sign Signature	^	(hide)
	Installation		
	This program does not have to be installed explicitly (portable application). Copy the two files "ScreenCapturePrint.exe" and "ScreenCapturePrint.pdf" into a directo	Ш	
	your choice and start the program "ScreenCapturePrint.exe" or the corresponding manu "ScreenCapturePrint.pd" whenever needed. Add a program shortcut to the Windows Stu up Directory and the software "Screen Capture + Print" will be started with Windows		2
	automatically.		
	Application My Email Address		
	The corresponding icon shows up in the taskhar (tray) once the program has been start		
	Use right mouse click on the icon to show the context menu.		
	Image Output Use left mouse click on the icon or choos		
	Cipboard Cipboard Text		
	Print you can drag a rectangle with the mouse File define the requested screen area.		
	Cancel In order to capture the full screen click on the icon and afterwards area on the desider or	-	
•			-

 文書に署名

- 1. 直接署名する
 - DocuSign インターフェース右上の をクリックします。
 - ▶ 任意のテンプレートを選択し、文書の署名する場所をクリックします。

ノート:

- 1. 署名テンプレートを変更したい場合は、DocuSign Web サイトにアクセスす る必要があります。詳細は、署名のテンプレートの変更 を参照してください。
- のドロップダウンメニューより、イニシャル、名前(姓、名)、会社名、標題、メールアドレスでの文書への署名を選択することができます。日付 98

やチェックボックスでの署名も可能です。下図のものを使用できます:



2. 書面に署名する:

書面に署名したい場合は、左側の「More Options」から「Sign on Paper」をクリックしてください。ダイアログボックスが表示されます。

Sign on Paper									
You can submit the signed document via fax or document upload.									
 Print the document to be signed. 									
② Review and sign the docume	② Review and sign the document.								
③ Upload or fax the signed document.									
Back Prefer to Upload the Document? Complete									
	•	Print and Fax							

3. 後で署名する

今すぐに署名をしない場合は、「Options」のドロップダウンメニューにあるボタ ン ⁽⁾ Finish Later をクリックします。

- 署名のテンプレートの変更
 - 署名のテンプレートを変更する場合は、DocuSign の Web サイト (www.docusign.net) にアクセスします。
 - Home メニューにある Your Identity の横の「Edit」を選択します。



「Manage Identity」内の「Edit」をクリックして Manage Signatures ウィン ドウを開きます。



Manage Signatures ウィンドウにて、「Edit」をクリックし、署名テンプレート を変更します。

Manage Signatures

Your DocuSign electronic signature and electronic initials may appear on documents with or without the elements that mark that signature or initials with DocuSign information. The sending account will have the ability to set whether this format is displayed on signatures and initials for their documents.

Name	Signature	Initials		
cynthia	cynthia BA488637E43F47) ete	
New				

- ◇ Select Style: 署名テンプレートのスタイルを選択します。
- ◆ Draw: 入力デバイスを使用して署名テンプレートを描きます。
- ◇ Upload: 署名テンプレートとして使用する画像をアップロードします。

Manage Signatures Your DocuSign electronic sigr with or without the elements the information. The sending accordisplayed on signatures and in	nature and electronic initials may a hat mark that signature or initials v ount will have the ability to set whe initials for their documents.	appear on documents vith DocuSign ther this format is						
	Select Style Draw Upload							
By clicking Adopt, I agree th representation of my signat on documents, including le signature or initial. Frequently Asked Question:	By clicking Adopt, I agree that the signature and initials will be the electronic representation of my signature and initials for all purposes when I (or my agent) use them on documents, including legally binding contracts - just the same as a pen-and-paper signature or initial.							
Adopt Cancel	ned by: A 7E43F477	Constiguent by: Cychildia Boundignet by: Cychildia Boundignet by: Cychildia Boundignet by: Cychildia Boundignet by: Cychildia Boundignet by: Cychildia Boundignet by: Cychildia Boundignet by: Cychildia						

- 「Adopt」をクリックして設定を完了します。
- More Options

DocuSign ユーザーインターフェースにある「**More Options」**をクリックして下図の ように、View history、View Certificate、Sign on Paper、Finish Later を選択できま す:



- 右側のページ番号リストをクリックして、署名する指定のページにジャンプできます。
- ボタン をクリックして、署名ペインを開きます。署名テンプレートを選択して、任意の場所にドラッグします。同時に複数のテンプレートを配置することができます。
- テキストボックスの右上のボタン

 をクリックして、署名を削除できます。
- 「Finish」をクリックして、署名を終了します。署名した PDF をプレビューすることができます。

re Options	631298411@qq.com +++ +	Finish + 🖍	
	 SharePoint 2010: Copy the downloaded.GIF file to "Drive:\Program Files\Comm Files\Microsoft Shared\Web Server Extensions\14\Template\Images" SharePoint 2007: Edit the file "Drive:\Program Files\Common Files\Microsoft Shared\Web server extensions\12\Template\XmI\DOCICON.XML". Shared\Web server extensions\14\Template\XmI\DOCICON.XML". Shared\Web server extensions\14\Template\XmI\DOCICON.XML". To edit the file, please refer to the following steps: a. Right-click DOCICON.XML file > click Open With > select Notepad. b. Add an entry for the file with .pdf extension and take it as the file's name. For example, type the ICPDF as the name of the .gif file: 	DocuSigned by: Denny CEAS7FFFD334406 or	
	<mapping <br="" rey="pdf" value="pdfl:con.gif">OpenControl="FoxitPhantomPDF.OpenDocuments"/></mapping>		

- Download ボタンご、または Print ボタン を選択して、署名した PDF を取得できます。
- DocuSign ボタン¹ を選択して、「DocuSign からログアウト」を選択できます。

DocuSign 経由で PDF を送信

- J-Reader で送信する PDF を開きます。
- DocuSign ボタン²⁰⁰ をクリックして、「DocuSign で送信」を選択します。
- Web サイトにログインします。
- 左側の署名リストから署名テンプレートを選択し、署名する位置にドラッグします。
- 署名を選択し、🏁 をクリックして署名のプロパティを設定します。
- ツールバーよりツールを選択して、署名を編集します。
- ボタン をクリックして、送信先アドレスを指定します。
- ボタン^{Message}をクリックして、件名とメッセージを編集します。
- 「Send」をクリックして PDF を送信します。

PDF サイン

PDF サイン機能により、手書き署名を作成して、直接ページに追加することができます。 用途に応じて別途作成したり、複雑な設定を実行したりする必要ありません。

サインを作成して文書に適用

手書き署名を作成して PDF に署名するには、以下の手順を実行してください。 1. 保護 > 保護グループ > PDF サイン を選択します。

- サインボックスの をクリックするか、または をクリックして「サインを作成」
 を選択します。
- 3. **サインの作成**ダイアログボックスが表示されますので、以下からサインの作成方法を 選択してください:

サインの作成	x
作成方法 サインを書く(D)	
ファイルを読み込み(I)	
クリップボードから貼り付け(P)	
サインをタイプ入力(T)	
✓ サインを白黒に変換(C)	
プログラムを終了したときにこのサインを破棄(T)	
このサインの使用にパスワードを入力(R)	パスワードを設定(S)
	保存 キャンセル

- サインを書く: サインを書くダイアログボックスに手書きサインを書き、OK を クリックして作成します。
- ファイルを読み込み: 開くダイアログボックスで画像を選択して開くをクリックします。
- クリップボードから貼り付け: クリップボードに保存されている画像をサインとして使用します。
- サインをタイプ入力:サインを入力ダイアログが表示されます。サインを入力フィールドにサインとして使用する文字を入力し、フォントを選択して OK をクリックします。
- 4. 必要に応じて以下のオプションをチェックしてください:
 - サインを白黒に変換:初期状態でこのオプションはチェックされています。有効な場合、サインを白黒に変換します。無効な場合は、画像のオリジナルの色でサインを作成します。
 - プログラムを終了したときにこのサインを破棄:このオプションにチェックすると、Foxit J-Readerを終了したときに自動的に作成したサインを削除します。
 - このサインの使用にパスワードを入力: このオプションにチェックして、パスワードを設定 をクリックしてサインのパスワードを設定します。設定すると、サインを使用するときにパスワードの入力が必要になります。

ヒント:黒いペンで真っ白な紙面にサインを書き、スキャンして画像ファイルにした場合、 サインを最良の状態で出力する目安は、白黒スキャンで 600 DPI です。

- 5. 「保存」をクリックしてサインを保存します。
- サインする場所にカーソルを移動させ、クリックしてサインを配置します。サインの 選択時に表示されるハンドルをドラッグしてサイズを調整することができます。また 選択したサインをドラッグして別の場所に配置することも可能です。適用前のサイン を右クリックすることで、メニューよりサインをコピー、切り取り、貼り付け、削除 することができます。
- サインにテキスト(氏名や日付など)を追加して使用したい場合は、以下の手順のいずれかを実行してください:
 - PDF サイン > 入力グループ > 定義済みテキストを選択して、定義されている テキストを選択してください。追加したい場所をクリックしてテキストを配置し

ます。 А+ および А- をクリックしてテキストのサイズを調整できます。

PDF サイン > 入力グループ > タイプライターを選択してテキストを追加した
 い場所をクリックし、テキストを入力してください。 A+ および A- をクリックしてテキストのサイズを調整できます。

ヒント: Foxit J-Reader はユーザー情報と現在の日時を定義済みテキストに設定しま す。PDF サイン > 入力グループ > 定義済みテキスト > 定義済みテキストを設定 を選択して、使用したい定義済みテキストを新たに設定することもできます。

- 8. 利用に応じて以下のいずれかの方法で文書にサインを適用できます:
 - 文書にサインを適用するには、対象のサインを右クリックしてメニューより、サインを適用を選択します。
 - 複数ページにサインを適用する場合は、対象のサインを右クリックしてメニューより、複数ページに配置を選択し、適用するページ範囲を指定してください。
 - 配置されたすべてのサインを適用する場合は、まずサインの配置に間違いがない

か確認してください。必要に応じて state をクリックすることで前後に あるサインを確認することができます。問題がなければ、PDF サインタブのサ イングループにある すべてのサインを適用 を選択してください。初めてサイ ンの適用を実行するとき、Foxit J-Reader は PDF サインの設定を確認するダイ アログを表示します。設定は、環境設定 > PDF サイン で変更できます。

ノート:

一度適用すると、サインは編集したり削除したりできなくなります。

サインの管理

サインの管理は、以下を実行します:

- 保護 > 保護グループ > PDF サインを選択します。
- サインボックスの[〒] をクリックして**「サインの管理」**を選択します。
- サインの管理ダイアログボックスが表示されます。既存のサインを選択して、実行する操作ボタンをクリックしてください。

サインの	管理		×
-#	小一覧		
	17 22		前に移動(F)
	oxitصapanی	FoxitJapan	後に移動(B)
			パスワードを設定(P)
			削除(D)
			作成(C)
			閉じる

電子署名

電子署名は、従来の手書き署名と同様に文書を認証するものであり、ユーザーの身元確認 や文書のコンテンツの確認に使用されます。また、電子署名は署名したユーザーの情報、 日付時刻、そして署名した際の文書の状態などを保存します。

デジタル ID について

デジタル ID は、個人名、会社名、電子メールアドレス、シリアルナンバーや有効期限な どを含み、人物や組織の身元を証明するものです。デジタル ID には 2 つのキーが含まれ ています。一つは公開鍵で、暗号化やデータのロックに使用されます。もう一つは秘密鍵 で、こちらは暗号の解読や暗号化されたデータのロック解除に使用されます。

ユーザーは公開鍵やその他の身元を認証する情報を含む証明書を相手に送信し、その情報 を受け取った相手は、送信者の署名や情報から送信者の身元確認、署名の正当性確認、そ して送信者のための暗号化した文書の作成を行うことができます。ユーザーの証明書(公 開鍵)を使用して暗号化された文書は、同じユーザーの秘密鍵を使用する場合にだけ、解 読する事ができます。そのため、デジタル ID は安全な場所に保管してください。

デジタル ID は認証機関 (CA) と呼ばれている信頼できるサードパーティから取得するか、 または自分自身でデジタル ID を作成することも可能です。通常デジタル ID は、パスワ ードにより守られており、コンピューターに保管する場合は PKCS#12 ファイル形式、ま たは Windows の証明書ストアに保管する事ができます。

署名を配置

文書に署名する前に、署名の配置場所に署名フィールドを設定し、デジタル ID を取得して、署名を作成する必要があります。

- 1. 保護 > 保護 > 署名と証明 > 署名を配置、と操作します。
- 2. ボタンを押してマウスをドラッグし、署名フィールドを描きます。
- 3. 文書に署名ダイアログの「署名者」ドロップダウンメニューでデジタル ID を選びます。デジタル ID が見つからない場合は、サードパーティのプロバイダからデジタル ID を取得するか、もしくは自分で作成する必要があります。
- 4. (オプション) Self-Sign デジタル ID を作成するには、メニューより「新規 ID」を選択し、デジタル ID を追加ダイアログで「新規にデジタル ID ファイルを作成」を選択します。「次へ」をクリックしてデジタル ID の格納場所を選択します。「次へ」をクリックして、名前、部署、組織名、メールアドレスなど ID 情報を入力します。これらは Self-Sign 証明書の生成時に使用されます。デジタル ID の使用方法 より一つを選択する必要があります。「次へ」をクリックして、新しいデジタル ID のファイル名、保存場所、パスワードを入力します。パスワードを確認して「完了」をクリックします。
- 5. 「表示方法の種類」ドロップダウンメニューより、表示方法を選びます。外観のタイ プには、「標準のスタイル」と「新しいスタイルを作成」があり、新しいスタイル を作成する場合は、自分で表示内容をデザインして作成する事ができます。<u>署名のス タイルを作成</u>を参照してください。署名のプレビューパネルで署名を確認すること ができます。
- 6. パスワードを入力し、必要に応じて署名の場所の入力、署名の理由を選択して「**署名」** をクリックします。ファイル名と保存場所を指定して「保存」をクリックします。

文書に署名
署名者(A): 新規 ID ▼ 情報(N)
パスワード(P):
証明書の発行者: 123
署名情報
場所(O):
理由(R): この文書の作成者
■ 署名後に文書をロック(D)
署名のプレビュー
表示方法(T): 標準のスタイル 🗸
署名者の 署名者: 署名者の名前 DN: 識別名 理由: この文書の作成者 場所: 日時: 2016-02-05 07:15:50 pm
署名(S) キャンセル

ノート:初期設定では署名を配置すると、すぐに署名は適用され移動やリサイズができなくなります。この設定を変更するには、ファイル > 環境設定 > 電子署名 にて「配置してすぐに文書に署名を適用」のチェックを外してください。

署名のスタイルを作成

電子署名のデザインは、**文書に署名**ダイアログの中の様々なオプションを選択することに より決まります。例えば、署名の中に手書きの署名のイメージを使用することや、会社の ロゴ、または写真、日付などを使用することができます。さらに、目的毎に異なるダイナ ミック署名の作成も可能です。また署名のデザインには、署名してある理由、書名を作成 した人の連絡先など、その署名を見た人に提供したい情報も使用することができます。



- 1. 保護 > 保護 > 署名と証明 > 署名を配置、と選択します。
- 2. マウスボタンを押したままドラッグして、署名 のフィールドを描きます。
- 3. **文書に署名**ダイアログで、表示方法のメニューにて「新しいスタイルを作成」を選 択します。



電子署名に表示するオプションを設定します。名前、組織、国、ロゴ、場所など、様々な情報を表示させる電子署名を作成することができます。「OK」をクリックして設定を保存します。

署名の表示方法の設定				
タイトル(T): プレビュー				
署名者の 署名者の 型: 署名の理由 場所: 署名した場所 日時: 2016-02-05 07:17:30 pm				
 ■像の設定 ● 画像なし(G) ● 画像を使用(P) 参照(W) 不透明度(Y): ● 名前を使用(E) 				
追加テキストの設定 図名前(N) 図場所(L) 図識別名(D) 図アプリケーションのロゴ(O) 図日時(A) 図理由(R) 図ラベル(B)				
テキストのプロパティ テキストの方向(X): 自動				

署名の表示方法の設定ダイアログ

5. 署名をクリックします。

ノート:作成したスタイルの管理は、ファイル > 環境設定 > 電子署名 にて行います。

PDF に署名する

PDF 文書に対して、ユーザーの承認を示すために署名することができます。署名は実行 すると文書に統合されるため、移動やサイズ変更ができません。また、PDF ファイルに は複数のユーザーが署名を実行できます。ユーザーが文書に署名すると、そのユーザーの 電子署名が署名フィールドに表示されます。電子署名のデザインは、その設定により決定 されます。

- 1. PDF 文書への署名の適用は以下のいずれかの方法で行ってください:
 - 保護 > 保護 > 署名と証明 > 文書に署名、と操作します。
 - 手のひらツールを選択して、配置した電子署名を右クリックし、メニューより「文 書に署名」を選択します。
 - 手のひらツールを選択し、電子署名をクリックします。
 - 電子署名は、環境設定ダイアログで設定を変更することができます。ファイル >
 環境設定 > 電子署名 を選択します。オプションの「配置してすぐに文書に署
 名を適用」を選択すると、電子署名を配置した直後に文書に署名を適用できます。
名前を付けて保存ダイアログが表示されますので、ファイル名と保存場所を指定して 保存します。

ノート:初期設定では、署名を配置するとすぐに文書に適用されます。設定を変更するには、ファイル > 環境設定 > 電子署名 を選択して、「配置してすぐに文書に署名を適用」のチェックを外して変更します。

電子署名と文書にタイムスタンプを追加

タイムスタンプは署名した文書の日付と時刻を明示するために使用されます。公平な第三 者機関により提供されるタイムスタンプを使用することで、PDF 文書がいつから存在し、 その内容が現在まで変更されていないことを証明できます。 Foxit J-Reader を使用する ことで、電子署名や文書にタイムスタンプを追加してより信頼性の高い文書の運用ができ ます。

電子署名にタイムスタンプを追加する

電子署名にタイムスタンプを追加するには、使用する前に既定のタイムスタンプサーバー を設定する必要があります。既定のタイムスタンプサーバーを設定して、信頼済み証明書 として登録されていれば、文書に電子署名を実行したときにタイムスタンプが埋め込まれ、 署名のプロパティにタイムスタンプサーバーの時刻と日付が表示されます。既定のタイム スタンプサーバーの設定を完了していない場合は、署名のプロパティには、コンピュータ ーの日時が表示されます。以下の手順でタイムスタンプの追加を確認できます

- 1. ファイル > 環境設定 > タイムスタンプサーバー を選択し、既定のタイムスタンプ サーバーを設定します。
- 2. 文書に署名します。参照: PDF に署名する
- セキュリティの警告が表示され、タイムスタンプサーバーへの接続の許可を確認する メッセージが表示されますので、許可してください。
- 電子署名にタイムスタンプが埋め込まれます。署名を検証したとき、署名のプロパティに署名したときのタイムスタンプサーバーの日時を表示するには、タイムスタンプサーバーの証明書を信頼済み証明書に追加する必要があります。参照: 信頼済み証明書

ノート:初期状態で、システムに利用可能なタイムスタンプサーバーが一つしかない場合は、そのサーバーが自動的に既定のタイムスタンプサーバーとして設定されます。

文書にタイムスタンプを追加する

- 文書にタイムスタンプを追加する前に、既定のタイムスタンプサーバーを設定する必要があります。保護 > 保護グループ > タイムスタンプを追加 を選択して、ダイアログボックスで「新規…」をクリックし、新しくタイムスタンプサーバーを追加してください。サーバー名を指定し、必要な入力を完了したら「OK」をクリックします。
- 2. 追加されたサーバーを選択して「既定に設定」をクリックし、既定のタイムスタンプ 109

サーバーを設定します。「次へ」をクリックして続行します。

- (ヒント: ファイル > 環境設定 > タイムスタンプサーバー では、既定のタイムスタンプサーバーの設定/設定の解除の他にも、新しいタイムスタンプサーバーの追加や 編集、削除が可能です。設定中の既定のタイムスタンプサーバーを選択してクリック すると、既定の設定を解除することができます。)
- 4. 署名した文書のファイル名とほ保存先を指名し、「保存」をクリックします。

電子署名の検証

電子署名の有効性を確認する

文書を開いたときに PDF ファイル内のすべての電子署名を検証するよう設定することが できます。設定するには、ファイル > 環境設定 > 電子署名 と選択して、文書を開いた ときに署名を検証オプションにチェックしてください。署名をクリックしたときに、左上 に署名の状態を示すアイコンのあるメッセージボックスが表示されます。また電子署名パ ネルに署名の状態が表示されます。

- クエスチョンマークのアイコン^ジは、署名が検証されていないことを示します。
- チェックマークのアイコン は、署名が有効であることを示します。
- アイコン^ジは、署名が無効であることを示します。文書は署名が適用された後に 改ざんされているか、または破損しています。
- 注意マークのアイコン 4 は、署名は有効ですが、署名が追加された後に文書に変更があったことを示します。
- アイコン は、信頼済み証明書のリストに署名者の証明書が含まれていないため、
 署名の有効性が不明であることを示します。

署名を検証する

- 1. 署名された PDF を開き、次のいずれかを実行します。:
- 保護 > 保護グループ > 検証 と選択します。
- 署名を右クリックし、コンテキストメニューから「署名を検証」を選択します。
- ツールバーより「手のひら」ツールを選択し、署名をクリックします。
- 2. 署名の有効性を示す、**署名の検証ステータス**ダイアログが表示され、、メッセージが 表示されます。署名フィールドには署名の状態を示すアイコンが表示されます

ヒント:

- 環境設定で、署名の検証について設定することができます。ファイル > 環境設定 > 電子署名 を選択してください。
- 2. 「**文書を開いたときに署名を検証」**にチェックすると、文書を開いたときに PDF 内の署名の検証を実行します。

署名のプロパティを表示する

署名のプロパティダイアログは、署名者、署名の理由、署名した日付時刻、署名した場所、 正当性の概要そして証明書の詳細情報など、電子署名に関する情報を提供します。

- 1. 手のひらツールを選択します。
- 署名フィールド、または電子署名パネルで署名を右クリックして、メニューより「署 名のプロパティを表示」を選択します。
- 3. 署名のプロパティダイアログでは、以下のような情報を得ることができます:
 - 署名者 文書の署名者を表示します。
 - 理由 署名を作成した理由を表示します。
 - 日時 文書に署名した日付時刻を表示します。
 - 場所 署名した場所を表示します。
 - 正当性の概要 署名後の文書の変更状況等の情報を表示します。
 - 証明書を表示 使用された証明書の詳細、証明書のパスなどを表示します。
 - 信頼済み証明書に追加 電子証明書を信頼済み証明書のリストに追加します。

理由: この文書の作成者		//言語溶고証明書/::etm/∆)
		国利用の1000日に2010(A)
日時: 2016/04/02 05:43:51 pm +09'	場所:	
正当性の概要		
この署名が適用されてから文書は変更されていま	せん。	
現在のユーザーによって署名されています。		
署名の日時は署名者のコンピューターの時計に基	いています。	
署名は、署名された時刻に検証されました: 2016/04/02 05:43:51 pm +09'00'		
署名者の連絡先情報: 利用できません		

署名のプロパティダイアログボックス

ノート:署名のステータスが不明の場合は、「証明書を表示」ボタンをクリックして証明書の詳細を表示してください。次に、証明書が信頼された発行元のリストにあるかどうか確認してください。もし信頼された発行元のリストに無い場合「証明書のインストール」をクリックして、Windowsの証明書ストアに証明書をインストールしてください。ユーザー自身で作成したデジタル ID を使用している場合は、証明書の詳細と、その証明書が有効なものであるかどうか確認してください。証明書が有効なものでない場合は、署名者に有効な証明書をお求めください。

信頼済み証明書

電子証明書 (デジタル ID) 同様、信頼するタイムスタンプサーバーの証明書も**信頼済み証** 明書に追加できます。

- 信頼済み証明書に電子証明書を追加するには、電子署名を右クリックして、署名のプロパティを表示を選択し、署名のプロパティダイアログボックスの「信頼済み証明書に追加」をクリックします。または、保護タブにある信頼済み証明書を選択して「追加」をクリックし、証明書を読み込みます。
- ・ 信頼済み証明書にタイムスタンプサーバーの証明書を追加するには、署名のプロパティ ダイアログボックスの左下のある「タイムスタンプのプロパティ」をクリックしてくださ い。タイムスタンプのプロパティダイアログボックスが表示されますので、「信頼済み証 明書に追加」をクリックして追加できます。 文書にタイムスタンプが埋め込まれている 場合は、電子署名のナビゲーションパネルに表示されているタイムスタンプの署名を右ク リックしてメニューから署名のプロパティを表示 を選択すると、署名のプロパティダイ アログボックスが表示されますので「信頼済み証明書に追加」をクリックして追加できま す。

Windows 証明書ストアを使用して信頼された証明書を管理する

Windows の証明書ストアは、電子署名を検証する際に信頼された証明書を管理することができます。この機能を使用する場合は、以下の操作を行います:

- 1. 署名された PDF 文書を開き、電子署名をクリックするか、電子署名を右クリックして、メニューより「**署名を検証」**を選択します。
- 2. 署名の有効性を表示した、証明書の検証ステータスのメッセージボックスが開きます。
- 電子署名の有効性が不明の場合、「署名のプロパティ」ボタンをクリックし、証明書のプロパティダイアログで「証明書を表示」ボタンをクリックして、証明書が信頼できるものであれば、「証明書のインストール」をクリックします。
- 4. 証明書がインポートされます。
- 5. もう一度電子署名をクリックし、電子署名が有効なものであるという内容のメッセージが表示されていることを確認します。
- 証明書が信頼できないものであれば、Windows の証明書ストアからその証明書を削除することができます。Windows 証明書ストアは、保護 > 保護グループ > デジタ

ルID 💄 と選択して開くことができます。

PDF ファイルへのスタンプ

Foxit J-Reader のスタンプツールは、PDF 文書にスタンプや電子透かしを追加するツー

ルです。Foxit J-Reader はさまざまな形式のイメージ(JPEG, GIF, BMP, WMF)やPDF ファイルによるスタンプをサポートしています。また、システム名、日付、時刻などの情 報を取り込んだり、既存のダイナミックスタンプをインポートして、新たにダイナミック スタンプを作成したりすることができます。PDF へのスタンプは、レビューアーに文書 の状態やレビューの観点等に関する助言を伝える場合などに、非常に有効な機能です。



PDF へのスタンプ

PDF にスタンプを追加する場合、あらかじめ作成しているスタンプのリストから選択す ることもできますし、新しくスタンプを作成して挿入することもできます。インポートし たスタンプと作成したスタンプはすべて、スタンプツールのメニューとスタンプパレット に一覧表示されます。スタンプを挿入する際には以下の操作を行ってください:

- 1. 注釈 > スタンプ を選択します。
- 2. スタンプパレットよりスタンプを選択します。
- カーソルが選択したスタンプのプレビューに変化しますので、ページ上の配置場所を 指定します。
- 複数ページにスタンプを適用するには、配置したスタンプを右クリックして「複数ペ ージに配置」を選択します。ダイアログでページ範囲を指定して「OK」をクリック して適用します。

ノート:インポート、またはカスタマイズしたスタンプはすべて「スタンプ」メニューに 表示されますので、メニューから直接選択することもできます。

スタンプの作成

カスタムスタンプとダイナミックスタンプを作成することができます。

カスタムスタンプの作成

- 1. 注釈 > スタンプ > 作成 🕓 > カスタムスタンプの作成 を選択します。
- 新しいカテゴリ名を入力する、またはドロップダウンメニューよりカテゴリを選択し、 スタンプ名を入力して「OK」をクリックします。

ノート:スタンプにイメージファイルを選択した場合、カスタムスタンプを作成ダイアロ グ上のスライドバーをドラッグして不透明度を調整できます。

カスタムスタンプの作成	ファイル: カテゴリ(C): 名称(N): 不透明度(O):	C:¥User <新しいカ 新しいスタ 100 %	s¥test¥Desktop テニリ名を入力> ンプ	× 参照(B)) 、
	小这明度(0):	100 %	ОК	+r>zu

カスタムスタンプを作成ダイアログ

カスタムダイナミックスタンプの作成

カスタムダイナミックスタンプには、テキスト、作成者、日付や時刻を入れることができ ます。以下の手順で作成してください:

- 注釈 > スタンプ > 作成 [▶] > カスタムダイナミックスタンプの作成、と操作します。
- カスタムダイナミックスタンプを作成ダイアログで、左側のリストよりテンプレートを選択するか、またはイメージファイルや PDF ファイルを使用して新しくテンプレートを作成します。次に、ドロップダウンリストでカテゴリを選択するか、新しいカテゴリ名を入力し、スタンプ名を入力します。

- 3. フォントと文字色を指定します。
- 「スタンプテキスト」にテキストを入力せず、<作成者名>、<日付>、<作成者名と日
 時> 等のカテゴリを選択した場合は、「追加」ボタンをクリックした時に、システム
 から自動的に現在のユーザー、日付、時刻を取得して表示されます。
- 5. ダイアログの右上にプレビューが表示されますので、必要に応じて簡単に変更する事ができます。
- 6. **「OK」**をクリックします。

カスタムダイナミックスタンプの作成 スタンプテンプレート(S): (矢印スタンプ(音) 矢印スタンプ(部) 矢印スタンプ(部) 矢印スタンプ(深緑) 矢印スタンプ(梁) 円形スタンプ(零) 10し形スタンプ(春) 10し形スタンプ(緑) 楕円形スタンプ(緑) 楕円形スタンプ(梁)	プレビュー: カテゴリ(G): <u>新しいカテゴリ名を入力></u> 名称(N): 新しいスタンプ
長方形スタンプ (青) 長方形スタンプ (紺) 四角形スタンプ (緑) 四角形スタンプ (緑) ▼	スタンプテキスト(S): <挿入するテキストを入力> ・ フォントサイズ(O): 自動 ・ 色(O):
スタンプテンプレートの作成(C)	追加(A) 削除
	ОК + руси

カスタムダイナミックを作成ダイアログ

- クリップボードの画像をスタンプとして作成
- クリップボードに保存した画像をスタンプとして作成するには、以下を実行します:
- 注釈 > スタンプ > 作成 > クリップボード画像をスタンプとして貼り付け を選択 します。

スタンプの管理

スタンプの管理は以下を実行してください:

- 注釈 > スタンプ > 作成 > スタンプの管理 を選択して、カスタムスタンプの管 理ダイアログを開き、操作するスタンプを選択します。
- 「作成」をクリックして、作成したいスタンプを選択します。その後の操作は、<u>カ</u> スタムスタンプの作成</u>を参照してください。
- 「編集」をクリックして、カテゴリ、スタンプ名、イメージの置き換えなどを実行します。操作は <u>カスタムダイナミックスタンプの作成</u>を参照してください。
- 「**削除」**をクリックしてスタンプを削除します。

カスタムスタンプとカテゴリ:	
New	
footprint	
dynamic_footprint	
Sample	
Sample01	
Sample02	
	····
作成(C) 編集(E) 削除	(D)

カスタムスタンプの管理ダイアログ

ノート:カスタムスタンプののカテゴリを削除すると、その配下のスタンプもすべて削除されます。

スタンプの切り取り、コピー、貼り付け

スタンプの切り取り、コピー、貼り付けは、以下の操作を実行してください:

- 対象のスタンプを選択します。
- スタンプを右クリック > 切り取り、またはコピーを選択します。
- スタンプを貼り付ける位置で右クリックし、貼り付けを実行します。

スタンプを元に戻す/やり直し

スタンプの操作を元に戻す、またはやり直すには、クイックアクセスツールバーにて、元 に戻す ショナにはやり直し のボタンをクリックします。

スタンプのサイズ変更と移動

- 手のひらツール ^認、または注釈選択ツール ^謎を選択します。
- サイズ変更を行う場合、対象のスタンプを選択し、周囲に表示される赤いハンドルを ドラッグして、好みのサイズになるまで移動します。
- スタンプを移動する場合、対象のスタンプを選択すると周囲に赤い線が表示されるので、任意の場所にドラッグします。
- スタンプにポップアップノートを追加する場合、対象のスタンプをダブルクリックするか、または対象のスタンプを右クリックし、ポップアップメニューの「ポップアップノートを開く」を選択します。

スタンプの回転

- 手のひらツール ^殻 または注釈選択ツール ^玁 を選択します。
- 対象のスタンプを選択すると、スタンプの上にハンドルが表示されますので、ハンド ルをドラッグして任意の角度にスタンプを回転します。

スタンプの削除

以下のいずれかを実行します:

 ∇

- 手のひらツール⁵⁸、または注釈選択ツール³⁸を選択し、Delete キーを押下します。
- 手のひらツール¹⁰/¹⁰、または注釈選択ツール³⁰/³⁰を選択し、対象のスタンプを右クリックして、メニューより「削除」を選択します。

お気に入りのスタンプの設定

- 注釈 > スタンプ > 作成 > お気に入りスタンプの設定、と操作します。
- すべてのスタンプのリストから対象のスタンプを選択し、「お気に入りに追加」ボタンをクリックして、お気に入りスタンプのリストに追加します。
- お気に入りスタンプのリストからスタンプを削除するには、対象のスタンプを選択して「お気に入りから削除」をクリックします。

べてのスタンプ		お気に入りスタンプ
🗉 New 🔺		□ お気に入り
footprint		footprint
dynamic_footprint 🗏		
Sample	J	
Sample01	+>(=) われる第月時(の)	
Sample02	のスルーヘリから削除(K)	
ダイナミックスタンプ		
スタンプ 01		
スタンプ 02		
スタンプ 03		
7.57.70.4		

お気に入りスタンプの設定

セキュリティの管理

保護モード

保護モードを使用することで、ユーザーが了承していないアクションや、データ送信を制 御します。悪意のあるコンテンツやウイルスからの攻撃を避けるのに有効な機能です。

保護モードの有効化

保護モードを有効にするには、以下の操作を行います:

- ファイル > 環境設定 > トラストマネージャー を選択し、「保護モードを有効にする」をチェックします。
- **「OK」**をクリックします。

保護モードでのセキュリティ制限の除外

保護モードが有効であれば、信頼されていない場所やファイルからのアクションを阻止し て、警告メッセージを表示します。しかしながら、現在のセキュリティの設定を維持した 状態で、特定のアクションの実行が必要な場合があるかもしれません。このような場合に、 信頼するファイル、フォルダー、ホストを選択してセキュリティの制限から除外すること ができます。このセキュリティの機能を使用することで、安全性を確保した状態でよりフ レキシブルに操作を行うことができます。

信頼するファイル、フォルダー、ホストを指定するには、以下の手順を実行します:

- ファイル > 環境設定 > セキュリティ と選択します。
- 「ファイルを追加」をクリックして、信頼するファイルをボックスに追加します。
 Foxit J-Reader は現在、次のファイルをサポートしています: PDF ファイル(.pdf)、フォームデータファイル(.fdf)、XFDF ファイル (.xfdf)、XDP ファイル(.xdp)、PPDF ファイル(.ppdf)
- 「フォルダーパスを追加」をクリックして、複数ファイルの保存されたフォルダーを 信頼する場所として追加します。
- 「ホストを追加」をクリックして、信頼するホストのファイルやアクションに対して 信頼する URL として追加します。また、設定にあたり「安全な接続のみ(https:)」の オプションをチェックすることで、安全が確保された接続からのファイルやアクションのみを設定することもできます。
- (必要な場合)「削除」をクリックして、セキュリティ特権の場所として設定した項目 を削除することができます。
- 「OK」をクリックして設定を適用します。

オンラインホワイトリストの管理

Foxit J-Reader はオンラインフォーム送信などの Web アクセスに対し、信頼できる URL を登録することで、より良いファイルのアクセス管理が可能です。

オンラインホワイトリストを設定するには、以下の手順を実行してください。

ファイル > 環境設定 > トラストマネージャー > 「PDF ファイルからの Web サイトア クセスの管理」にある「設定の変更」をクリックすると、下図に示すサイトアクセスの 管理ダイアログが表示されます:

イトアクセスの管理	X
PDF ファイルは情報の共有または取得のため	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
◉ カスタム設定(M)	
◎ PDF ファイルが Web サイトにアクセスする	ことをすべて許可(W)
◎ PDF ファイルが Web サイトにアクセスする	ことをすべてブロック(K)
ー許可またはブロックする Web サイトを指定 -	
ホスト名 (www.example.com):	
	計미(A) ノロック(B)
Web サイト	
削除(D)	
ታብኑ名	アクセス
トのリフトにないサイトに対する明定の動作	
 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
 アクヤスを許可(S) 	
 アクヤスをブロック(E) 	
0,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	

- PDF ファイルが Web サイトにアクセスすることをすべて許可: PDF からの Web サイトへのアクセスをすべて許可します。
- PDF ファイルが Web サイトにアクセスすることをすべてブロック: PDF からの Web サイトへのアクセスをすべてブロックします。
- カスタム設定: 信頼する URL への、PDF ファイルのアクセスを有効にするカスタマ イズ設定が可能です。
 - > 「カスタム設定」を選択します。
 - フィールドにホスト名を入力します。

「許可」をクリックして、その後に「OK」をクリックします。

信頼する URL を Web サイトのリストに追加することができます。以前に信頼する Web サイトとして追加した URL を削除する場合は、「削除」をクリックしてください。Web サイトリストにない URL に対しては、以下のオプションをチェックしてアクセス時の既 定の動作を設定することができます。

- 常に確認: 信頼する Web サイトとしてリストに登録されていない URL にアクセスしようとした場合、常に確認のメッセージを表示します。デフォルトでは、これが選択されています。
- アクセスを許可:リストにないすべてのWebサイトへのアクセスを有効にします。
- アクセスをブロック: リストにないすべての Web サイトへのアクセスをブロックします。

スクリプト実行のコントロール

Foxit J-Reader は、PDF ファイルの利便性と安全性を同時に確保しつつ、スクリプトを 適切に実行することができます。ユーザは 4 レベルの選択が可能です。すなわち、 JavaScript を無効にする、安全な PDF の JavaScript を有効にする、安全かつ DRM で検 証した PDF の JavaScript を有効にする、すべての JavaScript を有効にする、の 4 つです。

適切にスクリプトを実行するには、以下の手順を実行します。

ファイル > 環境設定 > トラストマネージャー、を選択して、必要に応じた設定をおこ なってください:

- すべての JavaScript を有効にする:「JavaScript アクションを有効にする」をチェックして「保護モードを有効にする」のチェックを外します。
- すべての JavaScript を無効にする:「JavaScript アクションを有効にする」のチェックを外して「保護モードを有効にする」をチェックします。
- 安全な PDF の JavaScript を有効にする:「JavaScript アクションを有効にする」と
 「保護モードを有効にする」をチェックします。
- DRM で検証した PDF の JavaScript を有効にする:
 - 「JavaScript アクションを有効にする」と「信頼済み文書に対しては保護モー ドを無効にする」をチェックします。
 - 「詳細設定」をクリックして「RMS 暗号化」と「有効な電子署名」の両方をチェックします。

AD RMS 保護 (エンタープライズ用 MSI 形式)

Foxit J-Reader に組み込まれた RMS Plugin は、クライアントシステム上で Microsoft Windows Server® AD RMSのアクセス制御を拡張適用します。EXE 形式の Foxit J-Reader

では、AD RMS Protector により保護された PDF ファイルを、評価利用として開くことの み可能ですが、エンタープライズ向けの MSI 形式ではさらに高度な機能をサポートして おり、RMS 保護された文書を開くだけでなく、RMS Protector を使用した文書の保護や、 RMS 保護された文書の復号も可能です。

EXE 形式の Foxit J-Reader の場合、RMS 保護された文書を開いた際に文書内に評価利用 であることを示す透かしを表示します (下図参照)。



MSI 形式の Foxit J-Reader は、RMS 機能をアプリケーションで利用するためのライセン スの購入が必要です。30 日間の試用期間が設けられていますので、継続して利用する場 合は、RMS 利用のためのライセンスをご購入ください。MSI 形式の Foxit J-Reader であ れば、評価利用の透かしが表示されることなく RMS 保護された文書を表示することがで きます。

Microsoft Rights Management Service は、Microsoft の AD RMS 対応アプリケーションと 連携して利用するテクノロジーで、デジタル情報を不正な使用から保護します。ユーザー は特定の情報に対し、ファイルを開いて閲覧、変更、再配布することを制限することがで きます。Foxit Reader RMS protector は、PDF 文書を保護し、ポリシーテンプレートを管 理するために、Microsoft Windows Server とのシームレスに連携します。MSI 形式の Foxit J-Reader を使用すれば、閲覧を許可されていれば、RMS で保護されている文書を開くこ とができます。この機能により情報セキュリティを向上してコンプライアンス要求を満た し、ビジネスのプロセスを改善して時間とコストの節約を図ることができます。さらにユ ーザーのニーズに沿うよう、Foxit J-Reader (MSI) は Microsoft® AD RMS 2.1 に準拠して います。

Foxit J-Reader (MSI) をインストールすることで、すべての Microsoft AD RMS サービス 121 を PDF ファイルに適用し、利用できます。

ノート: Foxit J-Reader (MSI) のAD RMS機能で暗号化されたPDFを他のPDFプログラム で開いた場合、ラッパーページ (実際はPDFページ) が表示され、該当のPDFを開くため にFoxit J-Readerのダウンロードを促すメッセージが表示されます。ラッパーページの内 容を編集したい場合は、更新内容を「wrapperPDF.pdf」という名前のPDFファイルとし て作成し、Foxit J-Readerのインストールフォルダーに保存してください。

Windows Azure AD Right Management (AAD RMS)の使用

Office365 で AADRM を利用するには、事前に管理者によって AADRM をアクティブにし ておく必要があります。また、クライアントに Active Directory Rights Management Service Client と Microsoft Online Services サインインアシスタントのインストールが必 要です。

- 1. Windows Azure AD Rights Management をアクティブにする:
 - Windows PowerShell のための Windows Azure AD Rights Management administration module (Windows Azure AD Rights Management Administration.exe) を こちら よりダウンロードします。
 - ファイルをダウンロードして、保存したローカルのフォルダーを開き、
 WindowsAzureADRightsManagementAdministration.exe をダブルクリックして、Rights Management administration module をインストールします。
 - Windows PowerShell を開きます。
 - 以下のコマンドを入力します:
 - ✓ Import-Module AADRM
 - ✓ Connect-AadrmService -Verbose
 - 入力画面で Office 365 の資格情報を入力します。
 - 例: <u>"user@company.onmicrosoft.com</u>"
 - 以下のコマンドを入力します:
 - ✓ Enable-Aadrm
 - ✓ Disconnect-AadrmService
- 2. Active Directory Rights Management Service Client 2.1 をインストール:

<u>こちら</u>からセットアップを入手して、インストールしてください。

RMS 設定

PDF ファイルを暗号化する前に、RMS 設定を指定できます。RMS 設定を指定するには 以下の手順を実行してください: **ファイル** > 環境設定 > RMS 設定 を選択します。初期設定では、以下の二つの項目はチェックされていません。

環境設定	
環境設定 PDF 作成 ▲ PDF 作成 ▲ PDF サイン RMS 設定 アップデーター カラー設定 スピーチ スペルチェック セキュリティ タブレット トラストマネージャー ファイルの関連付け フォーム フルスクリーンモード ページ表示 ューザー情報 レビュー	RMS 設定 「ファイル名((保護)」の名称でファイルを暗号化(S) メタデータを暗号化(E)
 一般 印刷 言語環境 	
注釈 •	OK キャンセル

- 「ファイル名(保護).pdf」の名称でファイルを暗号化: RMS 機能により暗号化した
 PDF ファイルを「ファイル名(保護).pdf」の名称で自動的に保存します。
- メタデータを暗号化: チェックすると、PDF 文書の暗号化の際にメタデータも暗号化します。

RMS 暗号化

1. 保護 > AD RMS 保護 > アクセス制限 を選択します。

2. 任意のテンプレートを選択します。複数のサーバー環境で使用している場合は、まず サーバー名にカーソルを移動して、サブメニューのテンプレートを表示してください。「テ ンプレートを更新」をクリックすることで、サーバーから最新の公式テンプレートを取得 します。また、カスタムテンプレートの作成も可能です。詳細は、<u>テンプレートの作成</u>を 参照してください。



3. テンプレートを使用しない場合は、アクセス制限をクリックしてください。

- RMS サーバーの初回アクセス時に、ログインのためのアカウント名とパスワードの 入力が必要です。
- ^{20 閲覧} アイコン をクリックして、閲覧を許可するユーザーを追加します。全員に

ファイルの閲覧を許可するには、右側のアイコン を選択します。

(電子メールクライアントとして Outlook がインストールされている場合は、アイコン ② 閲覧 をクリックすると、Outlookの連絡先リストが表示されますので、直接メー ルアドレスを選択できます。また別の方法として、アドレスの数文字を入力してアイ コン をクリックすると、連絡先リストに応じてオートコンプリート機能を使用

することもできます。その後、その他のオプションの設定に進むことができます。)

アクセス許可
図 この文書へのアクセスを制限する(R)
「閲覧」および「変更」のポックスにユーザーの電子メールアドレスを入力してください (例: 'someone@example.com')。名称はセミコロン(;) で区切ります。アドレス帳から名称 を選択する場合は、「閲覧」または「変更」ポタンをクリックしてください。
2 閲覧
閲覧の権限を持つユーザーは、この文書を閲覧することはできます が、その内容を変更、印刷、またはコピーすることはできません。
🧕 変更
変更の権限を持つユーザーは、この文書の閲覧、編集、コンテンツ のコピー、変更の保存はできますが、その内容を印刷することはでき ません。
その他のオプション(0)
OK キャンセル

 オブジェクトのタイプ (ユーザーまたはグループ) とサーバーを選択します。そして、 アクセスを許可するユーザーのメールアドレスをボックスに入力するか、または「詳 細設定」をクリックして、サーバーに登録されたアドレスリストから直接アドレスを 選択することができます。

ユーザー または グループ の選択	<u> ২</u>
オブジェクトの種類の選択(S): ユーザー	「オブジェクトの種類(O)…
場所の指定(F): test.foxit.co.jp	場所(L)
選択するオブジェクト名を入力してください (例)(E):	名前の確認(C)
詳細韻文定(A)	OK キャンセル

ユーザー または グループ の選択	? ×
オブジェクトの種類の違訳(S): □=ザ= 早新のまま(E): (オブ:	ジェクトの種業(O)
test.corp.co.jp	場所(L)
共通クエリ 名前(A): 次の文字で始まる ▼ 説明(D): 次の文字で始まる ▼ 無効になっているアカウント(B) 無期限のパスワード(X) 前回ログオン時からの日数(D): ▼	万以C) 検索(N) 中止(T)
検索結果(U):	**>セル

- 「OK」をクリックして、ユーザーまたはグループのダイアログを終了します。
- アクセス許可ダイアログの「その他のオプション」をクリックすると、現在選択中の ユーザーがボックス内にリスト表示されます。必要に応じてユーザーの追加と削除が できます。

セス許可			X
✓ この文書へのアクセスを制限する(R) ✓ ✓)		
この文書に対して権限を持つユーザー(U):		
名称	アクセスレベル		追加(A)
foxit@foxit.co.jp	フルコントロール		削除(V)
ユーザーの追加権限: 同この文書の有効期限(N):	2016/03/16	× 12:	09
── □ンテンツを印刷する(P)			v
□ 閲覧の権限を持つユーザーが	、コンテンツをコピーすること	を許可する(C)	
□ 閲覧の権限を持つユーザーか	、注釈とフォーム入力する	とを許可する	
✓ プログラムを使ってコンテンツに	アクヤスする(0)		
拡張ポリシー	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
追加設定:			
✓ 追加権限の要求先(M):			
mailto:foxit@foxit.co.i	ip		1
□ ユーサーの 権限を 確認 9 るの	に接続を必要と9る(Q)		
✓ 動的透かし(K):			
Watermark Template		選択	
既定値に設定(S) テン	プレートとして保存(T)		
	(ОК	キャンセル

ユーザーへの追加アクセス許可設定:

この文書の有効期限: チェックして、有効期限を設定します。指定の期限を過ぎると 文書を開くことができなくなります。

コンテンツを印刷する:チェックして、ユーザーに PDF ファイルの印刷を許可します。

閲覧の権限を持つユーザーがコンテンツをコピーすることを許可する:閲覧のみ許 可されたユーザーにコンテンツのコピーを許可します。

閲覧の権限を持つユーザーの注釈とフォーム入力を許可する:閲覧のみ許可された ユーザーに、注釈の追加とフォームフィールドの入力をを許可します。

プログラムを使ってコンテンツにアクセスする:文書内での JavaScript の実行を許可 します。

拡張ポリシー:より詳細な PDF 保護と、文書の使用制御を行ないます。文書の作成者 は、以下のポリシーを設定できます。

次のページのみアクセスを許可: アクセスを許可するページ番号を指定します。 次の IP アドレスの範囲でのみ、アクセスを許可: 指定 IP の範囲でのみ、文書のア クセスを許可します。 アクセスの回数: 文書にアクセスできる回数を指定します。 印刷の回数: 文書を印刷できる回数を指定します。

拡張ポリシー		×
一次の IP アドレスの範疇	囲でのみ、 アクセン	えを許可:
	•	• • •
🔲 次のページのみアクセン	スを許可:	
		(例: 1-3, 5, 9-*)
🔲 アクセスの回数:		
🔲 印刷の回数:		
		ок
		UN

ノート: アクセスの回数と印刷回数の指定は、オンプレミス環境で設定可能です。 先に資料「Web Service Configuration」を参照して、Web サービスの設定と SQL の設定を行なってください。そして <u>Foxit Configuration Tool</u> を使用して拡張ポリ シーを有効にしてください。

追加設定:

追加権限の要求先:より多くのアクセス許可をユーザーが管理者に要請する場合に、 設定した宛先を対して、アプリケーションは自動的に電子メールクライアントを起動 して、指定の宛先への送信を支援することができます。同様に URL で設定することも 可能です。

ユーザーの権限を確認するのに接続を必要とする: このオプションをチェックすると、 暗号化されたファイルを開くたびに、ユーザーのライセンスのチェックを行ないます。 **動的透かし**: PDF ファイルに動的透かしを適用します。詳細は、<u>動的透かし</u>を参照し てください。

既定値に設定:設定した追加設定を既定の設定にします。

テンプレートとして保存:設定したセキュリティの設定をテンプレートとして保存し、 次回以降に使用できるようにします。

4. PDF ファイルに対してユーザーが追加のアクセス許可を要請する場合は、以下を実行 します:

- ファイルを開いて、ファイル > プロパティ を選択し、文書のプロパティダイアロ グを開いて、「セキュリティ」を選択します。
- 保護タブの「追加権限の要求…」をクリックします。

🔒 セキュリティ	
🔐 RMS 保護	
設定を変更	
セキュリティポリシー情報	
sampledocument	
この文書を次のユーザーの権限で開いています:	
sample@foxit.co.jp	
PDF 権限	
フルコントロール	許可しない
文書の閲覧	許可
低解像度で印刷	許可しない
高解像度で印刷	許可しない
フォームフィールドの入力	許可
注釈	許可
ページとしおりの編集	許可
文書の変更	許可
アクセシビリティのための内容の抽出	許可
ページの抽出と内容のコピー	許可
JavaScript の実行	許可
ライセンスの有効期限 無制限	
コンテンツの有効期限 無制限	
追加権限の要求先	

ノート: Foxit J-Reader (MSI) は PDF 文書を PPDF 形式に暗号化する Microsoft IRM Protection Version 2 もサポートしています。なお、Microsoft IRM Protection Version 2 の 暗号化ポリシーには、動的透かし、拡張ポリシー、動的撤回は含まれません。

テンプレートの作成、編集

カスタムテンプレートを作成するには、以下の手順を実行します: 1. 保護 > AD RMS 保護 > 設定 > カスタムテンプレート を選択します。

権利ボリシーテンプレートはルールと条件を定義します テンプレートを使用してコンテンツに保護を適用します
デンプレートリスト
テンプルート名 説明
作成(C) 編集(E)
ОК

2. 「**作成」**をクリックして、カスタム権利ポリシーテンプレートの作成ダイアログを開きます。

(オプション) 既存のテンプレートを編集する場合は、「編集」をクリックしてください。
 「追加」をクリックして言語を選択し、テンプレート名と説明の編集を行ないます。
 「OK」をクリックして、テンプレート名と説明がリストに表示されます。

5. 「次へ」をクリックして、アクセス許可を設定します。ユーザー権利の追加で「追加」

をクリックします。

カスタム権利ポリシーテンプレートを作成				
 テンプレート識別情報の追加 ユーザー権利の追加 	権利ポリシーテンプレー でサポートされる言語ご ←テンプレート識別情報	トは、異なる言語を使うクライアン とに、このテンプレートの識別情報	ットをサポートできます。 クライアント 服を構成してください。	コンピューター
3. 有効期限ポリシーの指定	言語	名称	説明	
4. 拡張ポリシーの推定	<u>追加(D)</u>	[編集(E)] 削除	(R) (家) (R) (N) (N) (N) (N) (N) (N) (N)	キャンセル

6. ユーザーまたはグループの追加のダイアログが表示されます。ユーザーまたはグルー プのメールアドレスを選択します。「参照」をクリックして、許可を設定するユーザーを 簡単に追加することができます。全員 を選択するとすべてのユーザーが暗号化した PDF ファイルを操作することができます。複数のメールアドレスを入力することも可能です。

ユーザーまたはグ	ループの追加
このテンプレートを他 ループの電子メール 定するには、「全貝	も用して保護するコンテンツの権限を指定する場合は、ユーザーまたはグ ルアドレスをセミコロンで区切って入力してください。すべてのメンバーを指 」を違択してください。
◎ ユーザーまたは	ヴループのメールアドレス(T)
	参照(B)
◎ 全貝(A)	
	ОК + + > セル

7. 指定したユーザーに許可するアクセス権をチェックします。すべてのユーザーに許可の設定を行なうことも、ユーザーを指定して個別に設定を行なうことも可能です。
 8. 追加権限の要求先:より多くのアクセス許可をユーザーが管理者に要請する場合に、設定した宛先を対して、アプリケーションは自動的に電子メールクライアントを起動して、指定の宛先への送信を支援することができます。同様にURLで設定することも可能です。
 9. 「次へ」をクリックして有効期限ポリシーを指定します。

有効期限ポリシーの指定	
 テンプレート識別情報の追加 ユーザー権利の追加 有効期限ポリシーの指定 	このテンプレートに関連するコンテンツとライセンスの有効期限を指定してください。このテンプレートで保護され たコンテンツのアクセスを継続するには、期限切れコンテンツを再保護し、ライセンスを更新する必要がありま す。ライセンスの更新は通常、ライセンス所有者の操作なしに行われます。
4. 拡張ポリシーの指定	

コンテンツの有効期限

期限を設定しない: PDF コンテンツの閲覧に期限を設けません。 日付を指定する: PDF コンテンツの有効期限日を指定できます。 日数を指定する: PDF コンテンツの有効期限を日数で指定できます。

ライセンスの有効期限

サーバーを使用して指定した日数の後、ユーザーに再認証を必要とするように設定できま す。暗号化された PDF を開くために、ユーザーは入力された日数の後、新しいライセン スの再発行を受ける必要があります。

10. 「次へ」をクリックして、動的透かしと拡張ポリシーを設定します。<u>動的透かしの管</u> 理 および <u>拡張ポリシー</u> を参照してください。

カスタム権利ポリシーテンプレートを作成	×
拡張ポリシーの指定	
1. テンプレート識別情報の追加	このテンプレートを使用してコンテンツ保護の追加条件を指定します。
2. ユーザー権利の追加	☑ 動的透かし(K): Watermark Template
3. 有効期限ポリシーの指定	□ 次の IP アドレスの範囲でのみアクセスを許可(O):
4. 拡張ポリシーの指定	
	○ 次のページのみアクセスを許可(A): (例: 1-3, 5, 9-*)
	< 戻る(B) 売了 キャンセル

11. 「完了」をクリックしてテンプレートの作成を完了します。テンプレートは、保護 > AD RMS 保護 > アクセス制限 の配下に表示されます。

動的透かしの管理

1. プロファイルの作成

透かしを追加する前に、まずプロファイルを作成する必要があります。 アプリケーション は、プロファイルのすべての透かしを PDF に適用します。

ノート:透かしとして指定できるのはプロファイルであり、特定の透かしを指定すること はできません。同じプロファイルとして作成した透かしが PDF に追加されます。

- 保護 > AD RMS 保護 > 設定 > 動的透かし を選択してダイアログを開きます。
- 「新規プロファイル」をクリックしてプロファイルを作成し、名称を設定します。



2. 透かしの追加

新しい透かしを追加するには、以下を実行します:

- 動的透かしの管理ダイアログを開き、透かしを作成するプロファイルを選択します。
 「追加」をクリックして、プロファイルに透かしを追加します。
- 透かしの名称を入力します。
- テキストボックスに透かしとして表示するテキストを入力します。フォント、フォントサイズ、色、下線の設定、整列を設定できます。
 ノート:透かしとして設定できるのはテキストのみです。
- ダイナミックテキストを選択します。ファイルを PDF リーダーで開いた場合に、動的に現在の文書の情報を表示します。同時に複数のテキストを表示できます。

コンテンツ ID: 現在の文書のコンテンツ ID を表示します。 文書のタイトル: 現在の文書のタイトルを表示します。 作成者:現在の文書の作成者を表示します。
現在のユーザー:文書を閲覧している現在のユーザーを表示します。
日付:文書を開いたときのシステム時計の日付の値を表示します。
月:文書を開いたときのシステム時計の月の値を表示します。
年:文書を開いたときのシステム時計の年の値を表示します。
時刻:文書を開いたときのシステム時計の時刻の値を表示します。
時刻:文書を開いたときのシステム時計の時刻の値を表示します。
分:文書を開いたときのシステム時計の時の値を表示します。
秒:文書を開いたときのシステム時計の分の値を表示します。

- 回転角度、不透明度を指定して、表示方法を設定します。ページに合わせて相対倍率
 で、表示倍率を指定するオプションを選択することもできます。
- 上下、左右からの距離を指定して、透かしの表示位置を調整します。
- 透かしを表示するページ範囲を選択します。サブセットのリストから、表示するページのオプションを選択できます。
- 右側のペインで透かしのプレビューを確認できます。
- 「OK」をクリックして完了します。

y-z	ブルビュー
テキスト: HIGHLY CONFIDENTIAL ↑ フォント(N): System ▼ サイズ(I): 48 ▼	
ダイナミックテキスト:動的変数を選択 🗸 🄳 🔳 🗐	
表示方法	
回転:	The second
不透明度(Y): 20% 🗼	and the second sec
□ ページに合わせた相対倍率(L) 50%	(D)
配置	- Alter
上下からの距離(V): 0.00 🚽 パーセント 🔹 基点(R) 中央 💌	100
左右からの距離(Z): 0.00 🖕 パーセント 🔻 基点(M) 中央 🔻	GHD
ページ範囲オプション	H
すべてのページ(A)	
○ ページ(P):	
○開始ページ(F): 1 終了(T): 1 ☆	
サブヤット(S): 奇数ページのみ	

3. 透かしの編集、削除

透かしの編集

- 動的透かしの管理ダイアログを開き、編集する透かしを選択します。
- 「編集」をクリックして、動的透かしの編集ダイアログを開きます。
- 透かしを編集します。詳細は 透かしの追加 を参照してください。
- 「OK」をクリックして、操作を完了します。

透かしの削除

- 動的透かしの管理ダイアログを開き、削除する透かしを選択します。
- 「削除」をクリックして選択した透かしを削除します。

4. 透かしの読み込み、書き出し

透かしの読み込み

- 動的透かしの管理ダイアログを開き、「読み込み」をクリックします。
- .xml 形式の透かしファイルを選択します。
- 「開く」をクリックします。

透かしの書き出し

- 動的透かしの管理ダイアログを開き、書き出しする透かしを選択します。
- 「書き出し」をクリックして、ファイル形式を選択し、保存場所を選択します。
- .xml 形式またはエンコードされたファイル形式で透かしファイルが書き出しされます。このファイルを AD RMS ポリシーテンプレートに統合し、Foxit J-Reader (MSI) を使用して PDF ファイルに適用することができます。

ノート:

1. 一般のポリシーテンプレートに透かしの設定を統合する場合は、.xml ファイルと して書き出しを実行し、Foxit J-Reader (MSI) を使用して直接テンプレートに追加し てください。

2. 公式のポリシーテンプレートに透かしの設定を統合する場合は、エンコードされ た形式 (.txt 形式) でファイルを書き出しして、AD RMS Scripting API Architecture を 使用してテンプレートに統合します。その後、Foxit J-Reader (MSI) を使用してテン プレートを読み込み、PDF ファイルに適用することができます。(<u>こちら</u>からサン プルを参照できます。エンコードされた形式で、「appData.Name」 および 「appData.Value」の値を使用します。)

Foxit Configuration Tool

Foxit Reader RMS protector は、RMS サーバーのセキュリティ設定を手軽に操作できる 管理者用の設定ツールを提供しています。管理者は直接各ツールの有効/ 無効を設定する ことができ、公式テンプレートの拡張ポリシーと動的透かしの直接編集、アクセス権の動 的撤回、監査ログの設定、ネットワークプリンターの設定、ラッパーファイルのカスタマ イズなどが可能です。

PDF ファイル暗号化のための設定ツールを使用するには、以下を実行してください:

- RMS サーバーにログインします。
- 以下より Foxit Configuration Tool を入手してください:

For X86: http://cdn01.foxitsoftware.com/pub/foxit/rms/configtool/8.x/FoxitConfigurationTool_32 .zip For X64: http://cdn01.foxitsoftware.com/pub/foxit/rms/configtool/8.x/FoxitConfigurationTool_64 .zip ファイルを解凍して、Foxit Configuration Tool を実行してください。Foxit Configuration Tool ウィンドウで、複数の異なるツールを使用することができます。



Foxit Configuration Tool ウィンドウ

Template Extended Policy (拡張ポリシー)

管理者は Foxit Configuration Tool を使用して簡単に公式のテンプレートに拡張ポリシーを編集できます。「Template Extended Policy」をクリックして、テンプレートを選択して編集します。参照: 拡張ポリシー

Complete Name	Security Watermark	Access Pages	Access Times	Drint Timor	Access ID	
/iew Only	Watermark Template	1.5.9-*	2	1	192.168.0.1 - 192.	168.200.100
,		-/-/-	_	-	152.100.0.1 152.100.200.100	

ヒント: 左側にあるボタン をクリックして、Foxit Configuration Tool ウィンドウに戻ります。

Dynamic Revocation (公開の取り消し)

この機能により、公開済みの PDF 文書の取り消しを行ないます。一般的な撤回操作として、有効期限を過ぎて無効な期間になった場合は個々のユーザーに対し、それ以降のアクセスを許可しない、またはアクセスを制限します。

ノート: オンプレミス環境で PDF 文書やユーザーを取り消すには、「Web Service Configuration」を参照してください。先に Web サービスと SQL を設定してから、Foxit Configuration Tool ウィンドウにある Revocation ツールを選択して ボタンをク リックし、ツールを有効にしてください。

PDF 文書を撤回するには、「Document Revocation」をクリックします。撤回操作を行 なう PDF 文書を選択します。「Add」ボタンをクリックして、文書を Revocation List に 追加します。または「Browse」をクリックしてローカルドライブから文書を選択し、 Revocation List に追加することもできます。リストから削除するには、Revocation List にある対象の文書を選択して「Remove」をクリックします。

		Foxit Co	nfiguration Tool		
Document R	evocation				
Add the document to t	he Revocation List.			Q Content ID ✓	
Content ID	Template Name	Creator	File Name	Date Time	Add
{10FF536C-A9E1-4	Restricted Access	administrator@frms	What's New in V4.0	07/28/2014 20:00	
{80E0DDF3-1CCE-4	View Once	administrator@frms	FoxitTempPDFFile	07/28/2014 20:03	Browse
{3F312D5D-D8BB-4	View Once	administrator@frms	FoxitTempPDFFile	07/28/2014 22:42	
{5F110D33-A61C-4	View Once	administrator@frms	FoxitTempPDFFile	07/28/2014 22:49	
{CAD94824-13A0-4	Restricted Access	employee01@frms	Untitled	08/06/2014 20:47	Note: You can dick Browse to
{C2157AC5-DB9C-4	Restricted Access	employee01@frms	ms FoxtT EmpPDFFie 07/28/2014 22:42, ms FoxtT EmpPDFFie 07/28/2014 22:49 ms Unttiled 08/07/2014 03:09 ms Landscape Painting 08/07/2014 09:54 ms Unttiled 08/07/2014 09:54 ms Unttiled 08/12/2014 02:19 ms Wrapper4.0_2014 07/29/2014 22:19 ■ 1 / 2 ▶ ▶		
{2A2F4513-6A8F-4	View Only	employee01@frms	Landscape Painting	08/07/2014 09:54	local drive to Revocation
{A9D28713-C40D-4	Restricted Access	employee01@frms	Untitled	08/12/2014 23:19	List.
{C4F6E710-1B03-4	View Only	administrator@frms	Wrapper4.0_2014	07/29/2014 20:08	
Revocation List					
Content ID	Template Name	Creator	File Name	Date Time	Remove
{B8E55001-4411-4	View Once	administrator@frms	test01	07/28/2014 08:17	

ユーザーを指定して撤回するには、「User Revocation」をクリックします。「Add」ボタ ンをクリックして、指定したユーザーを User Revocation List に追加します。リストから 削除するには、リストから対象のユーザーを選択して、「Remove」をクリックします。

Foxit J-Reader
User Manual

User Name	Date Time	
employee03@frms.com	08/12/2014 23:32:58	
	employee03@frms.com	Bemployee03@frms.com 08/12/2014 23:32:58

Extended Policy(拡張ポリシー)

Foxit Configuration Tool では拡張ポリシーを使用して PDF を完全に保護し、文書の操作 を制御することができます。ポリシーを使用して文書の所有者は、オンプレミスの文書に アクセスできる回数や、印刷できる回数をコントロールできます。この 2 つのアクセス 許可の指定を実行する前に、Web Service Configuration を参照して Web サービスと SQL を先に設定してください。それから Foxit Configuration Tool ウィンドウにある **Extended**

Policy ツールを選択し ボタンをクリックしてツールを有効にしてください。



Auditing Logs (監査ログ)

Foxit J-Reader (MSI) は、RMS 保護されたファイルの使用状況に関する情報をトラック することができます。ワークフロー中に誰が文書にアクセスしたのか、どの文書にアクセ

スしたのか、いつアクセスしたのか、どのようにアクセスしてアクションを実行したのか など記録します。

監査ログ機能を使用するには <u>Web Service Configuration</u> を参照して、Web サービスと SQL を最初に設定してください。それから Foxit Configuration Tool ウィンドウの Audit

	Q U	lser v	Ø				Export	
User	Action	File Name	Date Time	IP	Printer Name	Copies	Print Range	^
rms@mobile.d	Closed	mobile.pdf	3/17/2016 10:14:0	10.203.17.122				
rms@mobile.d	Opened	xxxxxx.pdf	3/17/2016 1:45:44	10.203.17.122				
rms@mobile.d	Closed	xxxxxx.pdf	3/17/2016 1:46:32	10.203.17.122				
rms@mobile.d	Opened	xxxxxx.pdf	3/17/2016 2:07:20	10.203.17.122				
rms@mobile.d	Closed	xxxxxx.pdf	3/17/2016 2:07:56	10.203.17.122				
rms@mobile.d	Opened	xxxxxx.pdf	3/17/2016 2:42:12	10.203.17.122				
rms@mobile.d	Changed	xxxxxx.pdf	3/17/2016 2:45:58	10.203.17.122				
rms@mobile.d	Saved	xxxxxx.pdf	3/17/2016 2:46:58	10.203.17.122				
rms@mobile.d	Closed	xxxxxx.pdf	3/17/2016 2:46:58	10.203.17.122				=
rms@mobile.d	Opened	xxxxxx.pdf	3/17/2016 2:47:03	10.203.17.122				
rms@mobile.d	Closed	xxxxxx.pdf	3/17/2016 2:47:21	10.203.17.122				
rms@mobile.d	Opened	xxxxxx.pdf	3/17/2016 2:49:11	10.203.17.122				
rms@mobile.d	Changed	xxxxxx.pdf	3/17/2016 2:50:21	10.203.17.122				
rms@mobile.d	Saved	xxxxxx.pdf	3/17/2016 2:50:26	10.203.17.122				
rms@mobile.d	Closed	xxxxxx.pdf	3/17/2016 2:50:27	10.203.17.122				
rms@mobile.d	Opened	xxxxxx.ppdf	3/17/2016 2:50:41	10.203.17.122				
rms@mobile.d	Closed	xxxxxxxx.ppdf	3/17/2016 2:50:45	10.203.17.122				
rms@mobile.d	Opened	xxxxxxx.ppdf	3/17/2016 2:50:50	10.203.17.122				
rms@mobile.d	Closed	xxxxxx.ppdf	3/17/2016 2:50:55	10.203.17.122				
< designment of the second sec	Opened	e me0 ndf	0/17/0016 0/50/10 III	170 160 0 100				>

Log ツールを選択し、 「「」」 ボタンをクリックしてツールを有効にしてください。

ログをひとつ選択し、**Export** ボタンをクリックして、Foxit Reader (J-Reader) または Foxit PhantomPDF のレジストリについて管理者が設定するための.reg ファイルを生成し ます。管理者はクライアント端末に.reg ファイルを導入できます。

Restrict Local Printing (ローカルの印刷を制限)

特定のネットワークプリンターを指定して印刷の許可を設定し、機密の情報が任意に印刷 されることを防ぐことができます。

機密の文書を不正なアクセスによる印刷から防ぐため、ネットワークプリンターを指定し て印刷の許可を制限することができます。ネットワークプリンターを設定するには、<u>Web</u> <u>Service Configuration</u> を参照して Web サービスと SQL を先に設定してから Valid Network Printer Setting ツールをクリックし、Foxit Configuration Tool ウインドウにあ

るボタンをクリックして、このツールを有効にして実行します。

Foxit J-Reader
User Manual

		Foxit Config	guration Tool		
< Valid N	etwork Printer Settin	g			
		-			
	Printer Ports List				
			Demous	Durat	
		Add	Remove	Export	

 1. 最初にプリンターポートを取得する必要があります。スタートメニュー > デバイスと プリンター > ネットワークプリンターを右クリック > プリンターのプロパティ を選 択します。プロパティダイアログで「ポート」タブを選択して情報を確認します。例えば、 「192.168.3.239」などがプリンターポートです。

😸 KONULA MINIOLIA MEDICIN'I DARAH MILANA K						
全般 共有 ポート 詳細設定 色の管理 セキュリティ バージョン情報						
Канаса, камасти надеріаг законт						
印刷するポート(P) ドキュメントは、チェック ボック で印刷されます。	スがオンになっているポートのう	5、最初に利用可能な	きもの			
ポート	説明	プリンター	*			
☑ 192.168.3.239	標準の TCP/IP ポート	KOMOOA NENDA	1756 0			
			ш			
•			• •			
ポートの追加(T) ポートの削除(D) ポートの構成(C)						
☑ 双方向サポートを有効は □ プリンター プールを有効は	こする(E) こする(N)					
	ОК		道用(A)			

2. Foxit Configuration Tool ダイアログボックスにある「Add」ボタンをクリックして、プリンターポートを追加してください。また、プリンターポートを選択して「Remove」を クリックすることでプリンターポートを削除することもできます。

ノート: ネットワークプリンターの追加については、<u>ネットワークプリンターの追加</u>を

参照してください。

ネットワークプリンターの追加には二つの方法があります:

 スタートメニュー > デバイスとプリンター > プリンターの追加 をクリックします。 オ。プリンターの追加ダイアログにて、「探しているプリンターはこの一覧にありません」をクリックして次に進みます。

🚱 🖶 プリンターの追加			X
利用できるプリンターを検索してい	ます		
プリンター名	アドレス		
		停止(S)	
→ 探しているプリンターはこ	の一覧にはありません(R)		
		(水へ(M)) キャンオ フ	11

以下はプリンターの追加ダイアログでプリンターの追加を完了するための手順です。

(プリンターの追加	×
7 © ©	 リンター名または TCP/IP アドレスでプリンターを検索 ブリンターを参照する(W) 共有ブリンターを名前で選択する(S) 例: ¥¥<コンピューター名>×<ブリンター名> または http://<コンピューター名>/printers/<ブリンター名>/.printer TCP/IP アドレスまたはホスト名を使ってプリンターを追加する(I) Bluetooth プリンターを追加する(L) 	参照(R)
		次へ(N) キャンセル

ショートカットキー Win + R を押下してファイル名を指定して実行ボックスを開き、
 任意のプリンターの URL を入力して追加し、「OK」をクリックします。

□ ファイル名を指定して実行
実行するプログラム名、または開くフォルダーやドキュメ ント名、インターネット リソース名を入力してください。
名前(<u>O</u>): ¥¥192.XXX.X.XXX -
OK キャンセル 参照(<u>B</u>)

表示されたダイアログで、プリンターを右クリックしてメニューより 接続 を選択します。

	C LUBRAR AGUU	
整理 ▼ Active Directory の検索	ネットワークと共有センター »	₩= ▼ 🛄 🔞
☆ お気に入り	ADNUCA NUNULIA mogicalor	
アスクトップ 国 デスクトップ 国 母近表示した場所	開く(0) 接続(N)	
	ショートカットの作成(S)	
■ デスクトップ	ノロハティ (K)	
Subversion		
■ Cアイ		
	wine summer Descriptions to March	
2	the second second	

Edit Wrapper Content (ラッパーコンテンツの編集)

Foxit の DRM によって暗号化された PDF を他社の PDF リーダーで開いた場合、ラッパ ーページ (実体は PDF ページ) を表示して、暗号化された PDF を開くには Foxit Reader/ PhantomPDF をダウンロードして使用する必要があることを案内します。Foxit Configuration Tool を使用すれば、ラッパーページをカスタマイズして任意の PDF ファイ ルを使用することができます。

ラッパーページをカスタマイズするには、Web Service Configuration を参照して Web サ ービスと SQL を先に設定してから Foxit Configuration Tool ウィンドウにある Edit Wrapper Content ツールを選択し、 ボタンをクリックしてツールを有効にして ください。そして任意の PDF ファイルを選択します。

Q	Foxit Configuration Tool	- 🗆 X
Editing Wrapper Content If you open a PDF whice	h is encrypted by Foxit with other PDF programs, a wrapper (which is actually a PDF	
page) will prompt you t wrapper content, pleas	to download Foxit PhantomPDF/Reader to open the PDF. If you want to edit the e save the updated content as a PDF file, and click 'Select' to choose this PDF file.	
Wrapper:	123455.pdf Select	

第五章 – 注釈

注釈とは、説明や例示、また事実や意見、特に個人のレスポンスや態度などを記述した覚 書です。Foxit J-Reader の注釈ツールを使用することで、参照中の PDF 文書に注釈とし てテキスト、線や円、その他の図形を追加することが出来ます。ほとんどのタイプの注釈 はポップアップウィンドウを表示することができ、作成者名、注釈の作成日付/時刻、そ してテキストメッセージなどの情報を含みます。また、注釈の編集、返信、削除、および 移動なども簡単に行うことが出来るので、勉強や仕事などの必要上、PDF 文書に何らか の覚書を追加しなくてはならない場合にこの機能は非常に有効です。

注釈ツール

注釈ツールを使用すると、PDF 文書に注釈を追加することができます。注釈ツールには、 タイプライターツール、描画ツール、テキストツールなど、機能の異なる様々なものがあ ります。これらのツールは **注釈**タブから使用可能で、文書に対して注釈の追加や作成を 行うことができます。

abc U U ∓ ∓, T,	月日 月	「「「引出線付きテキスト らイプ ライター	💉 鉛筆 👲 消しゴム	エリア ハイライト
テキスト	添付	タイプライター	描画	
\square		۸		
А	В	С	D	

A: テキストツール C: タイプライターツール B: ノートおよび添付ツールD: 描画ツール

注釈追加のためのツール選択

• 注釈タブより、使用するツールをリボンから選択します。

ノート注釈の追加

ノート注釈は最も一般的に使用される注釈です。ノート注釈は、ポップアップでテキスト メッセージを表示するアイコンとして、追加したページ上に表示されます。ノートのテキ ストボックスはリサイズでき、テキストボックスが小さい場合は、入力テキストの長さに 応じて自動で折り返して表示します。ノート注釈の追加は、以下の手順を参照してください。



ノート注釈の追加

- 注釈 > ピン > ノート をクリックします。
- ページの任意の場所をクリックして、ノートを追加します。
- ポップアップノートにテキストを入力します。テキスト選択ツール を使用して、
 PDF内のテキストをノート注釈にコピーして貼り付けることができます。またノート注釈の内容をCtrl+Cでコピーして、他のアプリケーションで利用することもできます。

ノート注釈の編集

- テキストメッセージをクリックします。
- 必要に応じてメッセージを変更します。
- ポップアップノートをリサイズするには、右下のリサイズコーナーをドラッグします。
- ポップアップノートを移動するには、タイトルをクリックしてドラッグします。
- 操作が終了したら、ポップアップノートのタイトルをクリックするか、ポップアップ ノートの外側をクリックします。
- (オプション) ポップアップノートを閉じるには、以下のいずれかの操作を行います。
 ポップアップノートを閉じると、対象をマウスオーバーした場合にポップアップノートの内容が表示されます。
 - A. ポップアップノートの閉じるボタンをクリックします。
 - B. 文書内に表示されているアイコンをダブルクリックします。
 - C. ポップアップノート、またはアイコンを右クリックして、ポップアップメニューの「ポップアップノートを閉じる」を選択します。
 - D. ポップアップノート右上の「オプション」メニューを開き、「ポップアップノー トを閉じる」を選択します。

スペルチェッカーの使用

セキュリティ設定で許可されていれば、ノート注釈でスペルチェッカーを使うことができ ます。ポップアップノートに何らかのテキストを入力しようとしたとき、Foxit スペルチ 143 ェック辞書のコンポーネントがインストールされていなければ、メッセージダイアログが 表示され、ダウンロードするかどうかを確認します。「はい」をクリックするとダウンロ ードを開始します。

なお、このコンポーネントは Foxit J-Reader の初期状態からインストールされています。 <u>スペルチェッカー</u>を参照してください。

Spell Checker がインストールされていれば、ポップアップノートに英文を入力する際に、 このツールがスペルミスを発見し、波線で強調して指摘します。

- スペルミスを指摘された単語の上で右クリックすると、スペル候補リストが表示されます。
- 候補リストから適切な語を選択するか、入力単語に問題がなければ無視してください。

このスペルチェックを無効にする場合は、ファイル > 環境設定 > スペルチェック > 「スペルチェックを有効にする」オプションのチェックをはずします。

ヒント: スペルチェック辞書は、ファイル > 環境設定 >スペルチェック の設定画面で 追加や削除、優先順位を設定することができます。

ノート注釈の整列とセンタリング

- ノートツール 🦾 、手のひらツール ^惣 、または注釈選択ツール ^皺 を選択します。
- 以降の操作は、複数の画像に対する操作を参照してください。

ノート注釈の削除

- ノートツール 🖾、手のひらツール 💀、または注釈選択ツール 📓 を選択します。
- 以下のいずれかの操作を行います:
 A. ノートアイコンをクリックし、Delete キーを押下します。
 B. ノートアイコンを右クリックし、ポップアップメニューの「削除」を選択します。
 C. ポップアップノート右上の「オプション」メニューより、「削除」を選択します。

テキストツール

編集しなくてはならないテキストの指摘や、何かの理由でその箇所をクローズアップさせるために、テキストツールを使用してマークすることができます。テキストツールは PDF 文書内の実際のテキストは変更しません。その代わり、どのテキストが削除されるべきか、 挿入されるべきか、ハイライト表示されるべきか、また下線を追加されるべきか示します。 テキストツールには、ハイライトツール、下線ツール、取り消し線ツール、波線ツール、 置換ツール、そしてテキスト挿入ツールがあります。
ボタン	ツール名	説明
	ハイライトツール	文章の重要な部分などに蛍光色 (通常) でマークします。記
Т		憶に残りやすくする効果があり、後で参照する際にも便利で
		す。
Т	下線ツール	重要な個所であることを示すために下線を引きます。
т	取り消し線ツール	テキストの上に取り消し線を引きます。削除することを他の
1		人に知らせます。
т	波線ツール	下線ツールと似ていますが、テキストの下に波線を追加しま
		す。
۲Ę	置換ツール	取り消し線を引き、置換する内容を記述します。
т	テキスト挿入	校正マーク (^) を追加して、挿入すべき内容があることを示
~	ツール	します。

テキストツール

Foxit J-Reader には注釈ツールを使用する際の、色と不透明度を変更できる便利な機能が 提供されています。色と不透明度はツールごとに設定可能で、設定内容は継承され、新し くツールを追加するたび、同じ設定が適用されます。

テキストツールを使用する

1. ハイライト、下線、取り消し線、波線、置換ツールについて

- 注釈 > テキストグループ > ハイライトツール^{II}、下線ツール^{II}、取り消し線ツール^I、波線ツール^{II}、置換ツール^{II}、テキスト挿入ツール^{II}を選択します。
- 注釈をつけるテキストの先頭をクリックしてドラッグします。

2. テキスツールにノート注釈を追加する

- 手のひらツール^認、注釈選択ツール^認、またはそれぞれのテキストツール > マーク箇所を右クリック > ポップアップノートを開く、と操作します。

けることが出来ます。また、Ctrl+Cキーを押下してテキストをコピーし、別のア プリケーションで使用することが出来ます。

(オプション) ポップアップノートを閉じる場合は、以下のいずれかの操作を行います。ポップアップノートを閉じると、対象をマウスオーバーした場合にポップアップノートの内容が表示されます。

A. ポップアップノートの閉じるボタンをクリックします。

B. マークしたテキストをダブルクリックします。

145

- C. マーク箇所を右クリックし、ポップアップメニューの「**ポップアップノートを 閉じる」**を選択します。
- D. ポップアップノートのオプションメニューを開き、「ポップアップノートを閉じる」を選択します。
- 3. テキストに設定したマークの削除

以下のいずれかの操作を実行します:

- 手のひらツール ¹⁰/₁₀、注釈選択ツール ¹⁰/₁₀、またはそれぞれのテキストツールを選択
 > マーク箇所をクリック > Delete キーを押下、と操作します。
- 手のひらツール²⁰、注釈選択ツール²⁰、またはそれぞれのテキストツールを選択 > マーク箇所を右クリック > ポップアップメニューの「削除」を選択します。
- ポップアップノートのオプションメニューを開き「削除」を選択します。

テキスト選択ツール

テキスト選択ツールを使用して、ハイライトツール、取り消し線ツール、下線ツール、波 線ツール、置換ツールなど、ほとんどのテキストツールを利用できます。 テキスト選択ツールを使用してテキストを選択し、右クリックで表示されるポップアップ メニューから、使用するテキストツールを選択できます。また、テキスト選択ツールは、 しおりの追加にも使用できます。

テキストをマークアップする

- ホーム > ツール > テキスト選択 ※ を選択します。
- マークするテキストを選択 > テキストを選択した状態で右クリックします。その後の操作については、テキストツールを使用するを参照してください。

描画ツール

描画ツールは線や図形を描いて、注釈をつけるためのツールです。描画ツールを使用する と、矢印、線、正方形、長方形、円、楕円、多角形、折れ線、雲形等の図形で文書に目印 をつけることが出来ます。

また、描画ツールでは指定した箇所に別の色でハイライトする機能も提供しています。この機能は文書内のテキストやイメージ、図形に目印を付ける場合に有効です。以下の表は、 描画ツールの機能説明です。

描画ツール

ボタン	ツール名	説明
ĸ	矢印ツール	矢印を作成します。何かの方向を示す場合に使用します。
/	線ツール	線を追加します。
	長方形ツール	四角形を作成します。
0	楕円形ツール	楕円形を作成します。
0	多角形ツール	3本以上の線分で構成された閉じた図形を作成します。
Ê	折れ線ツール	3個以上の点で構成される、開いた平面図形を作成します。
1	鉛筆ツール	フリーハンドの線や図形を作成します。
<u></u>	消しゴム ツール	鉛筆ツールで作成した図形を消去します。
0	雲形ツール	雲形の図形を描きます。
	エリアハイラ イトツール	重要な領域を覚えやすくマークして、後から参照できるように します。

図形の追加

利用する効果に応じて使用するツールを選択してください。

- 注釈タブの 描画 ツールから、使用するツールを選択します。
- 線、または矢印を描画する場合は、描画する場所でカーソルをドラッグして線を引き ます。
- 長方形、正方形、円、または楕円を描画する場合は、図形を描画したい領域でカーソルをドラッグします。
- 多角形、折れ線、または雲形を描画する場合は、スタート地点をクリックし、カーソルを移動しながら各辺を作成するためにクリックを繰り返します。描画を終了するには、最後のポイントでダブルクリックします。
- 鉛筆ツール³¹²を使用してフリーハンドの線を描くには、描きたいエリアで自由に ドラッグします。連続してフリーハンドの線を描くには、一旦マウスのボタンを放し、 別の位置に移動してから、再度マウスをクリックすることで描画を継続できます。

ヒント:

- 線を描く時に Shift キーを押しながら操作すると、水平、垂直、45°の角度の線が引けます。
- Shift キーを押しながら楕円形を描画すると円が、長方形を描画すると正方形が作成

できます。

- 描画マークアップをダブルクリックすると、ノート注釈を入力することができます。
- 描画マークアップを右クリックするか、ポップアップノートの「オプション」をクリックするとプロパティを開くことができ、必要に応じて設定が可能です。
- 線または矢印を描く場合、線のプロパティダイアログで、「テキストを表示」オプションを選択すると、注釈を重ねて表示することができます。

線 プロパティ	×
表示方法 一般 レビュー履歴	
太さ(T): 🙎 🚔	
線のスタイル(Y):	
色(R): 📕 塗りつぶしの色	(F): 👖
始点(S): はし ▼ 終点	(E): なし 🔻
不透明度(O): 100 % ア	キストを表示(W)
□ ロック(L) □ 現在の設定を既定として使用(E)	閉じる(C)
	Fo xit Corpora on

エリアハイライトの追加

Foxit J-Reader は特定のテキストの範囲や画像、空白領域など、指定した領域をハイライトすることができます。

- エリアハイライトを使用するには、注釈 > 描画 > エリアハイライト
 で、任意の場所にマウスをドラッグし、ハイライトする領域を設定します。
- 初期設定ではハイライト領域は黄色で表示されます。ハイライトの色を変更するには、 「プロパティ」を選択してダイアログの「表示方法」タブより変更してください。また、「その他の色」をクリックして、エリアハイライトの色を変更できます。Foxit J-Readerはカスタムの色を自動で保存するので、他の注釈ツールで共用できます。



PSI (Pressure Sensitive Ink) によるフリーハンドの線の追加

Foxit J-Reader はフリーハンド注釈のため、タッチ操作での入力に対応しています。 Surface Pro ペンや Wacom ペンなどを使用して、PDF にフリーハンドの注釈を追加する ことが可能です。以下の手順を参照してください:

- (Surface Pro の場合) 注釈 > 描画 > 鉛筆 を選択し、Surface Pro ペンを使用して任 意のフリーハンドの注釈を追加します。
- (Wacom タブレットの場合) コンピューターに Wacom タブレットを接続してから、
 注釈 > 描画 > 鉛筆 を選択し、Wacom ペンを使用して任意のフリーハンドの注釈 を追加します。

描画した図形の編集、リサイズ、移動

- 手のひらツール²⁰
 注釈選択ツール²⁰
 、または、それぞれの描画ツールを選択します。
- 描画した図形の編集やリサイズを行うには、対象を選択し表示される緑色のポイント にカーソルを移動し、そのポイントを任意の位置にドラッグします。
- 描画した図形を移動するには、対象をクリックして選択し、一つの辺を任意の位置までドラッグします。
- 描画した図形にポップアップノートを追加するには、対象の図形をダブルクリックするか、または、対象を右クリックし、ポップアップメニューの「ポップアップノートを開く」を選択します。

図形の整列とセンタリング

- 手のひらツール³/³/₂、または注釈選択ツール³/³/₂を選択します。
- 以降の操作は、<u>複数の画像に対する操作</u>を参照してください。

描画した図形の削除

以下のいずれかを実行します:

- 手のひらツール、、注釈選択ツール、、またはそれぞれの描画ツールにて、対象の
 図形を選択し、Delete キーを押下します。
- 手のひらツール[※]、注釈選択ツール[※]、またはそれぞれの描画を選択 > 対象の図形
 を右クリック > ポップアップメニューの「削除」を選択します。
- ポップアップノート右上の「オプション」を選択し、ポップアップメニューの「削除」
 を選択します。

描画した図形のグループ化

描画した図形のグループ化により、複数の図形をまとめて操作することができます。複数 の図形に対する移動、削除、ステータスの変更、表示の変更設定などを一度の操作で行え るようになります。

手のひらツール¹ 、または注釈選択ツール を選択し、以下のいずれかの操作をおこないます:

- 描画した図形をグループ化するには、Ctrl キーを押下しながら、グループ化する複数の図形を選択し、選択した図形の上で右クリックして、ポップアップメニューの「グ ループ」を選択します。
- グループに対して操作を行う場合は、グループの中の任意の図形を選択して必要な 操作を行うことで、グループすべてに適用されます。
- グループを解除するには、グループを選択し、右クリックしてポップアップメニューの「グループ解除」を選択します。

タイプライターツール

タイプライターツールには、タイプライター、引出線付きテキスト、およびテキストボックスがあります。

タイプライターを使用する

タイプライターツールは、入力したテキストを PDF 文書上に追加するツールです。タイ プライターを使用すると、PDF 文書の任意の位置にテキストコメントを追加することが 出来ます。そして追加したコメントは、通常の注釈とは違った形式で表示されます。

ノート:タイプライターは、申請書類などのフォームの入力に使用できます。

参照: ノンインタラクティブフォームへの入力



タイプライターによるコメントの追加

- 注釈タブより、タイプライターツールを選択します。
- テキストを追加したい位置にポインタを移動してクリックします。
- 改行するには Enter キーを押下します。
- テキストの入力を終了する場合は、テキストを入力したエリアの外をクリックします。

タイプライターコメントの編集

- 注釈タブより、タイプライターツール™permeter を選択します。
- ポインタを編集対象の文字の間に移動してクリックし、タイプライターのテキストフィールドをアクティブにします。
- テキストを編集します。このとき、Backspace キーと Delete キーを使用して、ポインタの前後の文字を削除することが出来ます。
- 編集を終了するには、テキストフィールドの外をクリックします。

ヒント: テキストフィールド内で矢印キーを使用すると、ポインタを上下左右に移動する ことが出来ます。

スペルチェッカーの使用

セキュリティ設定で許可されていれば、タイプライターツールでスペルチェッカーを使用 することができます。タイプライターツールでメッセージを入力しようとしたとき、Foxit スペルチェック辞書のコンポーネントがインストールされていなければ、メッセージダイ アログが表示され、ダウンロードするかどうかを確認します。「はい」をクリックすると ダウンロードを開始します。

なお、このコンポーネントは Foxit J-Reader に初期状態でインストールされています。 <u>スペルチェッカー</u> も合わせて参照してください。

スペルチェッカーが利用可能な状態であれば、タイプライターツールで英文を入力する際 に、このツールがスペルミスを発見し、波線で強調して指摘します。

- スペルミスを指摘された単語の上で右クリックすると、スペルの候補リストが表示されます。
- 候補リストから適切な語を選択するか、入力単語に問題がなければ無視してください。

タイプライターコメントの移動

以下のいずれかの操作を行ってください:

- 注釈タブより、タイプライターツール Typewater を選択し、以下の手順を実行します:
 - A. ポインタを対象の文字の間に移動し、タイプライターテキストのフィールドをア クティブにします。
 - B. ポインタをテキストのフィールドの右端または左端に移動します。
 - C. カーソルが矢印▶ に変化したらマウスボタンを押し、そのままドラッグして任 意の位置に移動します。

ヒント:

◆ 文字の間を移動する際は、Home キー、End キー、矢印キーを使用できます。

◆ タイプライターコメントを移動しているときは、四角形の枠が表示されます。

(推奨)手のひらツール 、または注釈選択ツール を選択し、タイプライターコメントをクリックして、任意の位置に移動します。

タイプライターコメントの削除

以下のいずれかの操作を実行します:

- 注釈タブよりタイプライターツール Typewriter を選択します。テキストの先頭または最後
 にカーソルを移動させ、ドラッグしてすべてを選択し、Delete キーを押下します。
- (推奨)注釈選択ツール (、または手のひらツール を選択し、テキストフィール ドを右クリックして、ポップアップメニューの「削除」を選択します。

タイプライターの環境設定

タイプライターツール TI を選択して入力状態になると、**注釈フォーマット**タブが選択 できるようになり、ツールバー上でタイプライターの設定が可能になります。フォントス タイル、フォントサイズ、フォントの色、整列、テキストの記述方向などの設定ができま す。



1. タイプライターのフォントスタイル、フォントサイズ、フォントの色を変更

- タイプライターのフォントスタイルを変更するには、フォントのドロップダウンリストから、フォントを選択します。または、フォント名を直接フォントボックスに入力して Enter を押下して適用することも可能です。
- タイプライターのフォントサイズを変更するには、フォントサイズのドロップダウン リストから、サイズを選択します。または、フォントのサイズを直接フォントサイズ ボックスに入力して Enter を押下して適用することも可能です。
- タイプライターのフォントを既定として設定する場合は、適切なフォントとフォント
 色を選択する以外の操作は必要ありません。タイプライターツールを終了する際に設定内容は保存され、次にタイプライターツールを使用する際に有効になります。
- タイプライターのフォントの色を変更するには、ツールバーにある、色設定のボタン

🌥 🎽 をクリックして、必要に応じた色を選択します。

タイプライターの文字にボールドを適用するには、対象のテキストを選択して、太字

ボタン^Bを使用します。

- タイプライターの文字にイタリックを適用するには、対象のテキストを選択して、斜 体ボタン

 を使用します。
- タイプライターの文字に取り消し線を適用するには、対象のテキストを選択して、取り消し線ボタン =>>> を使用します。
- タイプライターの文字に下線を設定するには、対象のテキストを選択して、下線ボタン
 ン
 型を使用します。
- タイプライターの文字を上付き文字/下付き文字に設定するするには、対象のテキストを選択して、上付きX または下付きX を使用します。

2. テキストの記述方向の変更

タイプライター注釈の記述方向を変更するには、以下のいずれかを実行します:

• ツールバーの記述方向ツールをクリックし必要に応じて、 左から右二、または右か

ら左 を選択します。

 タイプライター注釈のテキストを選択し、右クリックしてメニューより必要に応じて、 テキスト方向 > 左から右 または 右から左 を選択します。

ノート: Foxit J-Readerの初期設定では、テキストの記述方向の切り替えは有効です。も しこのオプション機能が見つからない場合は、ファイル > 環境設定 > 注釈 と操作して、 テキスト方向の切り替えを有効にする のオプションにチェックして、記述方向の切り替 えを有効にしてください。チェックを外すことにより、切り替えを無効にすることも可能 です。

3. テキストの整列と箇条書きの設定

パラグラフツールを使用して、入力したテキストの整列を実行できます。これらのボタンは、複数の行を整列させる際に使用します。また、テキストに行頭文字を追加して箇条書 きにすることができます。

- テキストを左揃えにするには、左揃えボタン をクリックします。
- テキストを中央揃えにするには、中央揃えボタン をクリックします。
- テキストを右揃えにするには、右揃えボタン = をクリックします。
- テキストに行頭文字を追加するには、先ず対象となるテキストを選択し、ツールバーにある行頭文字ボタン
 をクリックして行頭文字ライブラリより使用するものを選択します。

4. 文字間隔と文字幅の変更

 文字間隔を変更するには、注釈フォーマットタブにある「文字の間隔」ボタン を クリックして、文字間隔ダイアログを開きます。ダイアログの「間隔」のフィールド に文字間隔 (ポイント)を入力して、「OK」ボタンをクリックします。

ノート: 文字間隔の値は0以上でなければなりません。

- タイプライターコメントの文字の水平方向倍率を変更するには、ツールバーにある
 「文字の水平方向倍率」ボタン をクリックしてドロップダウンリストから選択するか、「その他」をクリックして水平方向倍率ダイアログを開き、倍率を入力します。
- タイプライターコメントの改行の幅を設定する場合、ツールバーにある「行間」ボ
 タン[↓] をクリックして行間ダイアログを開き、「現在の値を設定」のフィールドに
 値入力して「OK」をクリックします。

テキストボックスや引出線付きテキストでの注釈の追加

引出線付きテキストおよびテキストボックスは、ユーザーが引出線付きテキストボックス やテキストボックス形式を使用して注釈を追加するための機能です。

引出線付きテキストは、ページ内の曖昧ではない特定の場所を指摘する場合に特に有効で す。引出線付きテキストは、テキストボックス、矢印、および終端線という三つのパーツ で構成されています。



テキストボックスは、任意のサイズの長方形で、他のインターフェースとの境界を設定し、 ユーザーがテキストを入力できるようになっています。テキストボックスは文書内に常に 見える状態で残ります。ポップアップノートのように閉じることは出来ません。

About Our Goal

Text box

Foxit Software has posi technology solution provi alternative to Adobe for

ノート: 引出線付きテキストやテキストボックスに日本語、中国語、韓国語のテキストを 追加するには、Eastern Asian Language module をインストールする必要があります。ま た、引出線付きテキスト、およびテキストボックスは、横書きのテキストにのみ対応しま す。なお Foxit J-Reader には、既定で Eastern Asian Language module がインストールさ れています。

引出線付きテキストやテキストボックスの追加

• 注釈タブ > タイプライター > 引出線付きテキスト 🤤 引出線付きテキスト 、または テキ

ストボックス ^{国 テキストボックス} をクリックします。

- 引出線付きテキスト、またはテキストボックスを挿入する場所をクリックします。
- テキストを入力します。入力テキストはボックスの右端までいくと自動的に折り返されます。

引出線付きテキストとテキストボックスのリサイズ、移動、編集、および削除

手のひらツール 、または注釈選択ツール を選択し、以下のいずれかの操作を実行します:

- 引出線付きテキストやテキストボックスをリサイズするには、対象を選択し、表示 されたハンドルのいずれかをドラッグします。
- 引出線付きテキストやテキストボックスを移動するには、対象を選択し移動先まで ドラッグします。
- テキストボックスや引出線付きテキストの、境界線の色や背景色を設定する場合は、
 注釈フォーマットタブにある「色」ボタン (本)、または「塗りつぶしの色」ボタン(か)、
 をクリックします。
- 引出線付きテキストやテキストボックスを削除するには、対象を選択し Delete キー を押下するか、対象を右クリックしてポップアップメニューの「削除」を選択しま す。

引出線付きテキストとテキストボックスの整列とセンタリング

- 手のひらツール¹/2000
 まのひらツール¹/2000
 または注釈選択ツール ¹/2000
- 以降の操作は、複数の画像に対する操作を参照してください。

引出線付きテキストとテキストの環境設定

タイプライターの環境設定を参照してください。

注釈の管理

注釈を参照

 注釈パネルを開くには、表示 > 表示設定 > ナビゲーションパネル > 注釈 を選択 します。



注釈パネル

注釈パネルでは、以下のような機能が提供されています:

すべて展開[「]→ すべての注釈がパネルに展開されて表示されます。 すべて閉じる[「]→ すべての注釈を閉じて格納します。 次へ→ → 注釈パネルに表示された次の注釈に移動します。 前へ← - 注釈パネルに表示された前の注釈に移動します。 並べ替え」 → 注釈パネルの一覧表示は、作成者名、ページ番号、注釈の種類、作成日付、

156

ステータス、チェックのステータスにより並べ替えることができます。

注釈の表示/非表示 = - すべての注釈を表示/ すべての注釈非表示 をクリックして、すべての注釈を表示、または非表示にします。また、すべてのポップアップノートを開く/ すべてのポップアップノートを閉じる をクリックして、追加されている注釈のポップアップノートをすべて表示、または非表示にできます。

検索ボックス 🔎 🥐 🛤 📃 – キーワードを入力して、注釈を検索します。

- 注釈テキストはポップアップノート、またはマークアップアイコンの中に表示され、 ポップアップノートを閉じている時は、ツールチップのように動作します。
- 行の多い注釈テキストを入力した場合、ポインタがポップアップノートの外に移動すると、注釈の一部だけが表示され、残りは…と表示されます。その後、メッセージボックスの内部をクリックすると、スクロールバー付きで全体を見ることが出来るようになります。

ステータスの設定

ステータスの設定は、注釈を読んだかどうか等、足跡を残すのに非常に有効です。注釈は、 承認、却下、キャンセル、完了等、状態を示す目的で使用できます。

注釈のステータスを設定することで、いくつかの注釈を公開や、非公開にすることができ、 レビューの参加者に注釈をどのように扱う予定なのか等を知らせることができます。一度 レビューのステータスが設定されると、どのような操作を行っても、履歴を削除する事は できません。

注釈のステータスを変更:

- 手のひらツール、注釈選択ツール、または対応する注釈ツールを選択し、ステータス を変更する注釈を右クリックして、ポップアップメニューから、ステータスを設定 > ステータスを選択、と操作します。
- 履歴を参照する場合は以下を実行します:
 A. 注釈を右クリックして、プロパティ を選択します。
 - B. プロパティダイアログボックスで レビュー履歴タブを選択し、ステータスの変 更履歴を参照します。

注釈のチェックマークの設定

チェックマークの設定は、注釈を読んだかどうか、さらにアクションが求められているか どうかなど、足跡を残すのに非常に有効です。必要に応じて個々の注釈にチェックマーク を付けることができます。

注釈のチェックマークを設定するには、以下の手順を実行します:

- 表示 > 表示設定 > ナビゲーションパネル > 注釈 を選択します。
- 注釈パネルの すべてを展開 ボタン
 をクリックして、対象の注釈を表示すると、

右隣にチェックボックスが表示されます。

- チェックボックスをクリックして、注釈にチェックマークを設定します。
- (推奨方法)設定したい注釈を右クリックして、ポップアップメニューを表示し、「チェックを付ける」を選択します。

注釈にチェックマークをつけることで、チェックのステータスによる並べ替えが可能です。 より便利に注釈を参照できます。

マークアップのプロパティの変更

ノート注釈やマークアップの作成前、または作成後に、色や表示方法を変更することがで きます。また、変更後の状態を新しく既定の値に設定することができます。

ノート注釈の表示方法の変更

1. 注釈フォーマットタブを使用して変更

手のひらツール^認、または注釈選択ツール³⁰
 して、注釈フォーマットタブを表示します。

🧧 🍃 🗄 🖶 🖃 🏝 🥠 🔿 🦕	Ŧ			注釈フォーマット	
ファイル ホーム 注釈 表示	フォーム 保護	共有 Connect	ヘルプ	注釈フォーマット	配置
♥ 🗙 🕢 🗸 🗸		▲ ▼	•		
کتر ا	イプスタイル				

- 注釈フォーマットタブにて以下を実行します:
 - ▶ ノートアイコンの変更:ボックスよりノートアイコンを選択します。
 - ▶ 色の変更: 色 ボタンをクリックして、任意の色をパレットより選択します。
 - 不透明度の変更: 不透明度ボタンをクリックして、スライダーで不透明度を調整します。
- 2. プロパティダイアログを使用して変更
- ノート注釈のアイコンを右クリックして、プロパティを選択するか、またはポップア ップノートの「オプション」からプロパティを選択し、ノートプロパティのダイア ログを表示します。

ノートプロパティ	×
表示方法 一般 レビュー履歴 アイコン	
色(R):	
不透明度(O): 100 %	
	-û
□ □ック(L) □ 現在の設定を既定として使用(E)	閉じる(C)

- ノートプロパティのダイアログで、以下のいずれかの操作を行います。変更後、「閉じる」ボタンをクリックして設定を完了します:
 - ▶ 「表示方法」タブをクリックして、コメントの色と不透明度を変更します。
 - ▶ 「一般」タブをクリックして、作成者名とコメントのタイトルを変更します。
 - 「レビュー履歴」タブをクリックして、各レビューアーのレビュー中のコメント やステータスを参照します。ステータスの設定を参照してください。
 - 「アイコン」タブクリックして、アイコンのタイプを変更します。
 - ノートプロパティダイアログ左下の、「ロック」オプションを選択すると、該当注 釈に対するプロパティの変更や、注釈の削除を防止することが出来ます。
 - ノートプロパティダイアログ下側の「現在の設定を既定として使用」にチェック すると、現在の設定をノート注釈の既定に設定することができます。

テキストマークアップの表示方法の変更

- ノート注釈の表示方法の変更の手順に従ってください。
- テキストマークアップのプロパティには、「**アイコン」**タブはありません。

描画した図形の表示方法の変更

1. 注釈フォーマットタブを使用して変更

- <u>計測マークアップの表示方法の変更</u>の手順に従ってください。
- 開いた図形 (線、矢印) について、始点 および 終点オプションが利用可能です。

2. プロパティダイアログを使用して変更

描画した図形を右クリックして、プロパティを選択するか、またはポップアップノートの「オプション」からプロパティを選択し、プロパティダイアログを表示します。

Foxit J-Reader
User Manual

長方形プロパティ
表示方法 一般 レビュー履歴
太さ(T): 💈 🚔
線のスタイル(Y):
色(R): 📕 塗りつぶしの色(F): 🏋
不透明度(O): 100 %
î
□ ロック(L) □ 現在の設定を既定として使用(E) 閉じる(C)

プロパティダイアログで以下のいずれかの操作を行い、「**閉じる」**ボタンをクリックして 完了します:

- 「表示方法」タブをクリックして、色、不透明度、塗りつぶしの色、線のスタイルなどを変更します。線、四角形、円など、選択した図形の種類により、プロパティダイアログの内容は異なります。
- 「一般」タブをクリックして、作成者名やコメントのタイトルを変更します。また、
 作成日/更新日を確認できます。
- 「レビュー履歴」タブをクリックして、各レビューアーのレビュー中のコメントやス テータスを参照します。ステータスの設定
- プロパティダイアログ左下の「ロック」オプションにチェックすると、該当注釈に対するプロパティの変更や、コメントの削除を防止することが出来ます。
- プロパティダイアログ下側の「現在の設定を既定として使用」にチェックすると、
 現在の設定を描画した図形の既定に設定することができます。

タイプライターコメントの表示方法の変更

- 1. 注釈フォーマットタブを使用して変更
- 手のひらツール³⁰、または注釈選択ツール³¹を選択して、ノート注釈をクリックして、注釈フォーマットタブを表示します。

🧕 🍃 🗒 🖶 🖃 🐔 🥠 🔿 🦫			フリーテキストツール
<mark>ファイル</mark> ホーム 注釈 表示 フォ	ーム 保護 共有	Connect ヘルプ	注釈フォーマット
Meiryo UI 🔹 9 🔹	⊨ ≡ ≡ ≅		
$ B \underline{I} \underline{\cup} \text{abs} X^2 X_2 \underline{A} \stackrel{\bullet}{\dashrightarrow} \stackrel{\bullet}{\longleftrightarrow} \underline{T} \stackrel{\bullet}{\dashrightarrow} \underline{T} $	⇒e ee AB ‡≡	色 不透 ▼ 明度▼ ▼	
フォント	パラグラフ	シェイプスタイル	

• 不透明度ボタンをクリックして、スライダーで不透明度を調整します。

2. プロパティダイアログを使用して変更

 タイプライター注釈を右クリックして、プロパティを選択し、プロパティダイアログ を表示します。

タイプライター プロパティ		
表示方法 一般 レビュー履歴		
不透明度(O): 100%		
	-0	
□ □ック(L) □ 現在の設定を既定として使用(E)	閉じる(C)	

タイプライターのダイアログボックスにて以下の設定を実行し、「**閉じる」**をクリックして反映します:

- 「表示方法」タブをクリックし、不透明度を変更します。
- 「一般」タブをクリックし、作成者、タイトルなどを変更します。また、作成日/更新日を確認できます。
- 「レビュー履歴」タブをクリックし、各レビューアーのレビュー中のコメントやステ ータスを参照します。ステータスの設定を参照してください。
- プロパティダイアログ左下の「ロック」オプションにチェックすると、該当注釈に対するプロパティの変更や、コメントの削除を防止することが出来ます。
- プロパティダイアログ下側の「現在の設定を既定として使用」にチェックすると、
 現在の設定をタイプライターコメントの既定に設定することができます。

ノート:タイプライターの表示方法の設定では、不透明度のみ変更可能です。

テキストボックス、および引出線付きテキストの表示方法の変更

<u>描画した図形の表示方法の変更</u>を参照してください。

ノート:注釈ツール選択時のいつでも、ESC キーを押下することで手のひらツール [™] に切り替えることができます。

現在のプロパティを既定として設定する

Foxit J-Readerは現在表示している注釈のプロパティ設定を、既定の設定にすることができます。例えば、ハイライトの色と不透明度を設定したときに、そのハイライト注釈を右

クリックして、ポップアップメニューより「現在のプロパティを既定として使用」をク リックして適用します。次回、コンテンツをハイライト表示したときに、以前適用した色 と不透明度が設定されています。

現在のプロパティを既定として使用するには、以下のいずれかの操作を実行します:

- PDF内の注釈を右クリックして、ポップアップメニューより「現在のプロパティを既 定として使用」を選択します。
- 注釈のポップアップノートの「オプション」を選択し、メニューより「現在のプロパティを既定として使用」を選択します。
- 注釈オブジェクトを右クリックして「プロパティ」を選択し、プロパティダイアログ 下側の「現在の設定を既定として使用」にチェックします。

注釈の返信

注釈への返信は、参加者が相互に注釈を参照できるので、レビューを共有するのに大変有 効です。返信はまた、レビューを開始した人が、各レビューアーの提案がどのように履行 されたか知らせる場合にも使用できます。すべての返信はポップアップノートの中に表示 され、オリジナルの注釈の下に一覧表示されます。レビューへの参加者は、タイトルとマ ークでそれぞれの返信を見ることが出来ます。

1. ポップアップノートの中で、オリジナルの注釈に返信する

- 手のひらツール、注釈選択ツール、または注釈に対応するツールを選択し、対象の 注釈のポップアップノートを開きます。
- ポップアップノートの中のオリジナルの注釈を右クリックし、ポップアップメニューの「返信」を選択します。または、PDFドキュメント上の注釈アイコンを右クリックし、ポップアップメニューの「返信」を選択します。
- 表示されたポップアップノートの中のテキストボックスに、返信を入力します。
- 2. 他のレビューアーの注釈に返信する
 - 手のひらツール、注釈選択ツール、または注釈に対応するツールを選択し、対象コメントのポップアップノートを開きます。
 - ポップアップノートの中の他のレビューアーの注釈を右クリックし、ポップアップ メニューの「返信」を選択します。
 - レビューアーの注釈下に返信用のエリアが作成されますので、注釈を追加します。
- 3. 返信を削除する

ポップアップノートのウィンドウを右クリックしてメニューより「削除」を選択します。

ノート: 注釈のアイコンを右クリックして「削除」を選択すると、マークアップが削除 されます。

注釈の並べ替え

通常、注釈は文書のページ毎にリスト表示されますが、種類、作成者、日付、ステータス、 チェックのステータスで簡単に並べ替えることができます。

注釈を並べ替えるには、以下の手順を実行します:

表示 > 表示設定 > ナビゲーションパネル > 注釈、と操作するか、または左側のナ

ビゲーションパネルの注釈アイコン 🔁 をクリックして、注釈パネルを開きます。

● 並べ替え↓ をクリックして、該当のオプションを選択します。



- ▶ ページ:注釈が配置されたページによって並べ替えます。
- 種類:タイプライター、ノート注釈、ファイル添付など、注釈の種類によって 並べ替えます。
- ▶ 作成者:注釈の作成者によって並べ替えます。
- ▶ 日付:作成された日付によって並べ替えます。
- ▶ ステータス:承認、却下、完了など、ステータスによって並べ替えます。
- チェックのステータス:チェックマークによって並べ替えます。

注釈の検索

Foxit J-Readerは、注釈を参照するための簡易検索オプションを提供しています。

注釈を検索するには、以下の手順を実行してください:

- 表示 > 表示設定 > ナビゲーションパネル > 注釈 (またはナビゲーションパネル
 左側の注釈アイコン をクリック)と操作して、注釈パネルを開きます。
- 注釈パネル上部の検索ボックスに検索したいキーワードを入力すると、Foxit
 J-Readerは注釈の内容を検索して結果を表示します。

注釈の一覧

注釈の一覧の作成により、PDFファイルに付けられた注釈を簡単にまとめることが出来ま す。注釈の一覧を作成し、それを新たなPDFファイルとして作成することも可能です。注 釈の一覧を作成することで、ページ、作成者、作成日時、種類によってソートできるなど、 様々な用途に利用できます。また、注釈の一覧の作成ダイアログで、用紙サイズ、余白、 ページ範囲、フォントサイズなどの設定を行うことができます。

- 1. 注釈 > 注釈の管理 > 注釈の一覧 を選択します。
- 2. 注釈の一覧を作成ダイアログにて、以下の設定をおこなってください:
 - どのようなレイアウトで注釈の一覧を作成するか選択します。
 - すべての注釈、テキスト、線など、対象となる注釈を選択します。
 - 「用紙サイズ」にて、A4、A3などの注釈の一覧として作成するページのサイズ を選択します。
 - 「フォントサイズ」を選択し、「注釈の並べ替え」でソート方法を選択します。
 - 「含めるページ」にて、ページ範囲を指定します。
 - コネクタラインを含む文書として作成する場合は、コネクタラインの色と不透明 度を設定します。
- 3. 「OK」をクリックして注釈の一覧を新規のPDFに作成します。このPDFは必要に応じて保存することができます。

注釈の読み込みと書き出し

<u>注釈データの読み込みと書き出し</u>を参照してください。

注釈の印刷

Foxit J-Readerは文書を印刷する際、注釈の一覧を含めて印刷することができます。

印刷に注釈の一覧を含めるには、ファイル > 印刷 > 「注釈の一覧」ボタンをクリック します。

印刷に注釈の一覧を含めるかを確認するダイアログが表示されます。「はい」をクリック すると注釈の一覧が印刷する内容として追加されますので、そのまま印刷操作を続行して ください。



注釈をつけた PDF 文書の送信

Foxit J-Readerを使用すれば、簡単にレビューを共有することが出来ます。ユーザーは注 釈を追加した PDF文書を別のレビューアーに送り、内容の確認や返答を求めることが出 来ます。

注釈を追加したPDFファイルの送信方法は以下の通りです:

- 上書き保存ボタン をクリックして、追加した注釈を保存します。
- 共有 > 送信 > 電子メール、と操作します。

PDF レビュー

PDF の共有レビュー機能について

Foxit J-Reader は共有レビューと電子メールレビューの、二つの共有レビュー機能をサポートしています。Foxit J-Reader (v7.0 以降)を使用して、容易に共有 PDF の参照、および注釈の共有に参加することができ、参加したレビューをトラックできます。共有レビューでは、内部サーバーや Foxit Cloud を介しての注釈の追加、共有、レビューのトラック

が可能です。電子メールレビューでは、注釈を追加して、共有 PDF を依頼者に添付ファ イルとして返信することができます。

共有レビューへの参加

- 電子メールプログラムや Foxit Cloud からレビューする PDF ダウンロードし、Foxit J-Reader で開きます。
- 初めて PDF の共有レビューを行う場合は、最初にユーザー情報を入力する必要があります (下図参照)。

ユーザー情報登録	— ×—
他のレビュー参加者に自分の注釈が 情報は、環境設定の「ユーザー情報	判るよう、ユーザー情報を入力してください。ユーザー Jにて、いつでも変更可能です。
名前(A):	
電子メールアドレス(M):	
	OK(O) キャンセル(C)

- ➢ PDFに必要な注釈を追加します。
- 追加が完了したら、メッセージバーに表示される「注釈を公開」ボタンをクリックして他のレビュー担当者と追加した注釈を共有します。
- ▶ 以下のいずれかを実行して PDF を保存します:
 - ◆ ファイル > 名前を付けて保存 を選択して、ローカルに共有 PDF のコピーを保存します。このコピーを開くことで、共有レビューを継続して実行することができます。

レビュー中、Foxit J-Reader は自動的に同期を行い、初期設定では5分毎に新規に追加さ れた注釈を確認します。新しい注釈がある場合はタスクバーの Foxit J-Reader アイコン を点滅して通知します。また、「新しい注釈を確認」をクリックして手動で他のレビュー 担当者の追加した注釈を確認することや、レビューの環境設定で、注釈を自動確認する間 隔を設定することも可能です。詳細は 新しい注釈を自動確認 を参照してください。

ノート: Foxit Cloud を使用して開始された共有レビューに参加するには、以下の互換性のあるクライアントを使用する必要があります:

• Windows: Foxit Reader (J-Reader) /Foxit PhantomPDF 7.2 以降

- iOS: Foxit MobilePDF Business 4.6 以降
- Android: Foxit MobilePDF Business 3.4 以降

電子メールレビューへの参加

- ▶ 電子メールプログラムからレビューする PDF を開きます。
- ▶ PDF に必要な注釈を追加します。
- 完了したらメッセージバーの「注釈を送信」をクリックして、電子メールで依頼者に
 レビューした PDF を返信します。
- ▶ (必要な場合) ファイル > 名前を付けて保存 を選択してローカルにPDFのコピーを 保存します。

レビューの再参加

- ▶ 以下のいずれかの方法でレビューした PDF ファイルを再び開くことができます:
 ◆ ローカルに保存した共有 PDF のコピーがあれば、直接その PDF を開きます。
 - ◆ 共有 > レビュー > トラッカー を選択し、レビューする PDF を右クリックしてメニューより「開く」を選択します。
 - ◆ 電子メールから共有 PDF を開きます。
- 上記の手順で開いた PDF に対し、前回と同様の手順で共有レビュー、または電子メ ールレビューを行います。

ノート: Foxit J-Reader を使用して電子メールレビューを行うために PDF を開くには、電子メールプログラムをインストールして、Foxit J-Reader で動作できる必要があります。 現在、Foxit J-Reader は Microsoft Outlook、Gmail、Windows Mail、Yahoo Mail など、主要な電子メールプログラムをサポートしています。電子メールプログラムや Web メール が対応していない場合は、最初に対象の PDF をローカルにダウンロードして、その PDF を開いてレビューをおこなってください。

レビューのトラック

Foxit J-Reader の提供するレビュートラッカーツールは、リアルタイムでの文書レビュー の容易な管理を支援します。共有 > レビュー > トラッカー を選択して、参加した共有 レビューおよび電子メールレビューについて、ファイル名、期限、注釈とレビュー担当者 の一覧を確認できます。

🎥 トラッカー				X
□-図レビュー レビュー > 参加 □ ● 録 参加 ● か				
	ファイル名	期限	注釈: 新規/合計	レビュー担当者: 新
	Form review	2014/08/19 16:52:39	0/4	0/1
	Form_reviewed3	2014/08/20 13:56:50	0/4	1/3
	Form_review3	2014/08/20 14:32:20	0 / 4	0 / 1
すべてを展開 すべてを閉じる				

第六章 – フォーム

Foxit J-Readerはフォームの入力や、フォームデザインをするのに大変有用です。詳細は 以下をお読みください。

概要

フォームを持つファイルには2つの種類あります。一つはフォームフィールドをクリック すれば直接入力できるように作成されたフィールドを持つPDFファイルです。このような フォームはインタラクティブPDFフォームと呼ばれています。もう一方は、テキストと線 だけで構成されるた通常のPDFファイルで、情報を入力するにはFoxit J-Readerのタイプ ライター機能が必要です。このようなフォームはノンインタラクティブPDFフォームと呼 ばれています。

フォームに関するナビゲーションや表示の調整は、通常のPDFファイルとまったく同じように行います。

インタラクティブフォーム

インタラクティブフォームを持つPDFを開くと、ドキュメントペインの右上にメッセージ バーが表示され、文書にインタラクティブフォームが含まれていることを案内します。メ ッセージバーでは以下のことができます:

- メッセージを表示または非表示にするには、
- メッセージバーを閉じるには「閉じる」をクリックします。メッセージバーを表示したくない場合は、ファイル > 環境設定 > フォーム > 一般 > 文書メッセージバーを常に非表示 にチェックします。チェックをはずせば再びメッセージバーが表示されます。
- メッセージバーにある「フィールドをハイライト表示」(既定でチェック) にチェックすると、必須フィールドと同様に、すべてのインタラクティブフォームフィールドがハイライト表示されます。チェックをはずすとハイライト表示が無効になります。ハイライト表示の色を変更するには、ファイル > 環境設定 > フォーム > ー般 > すべてのフィールドをハイライト表示 にチェック > カラーパレットをクリックして任意の色を選択します。



XFA (XML Forms Architecture) フォーム

参照: フォームの環境設定

ノンインタラクティブフォーム

文書メッセージバーは表示されません。この種類のフォームは、テキストだけで構成され ている通常のPDF文書と同様の動作をします。情報を入力するにはタイプライター機能を 使う必要があります。

PDFフォームへの入力

Foxit J-ReaderはPDFフォーム機能として、PDFフォームへの入力や印刷に加え、入力し たフォームの保存や、フォームデータの読み込み/書き出しなど、高度なフォームの操作 もサポートしています。

インタラクティブフォームへの入力

PDF 文書にインタラクティブフォームフィールドがある場合、手のひらツール ^認を使用して入力します。ポインタをインタラクティブフォームフィールド上に移動した時、ポインタのアイコンが以下のいずれかに変わります:

- ポインティングフィンガー(^h) -- ポインタがプッシュボタン、ラジオボタン、チェ ックボックス、またはリスト中のアイテム上にある場合、この状態になります。
- 矢印¹ -- オプションリストの中からアイテムを選択できる場合に、この状態に変わります。
- アイビームアイコン I -- フォームフィールドにテキストを入力できる場合、この状態になります。

インタラクティブフォームに入力する場合は、以下のいずれかの操作を行います:

- 必要であれば、手のひらツール¹⁰ を選択します。
- (オプション)フォームフィールドの存在をわかりやすくするため、文書メッセージ

170

バーの「フィールドをハイライト表示」オプションを選択してください。フォームフ ィールドの背景に色 (既定は水色) が付いて表示されます。

最初に入力するフィールドをクリックして、オプションの中から選択するか、ポイン

タがアイビーム I になって入力を開始できる位置にポインタを置きます。

- テキストフィールドを右クリックして「貼り付け」を選択するか、または別の操作を 行うために「すべてを選択」を選択します。
- オプションの選択やテキストの入力が終わった後、以下のいずれかの操作を行います:
 - A. Tab キー、または Shift + Tab キーを押下して、該当するフィールドの操作を終了 し、次または前のフォームフィールドに移動します。
 - B. 上下の矢印キーを操作して、アイテムリスト内の、前または次のオプションに移 動します。
 - C. フォームへの入力データをリセットする場合、ESC キーを押下します。

ノート:操作しているフィールドが1行のテキストボックスの場合、Enter キーを押下すると、入力を終了し該当フィールドの操作を終了します。テキストボックスの中で改行することは出来ません。一方、複数行入力可能なテキストボックスの場合は、 Enter キーを押下すると同じフィールドの中で改行します。また、チェックボックスを操作している場合に、Enter キーまたは Space キーを押下すると、チェックボックスのオンとオフを切替えます。

- フォームフィールド入力の終了後は、以下のいずれかの操作を行ってください:
 - A. 「送信」ボタンがあれば、それをクリックします。この操作により、フォームのデータは、Web 経由または会社内のイントラネットを経由してデータベースに送信されます。
 - B. クイックアクセスツールバーの上書き保存アイコン[□] をクリック、またはファ
 イル > 上書き保存、と操作します。
 - C. ファイル > 名前を付けて保存、と操作し、保存先を指定します。

ノート:フォームの作成者が許可している場合は、「名前を付けて保存」により、フォームに入力した情報が保存されます。許可されていない場合は、フォームの中が空白の状態で保存されます。

フォームを印刷します。

特定のフォームフィールドをクリアする

フォームフィールドをクリックし、Backspace キーまたは Delete キーを使用してクリア します。 すべてのフォームフィールドのエントリーをクリアする

フォーム > フォームデータ > フォームをリセット を選択します。

ブラウザー内のフォームをクリアする

以下のいずれかを実行します:

- フォーム > フォームデータ > フォームをリセット を選択します。この操作は「元 に戻す」ができません。
- ブラウザーを終了し、再起動します。

ノート: Web ブラウザーの「更新」ボタンや「戻る」ボタン、または他のページへのリン ク移動では、フォームのクリアが完全にはできないことがあります。

フィールドへの長いテキストの入力

PDF フォームは、ダイナミックテキストフィールドとして作成されている場合がありま す。ダイナミックテキストフィールドは、入力した文字の表示サイズを、テキストフィー ルドに収まるサイズに変更します。入力したテキストが多くなり現在のサイズで表示でき なくなると、表示されるテキストのサイズはより小さくなります。テキストの入力を終了 し、該当フォームフィールドがアクティブでなくなった時、テキストフィールドはより小 さなサイズで入力したテキスト全体を表示します。

フォーム入力のスペルチェック

セキュリティ設定で許可されていれば、フォームフィールドやフォームデザイナーへの入 カテキストに Spell Checker を利用できます。

Spell Checker がインストールされていれば、フォームフィールドに英文テキストを入力 すると、スペルミスがあればハイライト表示され、波線で指摘されます。

入力テキストに Spell Checker を使用するには、以下の手順を実行します:

- スペルミスした単語の上で右クリックすると、変換候補リストが表示されます。
- 候補の一つを選択して正しい単語に訂正するか、問題ない場合は無視します。
- 変換候補に入力すべき単語が提示されない場合は、別の単語で再度、正しく入力して ください。

ノンインタラクティブフォームへの入力

PDF にノンインタラクティブフォームフィールドがある場合、タイプライターツール

□ ▼↓ を使用して入力することが出来ます。ノンインタラクティブフォームの場合、カー ソルがフォームフィールド上に移動しても、カーソルのアイコンは変化しません。

ノンインタラクティブフォームは、印刷して手書きで記入することができますが、タイプ ライターツール T を使用してフォームにテキストを入力して保存したり、入力した PDF を印刷したりすることもできます。

タイプライターを使用してノンインタラクティブフォームに入力する場合や、入力したテキストのスペルチェックを行う場合の詳細は、<u>タイプライターを使用する</u>を参照してください。

フォームに注釈を追加する

PDF フォームの位置にも他の PDF のページと同様に、注釈を追加することが出来ます。 ただし、作成者がユーザーに許可している場合に限ります。

PDF フォームを送信する場合に追加した注釈が送信データに含まれるかどうかは、送信 方法によって異なります。例えば、Foxit J-Reader を利用して E-mail や Fax 用に印刷し た場合、注釈は出力結果には含まれず、完成した PDF として E-mail に添付する際には注 釈が含まれます。また、注釈だけを取り出して E-mail に添付することも出来ます。

参照: <u>注釈</u>

フォームデータの読み込みと書き出し

フォームデータの読み込みと書き出し を参照してください。

第七章 - 読み込みと書き出し

PDF のデータは FDF ファイルに対し、読み込み、書き出しを実行することが出来ます。 FDF とは Forms Data Format の略で、インタラクティブフォームデータのためのファイ ル形式です。このファイル形式は、サーバーへの送信、サーバーからのレスポンスの受信、 そしてインタラクティブフォームへの組み込みに使用されます。FDF ファイルは、フォ ームデータを独立した電子ファイルとして保存、伝送することができ、対応する PDF イ ンタラクティブフォームへの再読み込みをするためにも使用できます。また、FDF は PDF 文書から注釈を書き出し、別の PDF 文書に適用するためのコンテナとして使用すること も出来ます。そして PDF 文書を他の人に送る際に、追加した注釈やフォームデータを見 られたくない場合は、この機能を使用してすべてのデータを書き出してから、フォームを クリアして送ることが出来ます。この方法であれば、PDF 文書に後から付け加えたデー タをすべて削除することができます。

読み込み、書き出し可能なデータには、注釈データとフォームデータの 2 種類がありま す。注釈データやフォームデータは、FDF ファイルにして顧客や友人などに送信するこ とが出来ます。FDF は、PDF ドキュメントのあらゆるコンテンツを保存するだけでなく、 各コンテンツの位置や状態を復元することが出来ます。

注釈データの読み込みと書き出し

この機能は、PDF 文書のレビューに非常に有効です。PDF レビューの参加依頼のメール を受け取ると、通常は PDF ファイルが添付されているか、または PDF の URL が提供さ れています。しかし、代わりに FDF ファイルを添付したメールを受け取るかも知れませ ん。ファイルを開くと FDF はレビューの状態を設定して、ブラウザーの中に PDF を開き ます。このとき、FDF ファイルから注釈データを読み込みする方法を知っておく必要が あります。また同様に、注釈を書き出して、FDF ファイルとして別のレビュー参加者に 送信することもできます。

注釈データの読み込み

以下のいずれかの操作を行います:

- FDF ファイルをダブルクリックして、Foxit J-Reader で直接 FDF ファイルを開きます。
- 注釈 > 注釈の管理 > 読み込み > 対象の FDF ファイルを指定して、「開く」を クリックします。読み込みが終了するとメッセージが表示され、注釈が正しく読み 込まれたことが確認できます。

注釈データの書き出し

注釈データを書き出しするには、以下のいずれかの操作を行ってください;

- FDF ファイルとして書き出し
 - A. 注釈 > 注釈の管理 > 書き出し ^{□ 書き出し} を選択します。
 - B. Windows 標準の「名前を付けて保存」ダイアログが開きますので、FDF ファイ ルを保存する場所 (例えば、マイドキュメント等)を選び、ファイル名を入力し て、「保存」ボタンをクリックします。
 - C. データの書き出しに成功したと言う内容のメッセージが表示されます。
- 書き出して E-mail で送信
 - A. 注釈 > 注釈の管理 > FDF をメール ^{1 FDF をメール} を選択します。
 - B. 既定のE-mailプログラムが起動し、FDFファイルとして書き出しされた注釈デー タが自動的にメールに添付されます。
 - C. 送信先のE-mailアドレスとタイトルを入力しメールを送信します。
 - D. 注釈データだけがFDFファイルとして送信されます。

ノート: 注釈のデータをそれぞれ出力するには、そのPDF文書に注釈が付加されている 必要があります。

フォームデータの読み込みと書き出し

フォームデータを読み込み、書き出しする方法は、注釈の読み込み、書き出しと似ていま す。しかしながら、この機能は PDF インタラクティブフォームだけの機能です。読み込 み、書き出しのためのすべてのオプションは、一般的な PDF 文書やノンインタラクティ ブフォームを開いている場合には無効になります。

フォームデータの書き出し

フォームデータを書き出しするには、以下の手順を実行してください:

- フォーム > フォームデータ > 書き出し を選択します。
- 「名前を付けて保存」ダイアログボックスにて、ファイル名と保存場所を指定し、フ ァイルの種類フィールドで任意の形式を選択してください。
- ▶ 「保存」をクリックしてファイルを保存します。

☑ 名前を付けて保存	
○○ - ■ デスクトップ ・	 ✓ <l< td=""></l<>
整理 ▼ 新しいフォルダー	17 -
 ★ お気に入り ★ ダウンロード ■ デスクトップ 型 最近表示した場評 ■ ライブラリ コンピューター システム フォルダー システム フォルダー マージー <	FoxitJapan システム フォルダー ネットワーク システム フォルダー
ファイル名(<u>N</u>): Form.fdf ファイルの種類(I): PDF フォームデータファイル (*.fdf) フォルダーの非表示	▼ ▼ 保存(S) キャンセル

フォームデータを書き出して既存のシートに追加

フォームデータを書き出して既存のシートに追加するには、以下の手順を実行します:

- フォーム > フォームデータ > シートに書き出し > 既存シートに追加 を選択します。
- 開くダイアログボックスにて、CSV ファイルを選択して「開く」をクリックします。

フォームを結合してシートとして出力

複数のフォームデータを CSV 形式で書き出しするには、以下の手順を実行します:

- フォーム > フォームデータ > シートに書き出し > フォームを結合してシートに を選択します。
- 複数フォームをシートに書き出しダイアログで、「ファイルを追加」をクリックします。

複数フォームをシートに書き出し
ファイルを追加(A)
 □ 最近閉じたフォームを含める(C) □ 既存のファイルに追加
書き出しまたい

「開く」ダイアログで結合するフォームデータを持つファイルを選択し、「開く」を クリックして追加します。

2 名前を付けて保存	—
	デスクトップの検索
整理 ▼ 新しいフォルダー	⊾= ⊌= ▼ ()
 ★ お気に入り ● ダウンロード ● デスクトップ 図 最近表示した場評 ● コンピューター ● システム フォルダー ● システム フォルダー ● システム フォルダー ● システム フォルダー 	
□ 「キュメント □ ビクチャ □ ビデオ ↓ ミュージック ▼	
ファイル名(<u>N</u>): Form.fdf ファイルの種類(<u>I</u>): PDF フォームデータファイル (*.fdf)	•
(▲ フォルダーの非表示	保存(S) キャンセル

別の方法として、最近閉じたフォームを含めるをチェックすることで、結合するファイルに追加することができます。リストに不要なファイルが登録される場合は、選択して書き出しするリストから削除してください。

複数フォームをシートに書き出し	×
ファイルを追加(A)	
Form.pdf	\otimes
Sample.pdf	\otimes
◎ 既存のファイルに追加	
書き出し	ZJU

- 既存のシートに書き出したフォームデータを追加するには、既存のファイルに追加 をチェックします。
- 「書き出し」をクリックして、名前を付けて保存ダイアログにて保存する CSV ファ イルの場所を指定します。

複数フォームをシートに書き出し	×
ファイルを追加(A)	
Form.pdf	8
Sample.pdf	8
 ✓ 最近閉じたフォームを含める(C) ■ 既存のファイルに追加 	1

6 名前を付けて保存	×
○○ - ■ デスクトップ ・	
整理 ▼ 新しいフォルダー	u= ▼ @
 ★ お気に入り ▶ ダウンロード ■ デスクトップ 型 最近表示した場評 	FoxiDapan システム フォルダー ・システム フォルダー ・システム フォルダー
 ⇒ ライブラリ № ドキュメント ➡ ピクチャ ➡ ビデオ ♪ ミュージック ・ 	
ファイル名(N): <mark>データソース.csv</mark> ファイルの種類(<u>T</u>): CSV ファイル(*.csv)	•
● フォルダーの非表示	保存(S) キャンセル

2Dバーコードの生成

Ultraforms テクノロジーを使用したフォームに対し、Foxit J-Reader は 2D バーコードの 作成をサポートしています。この機能によりフォームデータをスキャンして、読み取った データを手軽にデータベースに組み込むことも可能です。以下の手順を実行します:

- ファイルを開いて、フォームに入力します。
- 入力を完了して、(用意されていれば) 生成のボタンをクリックし、バーコードを生成します。
- ▶ 上書き保存ボタン をクリックして、フォームを保存します。
- ▶ (必要な場合) ファイル > 印刷 を選択し、バーコード生成されたフォーム情報を印刷して、スキャナーなどを使用してデータを読み取ります。



ノート:

- 現在、Foxit J-Reader は Ultraforms テクノロジーが統合されたフォームに対してのみ、
 2D バーコード生成をサポートしています。
- 2. 2D バーコードを生成するトリガーは、Ultraforms テクノロジーを利用してフォーム

を作成した作成者の設計に依存します。例えば、バーコード生成ボタンをクリックしてバーコードを生成するようにフォームが作成されているのであれば、ボタンをクリックして生成し、必要であれば印刷してスキャナーで読み取ることが可能です。

XFAフォームの署名の検証

Foxit J-Reader は、XFA フォームに配置された署名を検証することができます。PDF 上の署名をクリックするだけで、署名の検証ステータスを確認することができ、ポップアップウィンドウでプロパティを表示できます。

署名の検証ステータス	×	
✓ 署名は有効です。Sample <sample@sample.com> によって署名されました。</sample@sample.com>		
- この署名が適用されてから文書は変更されていません。		
- 現在のユーザーによって署名されています。		
署名のプロパティ キャン	セル	
第八章 – PDF の編集

Foxit J-Reader は PDF 文書に対する先進的な編集機能をいくつか備えています。しおりの作成、リンクの追加、ファイルの添付、画像の配置、マルチメディアファイルの追加や再生、JavaScriptの実行などを PDF ファイル上で行うことが出来ます。

しおりの追加

しおりは、PDF 文書を読みやすくするためのナビゲーションツールです。しおりは通常、 PDF 文書の生成時に自動的に設定されます。PDF 文書のしおりは、文書内の特定の場所 へのインタラクティブなリンクを提供しており、ユーザーは開きたいページのしおりをク リックするだけで、そのページを参照することが出来ます。

しおりは、PDF 文書の中の繰り返し参照したい場所をマークするのに非常に有効な方法 です。また、ユーザー独自のしおりの配置や、しおりの名称を設定することが出来ます。 Foxit J-Reader のしおり機能を使用すると、セキュリティ設定で許可されていれば、簡単 にしおりの階層追加、編集、そして削除等を行うことができます。

しおりの追加

- しおりからリンクしたいページを表示します。このとき、ズームインやズームアウト など、ページの調整を設定することも可能で、しおりからジャンプする際に、設定した 表示倍率等、調整後の状態に変更されます。
- 2. しおりを作成する際には、手のひらツール を選択します:
- 特定のページの任意の部分にしおりを設定する場合、しおりの対象の部分をウィンドウの中央に移動し、必要により画面の倍率等を調整します。
- 選択した任意のテキストに対してしおりを設定する場合は、テキスト選択ツール^{強計}を使用します。テキストを選択して右クリックメニューより「しおり」を選択、または Ctrl+B を押下して設定します。
- 新しいしおりを追加する位置の上に位置するしおりを選択します。既存のしおりを選 択しないで新しいしおりを追加すると、追加されたしおりはリストの最後に表示されま す。

Т



- しおりパネルにあるしおりの追加アイコン や をクリックするか、または、選択した しおり上で右クリックし、ポップアップメニューの「しおりを追加」を選択してくだ さい。
- 5. 追加したしおりの名称を編集して、Enterキーを押下します。

しおりの移動

移動したいしおりを選択し、以下のいずれかの操作を行います:

- 選択したしおりのアイコン をドラッグし、移動先でドロップします。この時、表示されたライントー・でしおりの移動先を確認してください。上のしおりと同じ階層に移動することも、上のしおりの一つ下の階層に移動する事も出来ます。
- 移動するしおりのアイコン 上で右クリックし、ポップアップメニューの「切り取り」を選択します。次に、移動先の上のしおりを右クリックし、ポップアップメニューの「選択したしおりの後に貼り付け」を選択すると、そのしおりと同じ階層の下の位置に移動されます。

ヒント:

1. しおりを移動した場合、しおりのリンク先は変わらず、しおりの位置だけが移動され ます。

2. Shift キーまたは Ctrl キーを押しながらしおりをクリックすることで複数のしおりを選 択できます。

しおりの配置の編集

しおりの階層構造は全体のアウトライン、もしくはあるしおりを別のしおりの下に配置し ている階層状の構造と言えます。そしてこれは、PDF ファイル中のしおりの全体像を表 示する効果的な方法でもあります。Foxit J-Reader では、しおりパネルの中のしおりアイ コンをドラッグ&ドロップすることにより、多階層のしおりを定義することが出来ます。 182 しおりのネスト

階層配置 (ネスト) するしおりを選択し、以下のいずれかの操作を行います:

- 選択したしおりのアイコン をドラッグし、上位の階層となるしおりの下でドロップします。このとき、ラインアイコントー・で移動先を確認してください。ドロップする位置により、上位のしおりと同じ階層に移動することもありますので注意してください。
- しおりのアイコン 上で右クリックし、ポップアップメニューの「切り取り」を選択します。次に、上位の階層となるしおりの上で右クリックし、ポップアップメニューの「選択したしおりの下に貼り付け」を選択します。このとき「選択したしおりの後に貼り付け」を選択すると、そのしおりは上位の階層とならず、同じ階層となります。

ノート: しおりのリンク先は変わらず、しおりだけが移動され、ネストした状態になります。

しおりをネストした位置から移動する

移動したいしおりを選択して以下のいずれかの操作を行います:

- 移動するしおりのアイコン
 をドラッグし、上位のしおりの隣でドロップします。
 このときラインアイコン▶--で、移動先の位置を確認してください。
- 移動するしおりのアイコン 上で右クリックし、ポップアップメニューの「切り取り」を選択します。次に、上位のしおりの上で右クリックし、ポップアップメニューの「選択したしおりの後に貼り付け」を選択します。

ノート:しおりのリンク先は変わらず、しおりの位置が移動されます。

しおりの展開と折りたたみ

- しおりアイコンの隣にあるプラスサイン (+) をクリックすると配下のしおりがすべて表示されます。マイナスサイン(-) をクリックすると、しおりのリストをたたみます。
- PDF 文書の開いているページに対するしおりを選択するには、ブックマークパネルの上部にある「選択しているしおりの展開」ボタン をクリックします。参照: 現在のしおりを展開する

しおりの編集

セキュリティの設定で許可されていれば、Foxit J-Reader を使用して、しおりの編集、変 更、移動を簡単に行えます。

しおりの名称変更

しおりパネルの中の、名称を変更したいしおりの上で、右クリックします。次に、ポップ アップメニューの「しおり名を変更」を選択し、新しい名前を入力します。

しおりのリンク先変更

以下のいずれかを実行します:

- PDF 文書の中で、新しくしおりのリンク先に設定したい場所に移動します。
- (オプション) 必要に応じて表示ページの拡大や縮小を設定します。
- ・しおりを右クリックし、ポップアップメニューの「移動先を設定」を選択します。

しおりの表示方法を変更する

しおりを設定した文字を読みやすくするため、フォントスタイルやフォントカラーを変更 することが出来ます。

- しおりパネルの中で、フォントスタイルを変更するしおりを選び、右クリックして、 ポップアップメニューの「プロパティ」を選択します。
- プロパティダイアログの中で、「表示方法」タブをクリックし、スタイルと色を選択します。

ノート: しおりのフォントスタイルを変更した後、そのしおりを右クリックし、ポップア ップメニューから「現在の表示方法を既定として使用」を選択することにより、変更後の 内容をしおりの既定に設定することが出来ます。

しおりにアクションを追加

しおりにアクションを設定して実行することも出来ます。例えば、ファイルを開く、メニ ュー項目の実行、フォームを送信する等です。

- 1. しおりを右クリックし、ポップアップメニューの「プロパティ」を選択します。
- 2. しおりのプロパティダイアログの中で、「アクション」タブをクリックします。
- 3. 「**アクションを選択」**コンボボックスのドロップダウンリストを開き、アクション を選択して「追加」ボタンをクリックします。その後以下の操作を行います:
- トリガーを選択 マウスボタンを放す等、アクションを開始するためのユーザーの

アクションを選択します。

- アクションを選択 「ページ表示に移動」、「ファイルを開く/実行する」、「Web リンクを開く」、「フィールドを表示/非表示」、「メニュー項目を実行」、「フォームを送信」、「フォームをリセット」、「フォームデータを読み込み」、そして「JavaScript を実行」の中から、イベント発生時のアクションを選択します。
 - A. ページ表示に移動 特定のページにジャンプします。現在表示している PDF の ページだけでなく、別の PDF のページも指定できます。また、ズーム設定や表 示位置も反映されます。

特定のページへのジャンプを設定するには、「ページ表示に移動」オプションを 選択して**「追加」**ボタンをクリックし、以下のいずれかの操作を行います:

- ◇ 現在の文書での位置の設定 文書をスクロールして、ジャンプ先として設定したい位置に移動します。そして、表示されている「ページ移動」ダイアログの「この位置に設定」ボタンをクリックします。
- ◇ 別の PDF 文書での位置の設定 ツールバーにある「開く」ボタン をクリック > ジャンプ先に設定する PDF を選択 > ジャンプ先に設定するページまでスクロールし、ページ内のポジションを決定 > 表示されている「ページ移動」ダイアログの「この位置に設定」ボタンをクリックします。

ノート:新しい PDF 文書は、別のウィンドウではなく、現在のウィンドウの中に開きます。

- ◆ 表示の拡大率を変更する -- 現在の文書または別の文書をスクロール > ジャン プ先に設定する位置に移動 > 移動先で拡大率を変更 > 表示されている「ペー ジ移動」ダイアログの「この位置に設定」ボタンをクリックします。
- B. ファイルを開く/実行する 別のファイルのオープンを設定します。この設定は、 以下の操作で行います:
- C. Web リンクを開く- Web リンクのオープンを設定します。操作は以下の通りで す:
- ◇ 「Web リンクを開く」を選択 > 「追加」ボタンをクリック > ダイアログで設 定する Web サイトの URL を入力します。
- D. フィールドを表示/非表示 「フィールドを表示/非表示」を選択 >「追加」ボタンをクリック > ダイアログで対象のフィールドの表示、または非表示を選択して「OK」ボタンをクリック、と操作します。

- E. メニュー項目を実行 「メニュー項目を実行」を選択 >「追加」ボタンをクリック > ダイアログで実行するメニュー項目を選び「OK」ボタンをクリック、と操作します。
- F. フォームを送信 「フォームを送信」を選択 >「追加」ボタンをクリック > ダ イアログで、送信の方法、書き出しの形式、対象のフィールドを設定して「OK」 ボタンをクリック、と操作します。
- G. フォームをリセット 「フォームをリセット]を選択 > 「追加」 ボタンをクリック > ダイアログでリセットするフィールドを選択して「OK」 ボタンをクリック、と操作します。
- H. フォームデータを取り込む 「フォームデータを取り込む」を選択 > 「追加」 ボタンをクリック > ダイアログで読み込む FDF ファイルを選択し、「開く」ボ タンをクリック、と操作します。
- JavaScript を実行 「JavaScript を実行」を選択 > 「追加」ボタンをクリック > ダイアログで JavaScript を入力して「OK」ボタンをクリック、と操作します。
- アクション 設定したアクションとトリガーが表示されます。
- 「上へ」ボタン、「下へ」ボタン トリガーの下に表示されているアクションの順 序を変更します (一つのトリガーに対して複数のアクションを設定している場合だ け有効になります)。
- 「編集」ボタン 選択したアクションのオプションを設定するダイアログが開きます。アクションリスト内のアクション名をダブルクリックしても、同じダイアログが 開きます。
- 「削除」ボタン 選択したアクションを削除します。

しおりの削除

しおりを削除するには、以下の操作のいずれかを行ってください:

- 削除したいしおりを選択し、しおりパネルの上にある「しおりの削除」ボタン^(※)を クリックします。
- 削除したいしおり上で右クリックし、ポップアップメニューの「削除」を選択します。

ヒント:

1. しおりを削除すると、そのしおりの下位のしおりも削除されます。

2. Shift キーまたは Ctrl キーを押しながらしおりをクリックすると複数選択することができ、一括で処理することできます。

リンクの追加

リンクを使用して、PDF ファイルの特定のページ、名前の付いている場所、外部のファ イル、そして Web サイト等へのリンクを設定することが出来ます。また、リンクを設定 186 する際、境界の太さ、境界のスタイル、境界の色等、表示方法を変更することも出来ます。 この機能は、読み手を関連する記事や、参照先、または外部の Web ページに導く手助け となります。

リンクの追加

リンクツールを使用して、PDF に長方形のリンクを追加することができます。

リンクを追加するには以下の操作を行ってください:

- ホーム > リンク > リンクツール⁴⁶を選択します。
- リンクを追加する位置にカーソルを移動し、マウスボタンをホールド、ドラッグして、
 四角形を描きます。

ヒント: Shift キーを押下しながらマウスボタンのホールド、ドラッグを行うと、正方形を描くことが出来ます。

- リンクの作成ダイアログが開きますので、ダイアログの中の「リンクの表示方法」と
 「リンクアクション」の内容を設定します。
- > リンクの表示方法
 - A. 太さ 四角形の四つの辺の太さを表します。値が大きくなるほど辺は太くなり ます。0から12までの範囲で指定可能で、既定値は1です。
 - B. スタイル 四角形の境界のスタイルを表します。以下の三つのタイプのスタイ ルがあります:

 実線:実線で、くぼみはありません。

 破線:境界線が破線で描かれます。

 下線:下線部分以外は見えません。

 実線
 確線

 下線

境界線のスタイル

C. ハイライトのスタイル – リンクをクリックした時の効果です。以下の 4 種類の 効果があります:

なし: リンクの外観は変わりません。 反転: リンクの色が反対色に変わります。 アウトライン: リンクの枠の色が反対色に変わります。



ハイライトのスタイル

D. 色 – 四角形の境界線の色を表します。色のボタンをクリックして既存の色を選 択するか、または「その他の色」をクリックして任意の色を作成します。既定の 色は赤です。



色の選択

> リンクアクション

リンク先はあらゆる場所に設定できます。例えば、Web ページ、ファイル等です。 ここでは4つの選択肢があります:

A. ページビューに移動 – 特定のページへのリンクを示します。開いている PDF の ページだけでなく、別の PDF のページへのリンクも設定できます。ズーム設定や表 示位置も反映されます。

ページにリンクするには、このオプションを選択し、リンクの作成ダイアログの「次 へ」ボタンをクリックして、以下のいずれかの操作を行います:

- ◆ 現在表示中の文書内でリンク先を設定する 文書をスクロールして、リンクを 設定する場所に移動し、ページ移動ダイアログの「この位置に設定」ボタンをク リックします。
- ◇ 別の PDF 文書のページをリンク先に設定する ツールバーの「開く」ボタン

をクリックし、リンク先に設定したい PDF 文書を選択して、開いた PDF 文書を 目的の位置までスクロールします。次に、ページ移動ダイアログの「この位置に 設定」ボタンをクリックします。 **ノート:**新しく開く PDF 文書は、同じウィンドウ内に開く必要があります。別のウィンドウで開いた場合は設定できません。

- ◇ ビューの表示倍率変更 -- 現在の文書、または別の文書内でスクロール > リン ク先に設定する位置に移動 > 移動した位置で表示倍率を変更 > ダイアログの 「この位置に設定」ボタンをクリック、と操作します。

B. 名称を付けた位置に移動 – 現在の文書の作成者が名前を付けた位置にリンクを 設定します。

名称の付いた位置に移動するには、このオプションを選択して、ダイアログの「次へ」 ボタンをクリックします。次に、ポップアップしたリストの中から目的の位置を選択 して「OK」をクリックします。

ノート: 文書の作成者が名前の付いた場所を設定していない場合、『現在の文書には 利用可能な名称の付いた位置がありません!…』、というメッセージが開きます。

C. ファイルを開く/実行する – リンクに関連付けた他のファイルを開きます。この 設定は、以下の操作で行ってください:

D. Web ページを開く – Web ページのオープンを関連付けます。以下の手順で行います:

- ◇ 「Web ページを開く」を選択 > 「次へ」ボタンをクリック > ダイアログで、 オープンする Web ページの URL を入力するか、ドロップダウンリストを開き、 以前オープンした Web ページのリストから URL を選択、と操作します。
- E. その他 (アクションプロパティページを使用) リンクにアクションを追加しま す。詳細は、しおりにアクションを追加 を参照してください。

リンクの移動とリサイズ

作成したリンクは移動やリサイズが可能です。

- リンクツール、または、注釈選択ツール ぶ を選択します。次に、対象のリンクを クリックして選択します。
- 以下のいずれかの操作をおこないます:
 A. 移動するには、目的の場所までリンクをドラッグします。
 B. リサイズは、リンクの周囲に表示されているハンドルをドラッグして調整します。

リンクの削除

- リンクツール、または、注釈選択ツール ※ を選択し、ポインタを対象のリンクの上に移動します。
- 削除するリンクを選択します。
- Delete キーを押下します。

ファイルの添付

PDF ファイルやその他の種類のファイルを PDF に添付することが出来ます。ファイルを 添付した PDF ファイルを別の場所に移動すると、添付ファイルも一緒に移動します。ま た、添付ファイルは親文書からのリンクや親文書へのリンク、そして別の添付ファイルを 含むこともあります。

ファイルの添付には二つの方法があります:一つはページに注釈としてファイルを添付 する方法で、もうひとつは文書へのファイルの添付です。注釈としてファイルを添付する と、既定の設定では、ファイル添付アイコン 「 がページ上に表示されます。そして、 ファイル添付アイコンをクリックするまで、添付したファイルは見えなくなります。

注釈としてファイルを追加

以下の手順を実行します:

- ・ 注釈 > 添付 > 添付 [→] を選択します。
- 注釈としてファイルを添付する場所にポインタを移動し、選択した場所をクリックします。
- 開くダイアログで添付するファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。

ノート: EXE ファイルなど特定の形式のファイルを添付しようとすると、Foxit J-Reader は、セキュリティ上の問題により、ファイルの添付が拒否されたことを示すメッセージを 開きます。

• 配置した場所に、ファイル添付アイコン ポ が表示されます。

注釈として添付したファイルの操作

添付ファイルに対しては、ファイルを開く、説明を加える、そして移動や削除などの操作 を行うことが出来ます。 添付ファイルを開く

手のひらツール³⁰、注釈選択ツール³¹、または注釈としてのファイル添付ボタン³¹を 選択し、以下の操作をおこないます:

- ファイル添付アイコン⁴をダブルクリックします。
- 添付ファイルを開くダイアログを開き、オプションを選択して「OK」をクリックします。

添付ファイルを開く	×
この添付ファイルはコンピューターに損害を与える可能性があります のみ、このファイルを開いてください。このファイルを開きますか:	「。安全なファイルだと確信できる場合
◎ この添付ファイルを開く	
◎ この形式の添付ファイルは常に開く	
◎ この形式の添付ファイルは常に開かない	
	ОК + १>セル

「添付ファイルを開く」ダイアログ

- A. 添付ファイルを開く 該当の添付ファイルを開きます。また次回以降、ファイ ル添付アイコンがダブルクリックされたときは常にこのダイアログを開きます。
- B. この形式の添付ファイルは常に開く 該当の添付ファイルを開きます。また次回以降、ファイル添付アイコンがダブルクリックされたとき、同じ種類の添付ファイルであれば、ダイアログを表示せず自動的に開きます。
- C. この種類の添付ファイルは常に開かない このタイプの添付ファイルのオープ ンは禁止します。ファイル添付アイコンをダブルクリックした時、添付ファイル が同じタイプであればオープンせず、『セキュリティ上の問題により添付ファイ ルを開けない』というメッセージを開きます。

参照: セキュリティの設定

• PDF を保存します。

ファイル添付アイコンを移動する

手のひらツール¹⁰、注釈選択ツール¹⁰、または注釈としてのファイル添付ボタン¹⁰を 選択し、対象のファイル添付アイコンをクリックして移動先までドラッグします。

注釈としての添付ファイルを削除する

● 手のひらツール¹⁸、注釈選択ツール³⁸、または注釈としてのファイル添付ボタン³⁰を 選択し、以下のいずれかの操作を行います:

- ファイル添付アイコン を右クリックし、ポップアップメニューの「削除」を選択します。
- ファイル添付アイコンをクリックして選択し、Delete キーを押下します。

注釈としての添付ファイルの他のオプション

注釈としての添付ファイルに対しても他のコメントと同じように、「ステータスを設定」、 「チェックを付ける」、「返信」、そしてアイコンを変更することが出来ます。各操作につ いては、<u>第五章 – 注釈</u>を参照してください。

ファイルの追加

以下を実行します:

- 表示 > 表示設定 > ナビゲーションパネル > 添付ファイル、と操作して添付ファイ ルパネルを開き、アイコン をクリックします。
- 添付ファイルダイアログにて、「ファイルを追加」をクリックして「ファイルを追加」
 または「フォルダーを追加」を選択します。
 - 「ファイルを追加」を選択した場合は、開くダイアログでファイルを選択して「開く」をクリックします。
 - 「フォルダーを追加」を選択した場合は、フォルダーの参照ダイアログでフォル ダーを選択して「OK」をクリックします。
- 添付ファイルダイアログの「OK」をクリックすると、選択されたファイルが現在の PDF 文書に添付されます。

約ファイル			X
ファイルを追加			
以下のリストに、文書に添 追加の指定が完了したら「	付するファイルを追加します。 「OK」をクリックしてください。		
ファイル名	ファイルパス		
📓 Sample.pdf	C:¥test		
		ОК	キャンセル

• 文書を保存して、ファイルの追加を完了します。

別の方法として、Foxit J-Reader は以下の手順でドラッグ&ドロップによるファイルの添付をサポートしています:

- 表示 > 表示設定 > ナビゲーションパネル > 添付ファイル を選択して、添付ファ イルパネルを表示します。
- 添付ファイルパネルに対象のファイルをドラッグ&ドロップします。複数ファイルを ドラッグ&ドロップして現在の PDF ファイルに添付することも可能です。
- Foxit J-Reader はポップアップウィンドウを表示して、現在の PDF に添付するファ イルの確認を行います。「OK」をクリックして操作を完了します。添付ファイルパネ ルに添付したファイルを常に添付するオプションにチェックすることで、次回から 添付ファイルパネルにドラッグ&ドロップしたファイルを直接添付することが可能 です。

Foxit Reader		×
次のファイルを添付してよろしいですか:名称未設定.pdf		
C:¥test¥Sample.pdf C:¥test¥Test.pdf		
■添付ファイルパネルにドラッグしたファイルを常に添付する		
	ОК	キャンセル

添付ファイルの操作

PDF にファイルが添付されている場合は、添付ファイルパネルのアイコンに赤い点が表示されます。添付ファイルパネルでは、添付ファイルを開く、保存する、削除する、そして設定の変更を行うことできます。

	添付ファイル		₩ 4
	🗁 🗄 🔓	D 🖬 🖬	
	名称	説明	サイス
	Foxit Reader		1 ME
	SharePoint C		331
	Web Service		1 ME
$ \blacksquare $			
ł			
Ø			
0			

添付ファイルパネル

添付ファイルパネルには、以下のようなオプションがあります:

添付ファイルを開く 🗁- 選択した添付ファイルを開きます。

添付ファイルを保存 当– 選択した添付ファイルを新しいファイルとして保存します。 ファイルを添付 कि− 現在の PDF ファイルに添付ファイル、またはフォルダーを追加し ます。

説明を編集 🔎 選択した添付ファイルの説明を編集します。

説明 🔓 – 添付ファイルを開くときのセキュリティ設定を変更します。詳しくは、<u>セキュ</u> <u>リティの設定</u>を参照してください。

添付ファイルを削除 00- 選択した添付ファイルを削除します。

添付ファイルを開く

- 表示 > 表示設定 > ナビゲーションパネル > 添付ファイル を選択して、添付ファ イルパネルを開きます。
- 対象の添付ファイルを選択 > 添付ファイルパネルにある、添付ファイルを開くボタン
 をクリックします。

ノート:一度に一つの添付ファイルのみ選択できます。

添付ファイルの保存

このオプションを使用すると、添付ファイルを別のファイルとして保存できます。

- 表示 > 表示設定 > ナビゲーションパネル > 添付ファイル、と操作して添付ファイルパネルを開きます。
- 添付ファイルを一つ選び、添付ファイルパネルの「添付ファイルを保存」ボタンをクリックします。

ダイアログで保存先を選択し、ファイル名を入力して、保存ボタン をクリックします。

添付ファイルの削除

- 表示 > 表示設定 > ナビゲーションパネル > 添付ファイル、と操作して添付ファイ ルパネルを開きます。
- 添付ファイルを一つ選び、添付ファイルパネルの添付ファイルを削除ボタン
 リックします。

セキュリティの設定

添付ファイルのセキュリティ設定を変更するには、表示 > 表示設定 > ナビゲーション パネル > 添付ファイル、と操作し、添付ファイルパネルを開きます。次に、添付ファイ ルパネルの「設定」ボタンをクリックし、以下のいずれかの操作を行います:

- セキュリティを設定する新しい拡張子を追加する場合は、セキュリティ設定ダイアログの「追加」ボタンをクリックし、ファイルの拡張子を入力して「OK」をクリックします。
- 設定した拡張子を削除する場合は、表示されている拡張子を選択し、「削除」ボタン をクリックします。

画像を配置

PDF 文書の任意の場所に四角形を設定し、画像を挿入することが出来ます。この機能は、 ダイナミックに説明を追加する場合や、何か補足情報を表示する場合に有効です。例えば、 読んでいる記事内容に何か説明が必要で、画像で示すことが最適な場合などが挙げられま す。画像の配置は Foxit J-Reader の画像注釈ツールで行います。

画像の追加

PDF への画像の追加は、画像注釈ツール で行います。PDF 文書に画像を挿入した後、 サイズや位置の調整、表示の変更、その他の設定を行うことが出来ます。

画像の追加は以下の操作を実行します:

- ホーム > 挿入 > 画像注釈↓ を選択します。
- ドラッグして四角形を作成し、画像を追加するキャンバスを作成します。
- 画像を挿入ダイアログで「参照」ボタンをクリックし、挿入する画像を選択して「開く」ボタンをクリックします。場所フィールドには画像の URL が表示されます。
- (オプション)間違った画像を選択した場合は、「参照」ボタンを再度クリックし、正しい画像を選択します。
- 「詳細設定」ボタンをクリックして、画像の設定を編集します。

195

画像の調整	×
サイズ調整時(W): (常に調整 ▼
スケール(S):	プロポーショナル 🗸
境界線	画像 (50,50)
境界線の中に画像 調整ができます。	をはめ込むことにより、配置する画像の
リセット(R)	OK キャンセル

画像を挿入ダイアログ

- A. サイズ調整時 画像サイズの変更方法を、以下の4つのオプションから選択します:
 - a) 常に調整: 画像の追加時に描いた四角形にフィットするサイズに設定します。
 - b) 大きすぎる場合: 画像のサイズが四角形の枠に比べて大きい場合は、枠にフィット するように縮小し、それ以外の時はオリジナルのサイズで表示します。
 - c) 小さすぎる場合: 画像のサイズが四角形の枠に比べて小さい場合は、枠にフィット するように拡大し、それ以外の時はオリジナルのサイズで表示します。
 - d) 調整しない: 画像のサイズは変更せず、常にオリジナルのサイズで表示します。
- B. スケール 「ノンプロポーショナル」、または「プロポーショナル」から選択します。 このオプションは「サイズ調整時」で、「**調整しない」**を選択した場合には無効です。
 - a) ノンプロポーショナル:四角形のサイズが変わった時、四角形にフィットするよう
 にサイズを変更します。
 - b) プロポーショナル: 四角形のサイズが変わった時、画像の縦横の比率を維持しなが らサイズを変更します。
- C. 境界線 ドラッグしてスクロールバーを移動します。この操作で、四角形の中のイ メージの位置を変更します。
- 画像の調整ダイアログの「OK」ボタンをクリックし、変更結果を確認します。またここで「リセット」ボタンをクリックして、オリジナルの設定に戻すことも出来ます。
- 回転のオプションを選択し、画像の回転角度を設定できます。
- 「OK」をクリックします。

画像の移動とリサイズ

画像を挿入した後、移動やリサイズが出来ます。

画像の移動

- 注釈選択 ※ ツール、または画像注釈ツール を選択して、ポインタを対象画像の上に移動します。
- 画像をクリックして、任意の位置にドラッグします。

画像のリサイズ

- 注釈選択ツール 、または画像注釈ツール を選択して、ポインタを対象画像の上に移動し、クリックします。
- カーソルをいずれかのポイント上に置くと、カーソルの形がリサイズ可能な方向を示 す矢印に変わります。



画像のリサイズ

 カーソルを四角形の外に向けてドラッグすると四角形は大きくなり、内側に向けてド ラッグすると四角形は小さくなります。

画像のプロパティ設定

- 画像をダブルクリックするか、または右クリックしてポップアップメニューの「プロ パティ」を選択します。
- 「設定」タブについては、画像の追加を参照してください。
- 「表示方法」タブについては以下のいずれかの操作を行ってください:
 - A. 注釈を非表示 このオプションを選択すると、挿入した画像を隠します。また、 選択しない状態にすると PDF コンテンツ上に画像が表示されます。
 - B. 境界線 四角形の境界線の幅、スタイル、そして色を変更します。

幅:境界線を表示しない、または境界線の太さを選択します。「境界線なし」を選

197

択すると、「スタイル」、および「色」は設定できません。

スタイル:境界線の種類を設定します。「実線」と「破線」から選択できます。 色:境界線の色を変更します。「色」ボタンをクリックし、既存の色から選択する か、または「その他のカラー」をクリックして色を作成します。

• (オプション)「ロック」を選択して、設定した内容が誤って変更されるのを防ぎます。

画像の削除

- 注釈選択ツール 、、または画像注釈ツール を選択して、ポインタを対象画像の上に移動します。
- 画像を右クリックして、ポップアップメニューの「**削除」**を選択します。

複数の画像に対する操作

複数の画像を選択

- 注釈選択ツール 🐺 、または画像注釈ツール 💷 を選択します。
- Shift キー、または Ctrl キーを押しながら、選択する画像をクリックします。

画像の整列

選択した画像を左、右、上、または下の各境界、または垂直軸、水平軸を基準として整列 することが出来ます。一つの画像をアンカーイメージとして選択し、残りの画像はアンカ ーイメージの左端、右端、垂直方向の中心、もしくは上端、下端、水平方向の中心を基準 として整列させます。

1. 配置タブを使用した画像の整列

 \mathbf{x}

- 注釈選択ツール 🧱 、または画像注釈ツール 🖷 を選択します。
- 画像をクリックすると、配置タブが表示されます。

ファイル	ホーム	注釈	表示	フォーム	保護	共有	ヘルプ	配置
重重直	重垂直	■右	을 垂直					
┝∎┥水平	⊪ 水平	□上	┉水平					
📄 両方	■ 左	∣下						
中央揃え	整列		分布					

● 以降の手順は、<u>配置タブを使用した計測マークアップの再配置</u>を参照してください。

2. 右クリックメニューを使用した画像の整列

- ●アンカーイメージとする画像を選択して以下の操作を実行します:
 - ▶ アンカーイメージを右クリックして、以下の整列のコマンドを選択します:
 - A. 垂直方向に整列するには、ポップアップメニューより、整列 > 左揃え、右揃え、 または 垂直 を選択します。左揃え、または 右揃えの場合、画像の左端、また は画像の右端を基準に垂直方向に整列されます。垂直を選択した場合、画像の中 心線が、垂直軸上の同じ位置に移動します。
 - B. 水平方向に整列するには、ポップアップメニューより、整列 > 上揃え、下揃え、 または 水平 を選択します。上揃え、または下揃えの場合、画像の上端、または 画像の下端を基準に水平方向に整列されます。水平を選択した場合、画像の中心 が水平軸上の同じ位置に移動します。

ノート:整列のコマンドは、アンカーイメージ以外の画像を、アンカーイメージの端に合わせて整列するよう移動します。

整列の例:



• 画像のセンタリング:

▶画像をページの垂直方向中央に配置するには、中央 > 垂直 を選択します。
▶画像をページの水平方向中央に配置するには、中央 > 水平 を選択します。

▶ 画像をページの中心に配置するには、中央 > 両方 を選択します。

199

センタリングの例:



A. 画像を二つ選択します。二つの画像で構成された領域を示したのが左図の赤い四角形になります。

	🛢 🛁 🖨 🖨 🖂	1000:			Post	Readers D. Manua	ptf * - Foot Read	e .			11 - B	- 12
	TEL: HOME	COMMENT	VEW FOR	M PROTECT	SHARE HELP				3	fiel g	P 🛛 • 🕦	0.4
	C Hand Ta Select Text Select Annotation Finale	Cliptoerd *		Ange C), 50.00% Ange E Rotate C Ange E Rotate R Ange E Rotate R	et Types	ter Tate U Convert	Ingelight Solwood Undefine Rie	Fb From Scamer *	North Sign.	Doolenank	Tie Attochment	
	Untildad	• Y	Fontheaders 0,3	w here								
0 4 -	19							-				
	6											
	*							- 11				
								1				1

B. 画像を右クリックして、中央
 > 垂直 を選択します。赤い
 四角形の領域が垂直方向中
 央に配置されます。

画像の均等配置:

この機能は三つ以上の画像を選択したときに利用可能です。

- 最上部の画像から最下部の画像までを等間隔に配置するには、選択した画像を右クリックし、メニューから、分布 > 垂直、と操作します。
- 左端の画像から右端の画像まで等間隔に配置するには、選択した画像を右クリックし、 メニューから、分布 > 水平、と操作します。





A. 画像 A、B、C を選択します。
 A は最上段、C は最下段の画像です。



画像のリサイズ

複数の画像を同じ高さ、同じ幅、あるいは両方が同じ状態に調整することが出来ます。画像の一つをアンカーイメージとして選択し、他の画像の高さ、あるいは幅をアンカーイメ ージのサイズに統一します。

画像のリサイズの例:



複数画像のプロパティ設定

- 複数の画像を選択 > 選択した画像の一つを右クリック > プロパティ を選択します。
- ダイアログの「表示方法」タブが開きます。以降の操作は、<u>画像のプロパティ設定</u>を 参照してください。

マルチメディアの追加

Foxit J-Reader では、PDF ファイル上でのマルチメディアの再生だけでなく、PDF ファ イルに対するマルチメディアファイルの貼り付けや、貼り付けたマルチメディアの編集も 可能です。Foxit J-Reader を使用すると、ムービーやサウンドを PDF ファイルに追加す ることができます。

Foxit J-Reader のビデオ、サウンドツールは、PDF 文書にムービーやサウンドを追加し、 PDF ファイルにおけるマルチメディアの体験を生み出します。ムービーやサウンドを PDF ファイルに追加することは、画像の配置と同様、簡単におこなうことができます。 「ムービー」とは、AVI、QuickTime、そして MPEG などの形式のファイルで、拡張子 が、.avi、.wmv、.mov、.qt、.mpg、そして.mpeg のファイルです。アニメーション GIF ファイルの拡張子は.gif で、サウンドは midi、wav、そして mp3 形式のファイルを指しま す。

ユーザーの環境設定が変化しても再生できるように、異なる演出のムービーを提供することができます。例えば、低速のインターネット回線を使用しているユーザーのために、低 解像度での演出を含める、というような設定が可能です。

ノート: 有効なメディアハンドラーがないと言う意味のメッセージが表示された場合、 PDF にクリップを追加する前に、適切なプレイヤーをインストールしなくてはなりません。例えば、PDF に MOV ファイルを組み込む場合は、QuickTime をインストールする 必要があります。

ムービーやサウンドの追加

1. ホーム > **挿入 > ビデオとサウンド ^{--- ビデオとサウンド}**を選択します。

- マウスボタンを押し、そのままドラッグしてムービーやサウンドを挿入するエリアを 設定します。ムービーが再生されるエリアは、ムービーのフレーム内となります。
- 3. マルチメディアの追加ダイアログが開き、以下のようなオプションを設定できます:
- 場所:「参照」ボタンをクリックして挿入するムービーファイルを選択します。
- コンテンツの種類: 挿入したメディアの形式が自動的に選択されます。しかし、任意のメディア形式を選択することもできます。ただ、メディア形式を変更した場合は、 再生時に何か問題が発生するかもしれませんのでご注意ください。
- 文書にコンテンツを埋め込み: PDF ファイルにメディアファイルを取り込みます。このオプションは PDF ファイルのサイズを増やします。そしてデフォルトの状態では選択されていますが、選択を解除した場合、別のコンピューターで PDF ファイルを開いても、ムービーを再生することはできません。
- ポスター画像の設定:ムービーを再生していない時に、再生エリアにポスター画像を 表示することができます。「ポスター画像を使用しない」、または「ファイルからポス ター画像を作成」の二つのオプションから選択できます。

プレイエリアの編集

ムービーやサウンドクリップを追加した後、プレイエリアの移動、リサイズ、そして削除 が簡単に行えます。

- 注釈選択ツール ³/³/³
 、またはビデオとサウンドツール ^{10 ビデオとサウンド}を選択し、対象の プレイアリアをクリックします。
- クリップの移動は、マウスの左ボタンを押したままクリップをドラッグし、移動先 でドロップします。
- クリップのリサイズは、カーソルをクリップの任意のコーナーに移動し、ポインタ がリサイズ可能な方向を示す矢印に変わった時に、クリックしてお好みのサイズに なるまでドラッグします。Shift キーを押しながらドラッグすると、クリップの縦横 の比率を維持したままリサイズできます。
- クリップを削除するには、そのクリップを選択して Delete キーを押下するか、また はクリップを右クリック > 削除、と操作します。
- 複数クリップを整列、センタリング、均等配置、サイズ調整するには、<u>複数の画像</u>
 に対する操作
 を参考にしてください。

マルチメディアのプロパティ設定

Foxit J-Reader は、ムービーのプレイエリアの表示方法の変更や、ムービーを一度だけ再 生するか繰り返して再生するかといった再生方法の設定、そしてその他の設定することが できます。

マルチメディアのプロパティを設定するには、以下の操作を行ってください:

- ビデオとサウンドツール^{□ ビデオとサウンド}、または注釈選択ツール[●] を選択します。
- プレイエリアをダブルクリックするか、または右クリックしてポップアップメニューより「プロパティ」を選択します。

「設定」タブや「表示方法」タブ、「アクション」タブのある、ビデオとサウンドのプロ パティダイアログが開きます。以下の二つのアイテムはすべてのタブに共通です:

- ロック このオプションを選択すると、マルチメディアのすべてのプロパティに対する変更を禁止します。
- 閉じる 現在のプロパティを適用して保存し、ビデオとサウンドのプロパティダイ アログを閉じます。

ノート:「ロック」オプションはどのタブで設定しても、設定したタブだけでなく、マル
 チメディアファイルに対するすべてのオプションをロックします。

1. 「設定」タブ

「設定」タブには以下のようなオプションがあります:

 注釈のタイトル – ビデオやサウンドのタイトルを入力します。このタイトルは、再 生するマルチメディアファイルを決定するものではありません。

- 代替テキスト メディアファイルの説明等を入力します。
- レンディション ユーザーがそれぞれのシステムでムービーやサウンドを最適に 再生できるよう、再生方法を変更することができます。
 - A. イベントのレンディション一覧 「マウスボタンを放す」がデフォルトの設定となっていますが、異なるレンディションと異なるアクションを組み合わせて設定することができます。「マウスボタンを放す」とは、マウスボタンがクリックされてリリースされたときに再生が始まると言うことを指しています。
 - B. 追加 -ファイルを使用、URL を使用、既存のレンディションからコピー の三つの方法があります。
 - C. 編集 –「編集」ボタンをクリックすると、「レンディションを設定」ダイアログが 開きます。このダイアログでは、別のレンディションと区別するため、再生する場 所やその他の設定を行うことができます。

メディアの設定 – ムービーやサウンドクリップのための一般的なプロパティ設定を行います:

- レンディション名:レンディションにつける名前を入力します。この名前は、「ビデオとサウンドのプロパティ」ダイアログのレンディションリストに表示されます(この名前は、再生するメディアファイルの名前を決めるものではありません)。
- メディアクリップの場所:再生するメディアファイルの場所を設定します。直接入力もできますし、「参照…」ボタンをクリックして選択することもできます。
- コンテンツの種類:メディアクリップの場所を指定すると自動的に選択されます。
 変更することは可能ですが、変更によりメディアの再生に問題が発生する可能性があります。
- **文書にコンテンツを埋め込み:** PDF ファイルにメディアファイルを組み込みます。
 この設定により PDF ファイルのサイズが大きくなります。この設定は、デフォルト
 では選択された状態になっています。選択解除すると、別のコンピューターで該当
 PDF ファイルを開いた場合、メディアは再生できません。
- レンディションの代替テキスト:レンディションの説明を入力します。
- 一時ファイルを許可:メディアプレイヤーに対して一時ファイルの使用を許可する か、それとも許可しないかを設定します。メディアプレイヤーの中には、ムービー やサウンドクリップを再生する際に一時ファイルを使用するものがあります。ドキ ュメント内のメディアコンテンツを簡単にコピーできないようにする場合、一時フ ァイルの生成を禁止することができます。しかしその設定によって、一時ファイル の使用を必要とするメディアプレイヤーでのムービー再生を禁止することになりま す。

再生設定 – このタブではムービーやサウンドクリップをどのように再生するかを設定します:

- 開いたプレイヤーの保持: ムービーやサウンドクリップの再生が終了した際にプレイヤーを閉じるか、それとも開いたままにするのか、いずれかを設定します。
- ボリューム:ムービーを再生する際の音量を設定します。

- プレイヤーのコントロールを表示:再生を行う際、メディアプレイヤーのコントロールバーをプレイエリアの下に表示します。ユーザーは、停止、一時停止、再生など、メディアプレイヤーの想定される機能を使用することができます。
- リピート:二回以上任意の回数繰り返し、または継続して繰り返し、を設定することができます。
- プレイヤーリスト:「追加」ボタンをクリックしてプレイヤーと、ムービーやサウンドクリップを再生する際に、「必須」、「優先」、または「許可しない」のいずれかの設定を行います。プレイヤーの名称とステータスを選択しますが、複数のプレイヤーに対して「必須」と設定しても、一つのプレイヤーだけが再生に使用されます。プレイヤーのステータスを「優先」に設定すると、推奨でないプレイヤーよりも優先的に使用されますが、「必須」より優先されることはありません。プレイヤーのステータスを「許可しない」に設定すると、そのプレイヤーは再生には使用されません。
- 追加/編集/削除ボタン: プレイヤーリストに新しいプレイヤーを追加できます。また同様に、プレイヤーリスト内の選択したプレイヤーを編集、削除できます。

再生場所 – ムービーやサウンドクリップを PDF ページの中で再生するのか、再生中も 表示しないのか (サウンドクリップの場合は推奨)、フローティングウィンドウを開いて 再生するのか、それともフルスクリーンで再生するのか設定します。なお、「フローティ ングウィンドウの設定」は、「再生場所」で「フローティングウィンドウに再生」を選択 した場合のみ有効です。

- **再生場所**:ムービーやサウンドクリップを再生する場所を選択します。
- 背景色:メディアプレイヤーの背景色を設定します。
- タイトルバーを表示: フローティングウィンドウでメディアを再生する際、ウィンドウのタイトルバーを表示するか、表示しないかを選択します。
- ウィンドウを閉じるボタンを表示:フローティングウィンドウの右上に、閉じるボタンを表示するか、それとも表示しないかを選択します。
- タイトルテキスト:メディアのタイトルを設定します。このタイトルは、フローティングウィンドウで再生する場合に、タイトルバーに表示されます。
- リサイズ:フローティングウィンドウのリサイズを許可するか、それとも禁止する かを設定します。選択肢は次の三つがあります:すなわち「ユーザーにウィンドウ サイズの変更を許可しない」、「ユーザーにウィンドウサイズの変更を許可するが、 元に縦横比は維持」、そして「ユーザーにウィンドウサイズの変更を許可」です。
- ウィンドウの位置:ドキュメントウィンドウ、アプリケーションウィンドウ、バー チャルデスクトップ、またはモニターに対してどの位置にフローティングウィンド ウを開くのか設定します。
- 幅/高さ:フローティングウィンドウの幅と高さを設定します。
- ウィンドウが映らない場合: フローティングウィンドウがスクリーンに表示されていない場合の動きを、次の選択肢から選びます。選択肢は「常時再生」、「最前面で再生」、そして「再生しない」の三つです。
- 2. 「表示方法」タブ

「表示方法」タブには以下のようなオプションがあります:

- 注釈を非表示 設定したメディアファイルを見えなくする場合にチェックします。
 また、PDF ファイルのコンテンツの上にメディアファイルを重ねて配置する場合は
 このオプションのチェックをはずします。
- 境界線 メディアファイル周囲の境界線について、幅、スタイル、および色を設定します。
 - A. 幅 境界線なし、または境界線の幅を選択します。
 - B. スタイル 境界線のスタイルを選択します。実線と破線が選択可能です。
 - C. 色 境界線の色を変更します。「色」ボタンをクリックして、既存の色から任意 のものを選択するか、「その他のカラー」をクリックして任意の色を作成します。
 - D. ポスター画像の変更 ポスター画像を使用しないか、メディアファイルのための ポスターを設定するか選択します。
- 3. 「アクション」タブ

しおりにアクションを追加 を参照してください。

第九章 - ConnectedPDF

Foxit ConnectedPDF は ConnectedPDF クラウドサービスを使用して各 PDF に ID を割り 当て、PDF の作成や配布、編集などのイベントをトラッキングできます。ConnectedPDF 文書がどこにあっても、いくつ配布されても、変更を加えられても問題ありません。文書 の所有者はいつでもリアルタイムで文書をトラッキングすることができ、関係する閲覧者 とコラボレーションができます。通常の PDF とは異なり ConnectedPDF はそれぞれの 場所のファイルやユーザーを繋ぎ、動的に機能します。

Foxit J-Reader のツールバーにある Connect タブには、ConnectedPDF ファイルの作成 や、新規バージョンを登録するといったパワフルで使いやすいツールが用意されています。 また別途サーバーを用意ぜずともいつでもどこでも利用できる、ConnectedPDF を使用 した共有レビューに参加もできます。以下の機能を利用できます。

- 通常の PDF を Connected PDF に変換
- 他の形式から PDF を作成するときに Connected PDF として作成
- cPDF 文書へのアクセスを記録
- 文書のホームページで使用データを表示
- 新しいバージョンの cPDF 文書の登録とアップロード
- アクセス許可の設定
- 文書のアクセス許可を動的に承認、撤回
- 文書のアクセス許可のリクエストと許可設定の変更を動的にサポート
- 共有フォルダーやサーバーを必要としない Connected 機能による共有レビュー
- 文書の検索とファイルのリクエスト機能

ConnectedPDF の詳細は、ConnectedPDF ユーザーマニュアルを参照してください。

第十章 – 印刷

印刷とは、テキストや画像をプリンターに出力して再現するプロセスです。役に立つ記事 を見つけた時や PDF フォームをデザインした時、インクジェットプリンターやレーザー プリンターに送って任意のサイズで印刷する必要が生じるかも知れません。このセクショ ンでは、目的の印刷結果を得るための、印刷ダイアログボックスでの設定方法を知ること が出来ます。

PDF 文書の印刷方法

- 1. プリンターが正常にインストールされていることを確認してください。
- ツールバーの印刷ボタン 参 をクリックする、またはファイルメニューより印刷を 選択してください。
- 出力するプリンターやプロッターを選択し、印刷範囲、印刷する部数、その他のオプションを設定します。
- 4. 「**OK」**をクリックして印刷します。

ページの一部を印刷する

ページの一部を印刷する場合は、スナップショットツール ^{(回 スナップショット}を使用します。

- ホーム > ツール > スナップショット^{回スナップショット}を選択します。
- ドラッグして印刷するエリアを選択します。
- 選択したエリアで右クリックし、ポップアップメニューの「印刷」を選択して、印
 刷ダイアログを操作します。

指定のページまたはセクションを印刷

Foxit J-Reader はしおりに関連付けされているページやセクションをしおりパネルから 直接印刷することができます。以下の手順で実行します:

- 非表示であれば、表示 > 表示設定 > ナビゲーションパネル > しおり を選択して しおりパネルを開きます。
- しおりパネルでしおりを選択して、Shift キーまたは Ctrl キーを押しながらクリック すると、複数のしおりを選択できます。
- 選択したしおりを右クリックしてメニューよりページを印刷を選択すると、そのしおりに関連付けられたすべてのページを印刷します。また、セクションを印刷を選択すると、そのしおりのセクションを印刷します。

 印刷ダイアログボックスでプリンターとオプションを選択して OK をクリックして ください。

ノート: しおりは親しおりと子しおりの階層構造で表示されます。親しおりから印刷した 場合は、その配下にある子しおりの関連ページも含めすべて印刷します。

PDF ファイルを白黒で印刷する

Foxit J-Reader は PDF ファイルを白黒で印刷することができます。以下の手順を実行します:

- ファイル > 印刷 を選択して印刷ダイアログを開きます。
- 「プロパティ」をクリックして Foxit Reader PDF Printer のプロパティを開きます。
- カラーオプションのドロップダウンリストより「白黒」を選択します。
- 「OK」をクリックして設定を保存し、PDF ファイルを白黒モードで印刷できます。

📻 Foxit Reader PDF Printerのプロパティ
一般 レイアウト 文書情報 バージョン情報
出力フォルダー: 参照
✓ 作成した PDF を開く
PDF のバージョン: 1.7 (Acrobat 8.x 以降) 💌
変換品質
既定の設定:標準 編集
カラー: カラー <u>▼</u> 白黒 画像解像度: クレー ガラー
□ 既定として保存 (このチェックを外すと、設定はこの文書のみに反映)
OK キャンセル

印刷の最適化

印刷の最適化機能により、垂直/水平方向のフォントの置換やスキャンなどの PCL ドラ イバーからの印刷ジョブを最適化します。Foxit J-Reader は印刷速度を改善するため、 PCL 対応プリンターの自動検出オプションを提供しています。印刷の最適化を有効にす るには、以下の手順を実行します:

- ファイル > 印刷 を選択して印刷ダイアログを開きます。
- 印刷ダイアログ左下にある「詳細情報」をクリックします。
- 詳細設定ダイアログで以下を実行します:
 - FPCL 最適化」オプションをチェックします。
 - プリンターリストからプリンターを選択して「追加」をクリックすると、選択されたプリンターは、PCL プリンタードライバーとしてリストされます。
 - ▶ 「OK」をクリックします。

上記の後、最適化されているプリンタードライバーで印刷を実行することができます。また、リストしたドライバーの印刷結果が望ましくない場合は、そのプリンターを PCL 最適化ドライバーのリストから削除することもできます。PCL 最適化ドライバーのリストから削除するドライバーを選択して、「削除」ボタンをクリックし、「OK」をクリックして操作を完了します。

▼ PCL 最適化」を選択した場合、印刷は PCL プリ 「PCL 最適化」を選択した場合、印刷は PCL プリ 「PCL プリンタードライバー」からプリンターを削除す	レタードライバーによってま ることができます。	実行されます。印刷結果が望ましくない場合は、
プリンター(T)		PCL プリンタードライバー(L)
<pre>\\10.103.2.225\Brother MFC-7860D ^ \\10.103.2.225\HP LaserJet P1007 \\10.103.2.225\KONICA MINOLTA < \\LLILJIANG\Foxit PhantomPDF Prir Adobe PDF Fax Foxit Reader PDF Printer HP LaserJet 2300 Series PS HP LaserJet 2050 Series PCL6 HP Universal Printing PCL 5 (v5.9.0) HP Universal Printing PCL 5 HP Universal Printing PS Microsoft XPS Document Writer Print to Evernate </pre>	<u>追加(A)</u> 肖邩除(R)	\\LILI_JIANG\HP LaserJet 3050 PCL5 HP Color LaserJet 9500 PCL 5 HP LaserJet 5200 Series PCL 5 HP LaserJet 9050 mfp PCL 5 HP Universal Printing PCL 5 (v5.7.0)
PS Driver for Universal Print-Ricoh		

印刷ダイアログ

印刷ダイアログは、文書を印刷する際の最後のステップです。印刷ダイアログでは、使用 するプリンターと用紙を選択できます。プリンターを変更すると、用紙の設定に影響する 場合があります。例えば、新しく選択したプリンターは異なる用紙のサイズを使用するか もしれません。

印刷ダイアログでは、印刷部数や用紙サイズや用紙の向きなどの印刷オプション変更する ことが出来ます。

印刷ダイアログを開くには、ファイル > 印刷、と操作するか、タブ上を右クリックして、

「現在のタブを印刷」を選択します。

ED局]	×
印刷 名称 Foxit PhantomPDF Printer 部数(C): 1 1 部単位で印刷(0) グレースケールで印刷(1) 印刷範囲 現在の表示範囲(V) 現在の表示範囲(V) 現在のページ(U) すべてのページ(A) ページ(G): パージ(G): 1-37 印刷指定(B): 範囲内のすべてのページ 逆頃に印刷(E) ページ後 ゲージ処理 ページ後 サイズ(S) ページ後 小冊子(K)	★ 「 方□/(ティ(P) 画像として印刷(T) 印刷対象(W) 文書とマークアップ 注釈の一覧 ブレビュー 倍率: 99.54% 文書: 21.0 x 29.7 cm 用紙: 21.0 x 29.7 cm
 ○ なし ○ かし ○ プリンターの余白に合わせる(F) ○ プリンターの余白に倫小(D) ○ カスタムスケール ○ PDFのページサイズに合わせて用紙を選択(Z) 	Ouick Guide Forti J-Reader For Windows
 ✓ 日勤回転 (R) ✓ 中央配置 	< パージ 1 / 37
詳細設定	OK キャンセル

印刷ダイアログ

- 名称 インストールされているプリンターのリストから、使用するプリンターを選択します。「プロパティ」ボタンをクリックして、指定したプリンターのオプションを設定できます。
- 印刷範囲 このオプションの設定によりPDF文書の異なる部分を印刷することが出 来ます。すべてのページを印刷するか、特定のページのみを印刷するか設定すること が出来ます。

すべて – PDF 文書のすべてのページを印刷します。 現在の表示範囲 – 現在表示しているエリアを印刷します。表示しているエリア内の テキスト、コメント、イメージ、テーブル、あるいはそれらの組み合わせすべてが印 刷対象です。 現在のページ – 現在表示しているページを印刷します。 ページ – PDF 文書内で連続していないページをまとめて印刷できます。1,3,7-10 のよ

うな設定が可能です。

• 印刷指定 – 連続しないページを印刷するためのオプションです。

範囲内のすべてのページ – 指定された範囲にあるすべてのページを印刷します。 奇数ページのみ – 指定された範囲にある奇数ページだけを印刷します。 偶数ページのみ – 指定された範囲にある偶数ページだけを印刷します。

ノート:この機能は、両面に印刷する場合に特に有効です。

- 逆順に印刷 ページの逆順に印刷します。印刷するページの範囲を指定すると、入力したページ順の逆に印刷されます。例えば、印刷範囲を5ページから 30ページまでとして、このオプションを同時に設定すると、30ページを先頭に5ページまで印刷されます。
- 部数 印刷する部数を設定します。
- 部単位で印刷 複数部印刷する時、番号順や論理的な順番などに組み合わせて出力します。このオプションは、1部だけ印刷する場合は無効です。
- ページの拡大/縮小 印刷時の拡大縮小やその割合を以下の5つから設定します:
 - A. なし:ページの拡大縮小を行いません。
 - B. プリンターの余白に合わせる:用紙の余白サイズに合わせて大きいページを縮 小、小さいページを拡大します。
 - C. プリンターの余白に縮小:大きいページのみ余白サイズに合わせます。
 - D. カスタムスケール: パーセンテージでページサイズを指定します。
 - E. PDF のサイズに合わせて用紙を選択:印刷する PDF のページサイズに合わせて 自動で用紙を選択します。
- ページを分割:選択した用紙サイズより大きいページを指定の倍率で分割して印刷します。
 - A. ページ倍率:ページを指定のパーセンテージに拡大/縮小します。
 - B. 重なり: 個々の印刷された用紙を隣接する用紙と重ね合わせる度合いを指定し ます (単位: cm).
 - C. タイルマーク: 重なりをトリミングするガイドとなるマークを付加します。
 - D. ラベル: 個々の印刷された用紙にファイル名とページ番号を付加します。
- 一枚に複数:複数ページを一枚の用紙に印刷できます。
 - A. 1枚あたりのページ数:用紙1枚あたりに印刷するページ数を選択します。自動 回転が有効な場合、ページ数の選択に応じて Foxit J-Reader は自動で適切なペ ージの向きを選択します。必要な場合は用紙の向きをプロパティで設定します。
 - B. ページの順序:ページをどのように並べるか指定します。横、横(右から左)、縦、 縦(右から左)を選択できます。
 - C. 余白:印刷の余白を設定します。
 - D. ページの境界線を印刷:チェックすると各ページの境界線を印刷します。
- 小冊子:小冊子形式で PDF ファイルを印刷できます。
 - A. 綴じ方: 綴じ方の向きを左右のどちらにするか設定します。
 - B. 小冊子の印刷方法:各用紙の片面にのみ印刷する場合は、表と裏を選択します。 両面を選択すると、用紙の両面を印刷します。

C. 余白: 小冊子印刷の余白を設定します。

- 自動回転 プリンターのプロパティで指定された向きに合うよう、PDF 文書の向き を自動調整します。
- 中央配置 PDF ページを用紙の中央に配置して印刷します。
- 印刷対象 文書のみ、文書とマークアップなど、印刷する対象を指定します。

文書 – 注釈を除き、文書のコンテンツのみを印刷します。 **文書とマークアップ** – 文書とスタンプを含む注釈の両方を印刷します。 **文書とスタンプ** – 文書とスタンプのみ印刷します。 **フォームフィールドのみ** – フォームフィールドのみ印刷します。

プレビュー – Foxit J-Reader は印刷ダイアログ内で瞬時にプレビューを表示します。

ページ倍率を変更することで、ズームツールやナビゲーションツールのように、印刷 ダイアログ上に表示される各ページを、任意の拡大率でプレビューすることが出来ま す。文書のサイズと用紙サイズがプレビューと共に表示されます。

ヒント: ページ寸法の単位を変更する場合は、ファイル > 環境設定 > 文書、と操作して、 単位 を変更してください。

- 画像として印刷 画像として PDF 文書を印刷します。
- グレースケールで印刷 カラーイメージ、テキスト、その他オブジェクトなど、すべてグレースケールで印刷します。

例えば、RGB や CMYK イメージだけの PDF は、特にサイズが大きくなりますが、これ らの PDF 文書をグレースケールに変換すると、ファイルサイズを小さくして印刷速度を 速くすることができます。





グレースケールで印刷

 詳細情報—印刷操作を PCL 印刷に最適化する設定を行います。詳細は、<u>印刷の最適</u> <u>化</u>を参照してください。

Foxit Reader PDF Printer プロパティの設定

PDF ファイルを作成する前に Foxit Reader PDF Printer の環境設定画面を開いて、PDF ファイルのオプションを設定することができます。2つの方法で環境設定画面を開くことができます。

1. コントロールパネルから PDF の印刷設定を開く:

- スタートメニュー > コントロールパネル > デバイスとプリンター > プリンター と FAX を開きます。
- Foxit Reader PDF Printer を右クリックして「印刷設定」を選択します。

2. 印刷ダイアログから PDF の印刷設定を開く

ファイルの印刷をする際に印刷ダイアログで「プロパティ」ボタンをクリックすると、
 印刷設定が開かれます。

一般タブ

- 出力フォルダー 作成する PDF ファイルの保存先を指定することができます。
- 確認メッセージを表示せず既存の PDF ファイルを上書きする 同じ名前の既存フ ァイルがある場合、自動で上書きします。
- 既定のファイル名を使用して既定のフォルダーに保存 元のファイル名を変更したくない場合はこのオプションを選択します。作成された PDF ファイルは既定の保存先に格納されます。
- 作成した PDF を開く 初期設定では、このオプションは選択されており、作成された PDF ファイルを自動的に開きます。
- PDFのバージョン Foxit J-Reader では、PDF を作成する際の PDF のバージョン を 1.3 から 1.7 の間で選択できます。適切な PDF のバージョンを選ぶことにより、 異なる PDF ビューワーとの互換性を改善できます。
- 変換品質
 - > 既定の設定 既定の設定として変換品質の種類を選択します。

 - ◆ **PDF/A-1b**: PDF/A-1b 規格に準拠する PDF ファイルを作成します。
 - ◆ 最少ファイルサイズ: Web での配布に適した PDF ファイルを作成します。
 - ◆ 標準:印刷品質とファイルサイズの調和のとれた PDF ファイルを作成します。「編集」ボタンをクリックして、変換品質を変更し、名前を付けて設定を保存することができます。保存された設定は、既定のリストに追加され、 選択できます。

- カラー カラーの PDF コンテンツを、グレースケール、カラー、白黒のみで 出力できます。
- 画像解像度 画像解像度を DPI (dot per inch) で指定します。有効な値は 72
 -2400 です。
- 既定として保存 現在の設定を他の文書にも適用する場合は、このオプションをチェックしてください。チェックしない場合、現在の設定は現在の文書のみに適用されます。

レイアウトタブ

- **用紙の向き** ページの方向を変更できます。
- ページサイズ 用紙サイズを選択するか、または「カスタムページサイズ」を選択して、カスタムページサイズダイアログで高さと幅を設定します。
- カスタムページサイズ ページサイズで「カスタムページサイズ」をクリックする とこのオプションが有効になります。カスタムページサイズの追加/編集ダイアログ で、新しいページサイズに名前を付けて、高さと幅を設定する事ができます。
- **単位** インチ、センチメートル、ミリメートルから測定の単位を変更できます。

文書情報タブ

文書のプロパティ情報を追加 – このオプションにより、タイトル、サブタイトル、作成 者などのプロパティ情報を設定します。情報を追加する場合は、チェックしてください。

概要 – タイトル、サブタイトル、作成者、キーワード、アプリケーションを入力できます。PDF 変換は、Foxit Reader になります。

バージョン情報タブ

このタブには、Foxit Reader PDF Printer のプログラム情報および関連する著作権の情報 が表示されます。

第十一章 - 付録

この章ではキーボードショートカット、コマンドラインなど、ユーザーマニュアルを補足する情報を集めています。

キーボードショートカット

Foxit J-Reader で PDF 文書内をナビゲーションする際に、スピードアップのためのショ ートカットキーは多くありますが、ここではその中の重要なものをいくつか紹介します:

ファイル

アクション	ショートカット
ファイルを開く	Ctrl + O
ファイルを閉じる	Ctrl + W, or Ctrl + F4
名前を付けて保存	Ctrl + Shift + S
すべて閉じる	Ctrl + Shift + W
文書を印刷	Ctrl + P
Foxit J-Reader を終了	Ctrl + Q
上書き保存	Ctrl + S

表示

アクション	ショートカット
フルスクリーンモード	F11
ズームイン	Ctrl + Num +
ズームアウト	Ctrl + Num -
倍率指定	Ctrl + M
100%表示	Ctrl + 1
ページ全体を表示	Ctrl + 0
幅に合わせる	Ctrl + 2
描画領域に合わせる	Ctrl + 3
右回転	Ctrl + Shift + Plus
左回転	Ctrl + Shift + Minus
Foxit J-Reader User Manual

ツールバーのリセット	Alt + F8
ツールバーの非表示	F8
自動スクロール	Ctrl + Shift + H
自動スクロールの停止	ESC
ナビゲーションペインの表示/非表示	F4
メニューバーの表示/非表示	F9
タブの切り替え	Ctrl + Tab

編集

アクション	ショートカット
	Ctrl + C, or Ctrl + Insert
簡易検索	Ctrl + F
次を検索	F3
前を検索	Shift + F3
環境設定	Ctrl + K
元に戻す	Ctrl + Z
やり直し	Ctrl + Shift + Z

テキスト選択

アクション	ショートカット
コピー	Ctrl + C
すべてを選択	Ctrl + A
しおりを追加	Ctrl + B

ツール

アクション	ショートカット
手のひらツール	Alt + 3
テキスト選択ツール	Alt + 6
スナップショット	Alt + 7
フルスクリーンモードを終了	ESC, F11
テキストビューワーに切り替え	Ctrl + 6

文書

アクション	ショートカット
前のページ	Ctrl + Page Up
次のページ	Ctrl + Page Down
最初のページ	Ctrl + Home
最後のページ	Ctrl + End
ページ指定	Ctrl + G
すべてを選択	Ctrl + A
ページを下に移動	Space
ページを上に移動	Shift + Space

コマンドライン

Foxit J-Reader はコマンドラインで PDF を操作するためのパラメータを定義しています。 Foxit J-Reader で使用できるコマンドラインを確認するには、**ヘルプ**タブにて**コマンドラ インヘルプ**を選択してください。

コマンドラインヘルプ	×
Foxit J-Reader で使用できるコマンドラインには次の構文があります:	
<foxit j-reader="" path=""> [/register] [PDF Path] [/pwd] [/A [] []] [/pwd] [/p /t <pdfpath> [Printer]]</pdfpath></foxit>	
אעקב	概要
/register	Foxit J-Reader を既定の PDF リーダーに設定
/pwd <password></password>	PDF 文書を保護するパスワードを入力
/p <pdf path=""></pdf>	既定のプリンターで文書を印刷
/t <pdf path=""> [Printer]</pdf>	所定のプリンターで文書を印刷
<pdf path=""> /A [] []</pdf>	何をどのように表示するのかを正確に指定してコマンドで PDF 文書を閉く
	ОК

Foxit J-Reader User Manual

実行結果
指定のしおりを開いてハイライト表示
指定のページに戻る
PDF をズーム
ナビゲーションペインのしおりパネルを開く
ナビゲーションペインのサムネイルパネルを開く
ナビゲーションペインのレイヤーパネルを開く
ナビゲーションペインのすべてのパネルを閉じる
FDF ファイルを開く
ツールバーの表示/非表示
ステータスバーの表示/非表示
ナビゲーションペインの表示/非表示

お問い合わせ

無償のソフトウェアである Foxit J-Reader にはサポートサービスが付属しておりません。 操作方法の案内等サポートが必要な場合は、サポートチケットをご利用いただくか、また は有償版である「Foxit PhantomPDF」をご利用ください。

また、ソリューションおよびシステムへの組み込み用途には、原則としてご利用いただけ ません。その場合には、用途に応じて Foxit PhantomPDF や PDF SDK をお奨めいたし ます。下記までご相談ください。

株式会社 FoxitJapan Office Address: 〒105-0022 東京都港区海岸 1-2-3 汐留芝離宮ビルディング21 階 Web サイト: http://www.foxit.co.jp/ お問い合わせ: https://www.foxit.co.jp/contact Fax: 03-6800-5963